

第四條 外國通航船出港手數ヲ了リタル後尙ホ貨物ヲ船積シ若クハ陸揚セントスルトキハ更ニ第

一條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納メ其出港ノ時モ亦第三條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納ムヘシ

但稅關手數既濟ノ貨物ヲ船積シ若クハ陸揚スル者ハ此ノ限リニ在ラス

第五條 郵船ハ同時ニ入港及出港ノ手數ヲ爲スコトヲ得

第六條 郵船ハ其港ニ陸揚スル貨物ノ外ハ積荷目錄ニ記載スルコトヲ要セス

第七條 郵船ハ出港手數ヲ了リタル後ト雖モ第四條ノ手數ヲ爲サスシテ貨物ヲ船積シ若クハ陸揚

スルコトヲ得

第八條 外國通航船航海中避難ノ爲メ已ムヲ得スシテ入港シタルトキハ入港ノ時ヨリ四十八時内

ニ其事由ヲ稅關ニ申出認許ヲ受クヘシ前項ノ船舶修繕其他已ムヲ得サル事故ニ由リ假ニ其積荷

ヲ陸揚シ又ハ損傷ノ貨物ヲ賣拂ヒ若クハ船中必需ノ物品ヲ積入ル場合ニ於テハ入出港手數ヲ爲

スヲ要セス其他ノ貨物ヲ陸揚シ船積シ船移シ若クハ假ニ陸揚シタル貨物ヲ賣拂ハントスルトキ

ハ第一條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納メ其出港ノ時モ亦第三條ノ手數ヲ爲シ其手數料ヲ納ムヘシ

第九條 外國通航船ハ日没ヨリ日出マテノ間及稅關ノ休日ニハ稅關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ

貨物ヲ陸揚シ船積シ若クハ船移スルコトヲ得ス

前項ノ日時間ハ艀口其他貨物ヲ納ムヘキ場所ハ稅關監吏之ヲ封鎖スヘシ

第十條 外國通航船避難ノ爲メ已ムヲ得スシテ不開港ニ入港シタルトキハ船長ハ其事由ヲ記シタ

ル書面ヲ其地ノ町村役場若クハ浦役場ニ差出スヘシ若シ船中需用品ヲ積入ル、時ハ別ニ其目錄

ヲ差出シ各其證明ヲ受ケ他日開港ニ入港シタルトキ之ヲ稅關ニ差出スヘシ

第十一條 船舶ヲ外國通航船ト爲シ及外國通航船ヲ沿海通航船ト爲サントスルトキハ船主ヨリ稅

關ニ申出船中ノ檢査ヲ經免狀ヲ受クヘシ

第十二條 輸出貨物ヲ船積セントスル者ハ其申告書ヲ稅關ニ差出シ現品ノ檢査ヲ經輸出稅目ニ從

ヒ納稅シ船積免狀ヲ受クヘシ

第十三條 輸入手數既濟ノ外國產貨物ヲ外國ニ積戻サントスル者ハ輸出稅ヲ納ムルニ及ハス但シ

書面ヲ以テ其旨ヲ稅關ニ申出檢査ヲ經船積免狀ヲ受クヘシ

第十四條 船中ノ需用品ニ付キテハ輸出稅ヲ納ムルニ及ハス但船長ハ前條ノ手數ヲ爲スヘシ

第十五條 輸入貨物ヲ陸揚セントスル者ハ其申告書ニ仕入書ヲ添ヘ之ヲ稅關ニ差出シ陸揚免狀ヲ

受ケ其貨物ヲ陸揚シ現品ノ檢査ヲ經輸入稅目ニ從ヒ納稅シ輸入免狀ヲ受ケテ之ヲ引取ヘシ

前項ノ仕入書ハ貨物ノ輸入手數濟ノ上其貨主ニ返付スヘシ

第十六條 內國產ノ貨物ヲ外國ヨリ積戻リ左ノ事項ヲ具備スルトキハ輸入稅ヲ納ムルニ及ハス但

前條ノ手數ヲ爲スヘシ

一 輸出ノ時ノ性質若クハ形狀ヲ變セサルコト

二 輸出ノ日ヨリ滿五箇年ヲ經過セサルコト

三 輸出免狀ヲ付スルコト

第十七條 無税品ヲ除クノ外仕入書ヲ付セサル貨物ハ輸入ヲ許サス但税關長其仕入書ヲ差出シ能ハサル理由アリト認め該貨主税關官吏ノ査定セル數量、尺度若クハ價額ニ從ヒ納税スルモノハ此ノ限リニ在ラス

第十八條 價ニ從ヒ徵税スヘキ貨物ニシテ其原價ヲ税關ニ於テハ不相當ト認めルトキハ税關鑑定官吏ヲシテ其價ヲ査定セシメ其査定額ニ從ヒ納税セシムヘシ

若シ貨主前項ノ査定額ニ從ヒ納税スルコトヲ欲セサルトキハ該査定額ヲ以テ税關ニ其貨物ノ買上ヲ請フコトヲ得但第十七條ノ場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラス

第十九條 外國通航船貨物ヲ他ノ船舶ニ若クハ他ノ船舶ヨリ積移サントスルトキハ書面ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申出船移免狀ヲ受クヘシ但郵船ニ積載シタル貨物ヲ其會社所屬ノ庫船若クハ解舟ニ積移スニハ免狀ヲ受クルニ及ハス

第二十條 有税ノ貨物損傷シタルカ爲メニ減税ヲ請ハントスル者ハ現品ノ検査ヲ受タル前其旨ヲ税關長ニ申出ヘシ税關長ハ税關鑑定官吏ヲシテ現品損傷ノ程度ヲ査定セシメ相當ノ減税ヲ爲ス

ヘシ

第二十一條 外國軍艦ノ備用品ヲ買受クルトキハ賣主ノ證明書ヲ受ケ書面ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申出相當ノ輸入税ヲ納ムヘシ

第二十二條 內國産金銀地金ハ政府ニ於テ公賣シタルモノヲ除クノ外ハ輸出スルコトヲ得ス

第二十三條 船客ノ旅具ハ陸揚船積共書面ヲ以テ其旨ヲ申出ルニ及ハス但通關前ニ税關監吏ノ検査ヲ受クヘシ

税關ニ於テ旅具ト認めサルモノハ相當ノ税金ヲ納メシムヘシ

第二十四條 第八條ノ船舶修繕其他已ムヲ得サル事故ニ由リ一時貨物ヲ陸揚スルトキハ之ヲ税關ニ預クヘシ

前項ノ貨物ヲ陸揚シ及之ヲ本船ニ積戻スニハ輸入出ノ手數ヲ爲スニ及ハス但其貨物ノ保管ニ要スル諸費ハ船長ヨリ之ヲ税關ニ納ムヘシ

第一項ノ貨物ヲ賣拂ハントスルトキハ第十五條ノ手數ヲ爲シ其税金ヲ納ムヘシ

第二十五條 外國通航船若クハ外國船ヲ以テ貨物ヲ開港間ニ回漕セントスル者ハ書面ヲ以テ其旨ヲ税關ニ申出現品ノ検査ヲ經回漕免狀ヲ受ケテ之ヲ船積スヘシ

第二十六條 前條ノ貨物若シ有税內國産ナルトキハ相當ノ税金ヲ假納スルカ若シクハ税關長ノ滿

足スヘキ證書ヲ差入レ置キ回漕免狀付與ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ仕向港税關ノ陸揚證書ヲ差出シ其假納税金若シクハ前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スヘシ

前項ノ期限内ニ仕向港税關ノ陸揚證書ヲ差出サハルニ於テハ輸出シタルモノト看做シ其税金ヲ納メシムヘシ

第二十七條 第二十五條ノ貨物若シ輸出禁制品ナルトキハ回漕免狀付與ノ日ヨリ滿六箇月内ニ仕向港税關ノ陸揚證書ヲ差出スヘシ

第二十八條 第二十六條及第二十七條ノ貨物ヲ積載シタル船舶航海中破船其他ノ事故ニ由リ貨物ヲ仕向港ニ回漕シ能ハサルトキハ其事由ヲ仕出港税關ニ届出該船出港ノ日ヨリ滿一箇年以内ニ其證據ヲ舉示シ假納税若クハ前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スコトヲ得

第二十九條 第二十五條ノ回漕貨物ヲ仕向港ニ於テ陸揚セントスル者ハ書面ヲ以テ其仕向港ノ税關ニ申出仕出港税關ヨリ受ケタル回漕免狀ニ陸揚ノ證明ヲ受ケ現品ノ検査ヲ經テ之ヲ引取ヘシ前項回漕免狀ノ紛失若クハ遺忘ニ因リ之ヲ仕向港税關ニ差出シ難キトキハ税關長ノ満足スヘキ證書ヲ差入レ置キ其證書ノ日附ヨリ滿四箇月以内ニ回漕免狀若シクハ之ニ代ルヘキ仕出港税關ノ證明書ヲ差出シ前ニ差入レ置キタル證書ヲ受戻スヘシ

第三十條 外國通航船修繕ノ爲メ開港ヨリ不開港ニ回船セントスルトキ又ハ重量ノ貨物ニシテ開港ニ於テ積卸ヲ爲シ難ク不開港ニ回船セントスルトキハ書面ヲ以テ其旨ヲ申出税關長ノ特許ヲ受クヘシ

第一章 沿海通航船及輸入手數未済貨物回漕

第三十一條 沿海通航船入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時内ニ入港届書ヲ税關ニ差出シ同時ニ船籍證書、船舶登記證書及船鑑札等ヲ預クヘシ

第三十二條 沿海通航船出港セントスルトキハ其船長ハ出港ノ時ヨリ四時前ニ出港届書ヲ税關ニ差出シ船籍證書、船舶登記證書及船鑑札ヲ受戻スヘシ

第三十三條 船籍證書、船舶登記證書ノ受有ヲ要セサル諸船及一定ノ港灣間ニ往復スル積量百噸以下ノ西洋形船舶ハ船主ヨリ豫テ税關ニ届出認許ヲ受クルニ於テハ第三十一條及第三十二條ノ手數ヲ爲スニ及ハス

第三十四條 沿海通航船輸入手數未済ノ貨物ヲ積載シテ出港セントスルトキハ其船長ハ第三十二條ノ手數ヲ爲スト同時ニ出港積荷目録ニ通テ税關ニ差出スヘシ

第三十五條 前條ノ船舶仕向港ニ入港シタルトキハ其船長ハ第三十一條ノ手數ヲ爲スト同時ニ入港積荷目録ヲ税關ニ差出スヘシ

第三十六條 沿海通航船ヲ以テ輸入手數未済ノ貨物ヲ開港間ニ回漕セントスル者ハ書面ヲ以テ其

旨ヲ税關ニ申出船積免狀ヲ受クヘシ
前項ノ貨物ヲ陸揚セントスル者ハ第十五條ニ又船移セントスル者ハ第十九條ニ據ルヘシ

第三章 罰 則

第二十七條 外國通航船第一條ノ時限内ニ入港手數ヲ爲サ、ルトキハ船長ヲ六十圓ノ罰金ニ處シ
尙ホ其手數ヲ爲サ、ルニ於テハ初犯ノ時ヨリ二十四時ヲ過ル毎ニ更ニ同額ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第九條第二項ニ掲クル税關監吏ノ爲シタル封鎖ヲ破却シ若クハ之ヲ取除キタルトキ
ハ船長ヲ六十圓ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第十九條及第三十六條第二項ノ船移免狀ヲ受ケスシテ船移シタル者ハ前條同額ノ罰
金ニ處ス

第四十條 外國通航船第八條第一項ノ場合ニ於テ規定ノ時限内ニ入港ノ事由ヲ申出サルトキハ船
長ヲ十五圓ノ罰金ニ處ス

第四十一條 外國通航船第十條ノ場合ニ於テ町村役場若クハ浦役場ノ證明ヲ受ケス又ハ證明ヲ受
クルト雖モ之ヲ税關ニ差出サ、ルトキハ船長ヲ十五圓ノ罰金ニ處ス

第四十二條 沿海通航船第三十一條ノ時限内ニ入港ノ手數ヲ爲サス又ハ第三十二條ノ時限内ニ出
港ノ手數ヲ爲サ、ルトキハ船長ヲ五圓ノ罰金ニ處ス

第四章 雜 則

第四十三條 輸出入貨物ノ類別ニ就キ税關鑑定官吏ノ査定ニ不服アル者ハ其査定ノ日ヨリ十日以
内ニ税關長ニ申告シ判定ヲ請フコトヲ得

税關長ノ判定ニ不服アル者ハ判定ノ日ヨリ三十日以内ニ判定書ヲ添ヘ大藏大臣ニ裁定ヲ請フコ
トヲ得

第四十四條 税關官吏ハ必要ノ場合ニハ輸出入貨物ノ小部分ヲ見本トシテ税關ニ留置クコトヲ得

第四十五條 此ノ規則ニ依リ税關ニ差出スヘキ書面ハ總テ税關一定ノ書式ヲ用キ船主、船長若ク
ハ貨主之ニ署名捺印スヘシ

第四十六條 税關ヨリ交付スル諸免狀ノ謄本其他別段ノ證書ヲ請フ者ハ一通毎ニ一圓五十錢ノ手
數料ヲ納ムヘシ

第四十七條 此ノ規則ニ於テ日時ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ其期限内ニ税關ノ休日ヲ算入セス
又年月ヲ以テ期限ヲ設ケタルモノハ休日ヲ算入ス

第四十八條 税關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時マテトス
但臨時開廳ヲ請フ者ハ税關長ノ特許ヲ受クヘシ

第四十九條 第九條第二項及第四十八條但書ノ場合ニ於テ特許ヲ請フ者ハ定規ノ手數料ヲ納ムヘ

シ但其手数料ハ大藏大臣之ヲ定ム

第五十條 此ノ規則ニ於テ船主ト稱スルハ其船ノ所有主若クハ現ニ其船ノ使用權ヲ有スル者ヲ云ヒ船長ト稱スルハ現ニ其船ヲ管理シ若クハ指揮スル者ヲ云ヒ貨主ト稱スルハ貨物ノ所有主若クハ其受託人ヲ云フ

第五十一條 此ノ規則ニ於テ輸出ト稱スルハ貨物ヲ外國へ輸出スルヲ云ヒ輸入ト稱スルハ貨物ヲ外國ヨリ輸入スルヲ云ヒ貨物ト稱スルハ旅具及船用品ヲ除クノ外一切ノ物件ヲ云フ

第五十二條 此ノ規則ニ於テ入港ノ時ト稱スルハ船舶ノ投錨若クハ繫留セシトキヲ云ヒ出港ノ時ト稱スルハ碇揚若クハ解纜ノトキヲ云フ

第五十三條 密輸出入ヲ稅關ニ申告スル者ニハ其沒收セシ貨物代價ノ半額ヲ給ス

附 則

第五十四條 露西亞樺太島貿易ニ從事スル船舶ニ限り當分ノ内出入港手数料及該船ニ搭載スル貨物ノ輸出入稅ヲ免除ス但船舶ノ出入港手數ニ限り第三十一條第三十二條ヲ適用ス

第五十五條 帝國政府ノ參同スル外國博覽會及其進會ニ出品スル物品及ヒ其附屬品ハ輸出稅及同品積戻ノ際輸入稅ヲ課スルノ限リニ在ラス(二十五年四月勅令第三十八號ヲ以テ本條追加)

明治三十二年七月帝國總盟各國ト改正條約ノ實施ヲ見ントスルニ至リ之ニ伴ヒ關稅法ノ發布アリ

テ本島ニ於テハ臺灣稅關規則並ニ同施行細則制定セラレタリ而シテ關稅規則ハ僅々三條ヨリ成リ全體ニ於テハ殆ント關稅法ニ依リ唯其異ナル所ハ關稅法ニ於テ大藏大臣ノ職務ニ屬セルモノヲ臺灣總督之ヲ行ヒ又關稅法ニ於テ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ府令ヲ以テ之ヲ定ムルニ過キサルノミ同施行細則ハ八十四條ノ多キヨリ成立スト雖モ大體ニ於テハ亦同シテ關稅法施行細則ニ依準シタルモノニシテ兩者ノ異ナル點ハ官制ノ相違ニ基ケル二三ノ條項ニ過キス乃チ臺灣關稅規則、同施行細則及稅關法ヲ左ニ掲ク

臺灣關稅規則

(明治三十二年七月 律令第二〇號)

第一條 船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關シテハ明治三十二年法律第六十一號關稅法ニ依ル但シ第三十五條關稅通路及第九十九條ニ依リ開港トナスヘキ場所及其ノ開港ニ於テ輸出又ハ輸入ス可キ貨物ノ種類ハ府令ヲ以テ之レヲ定ム

第二條 關稅法中大藏大臣ノ職務ニ屬スルモノハ臺灣總督之レヲ行フ

附 則

第三條 此ノ規則ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス明治三十年律令第一號ハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

臺灣關稅規則施行細則

(明治三十二年八月 府令第九十一號)

第一章 關稅ノ賦課徵收及擔保

第一條 關稅法第一條第一項但書ニ依リ特別協定ノ便益ヲ受ケントスル者ハ特別協定ノ適用ヲ受
クヘキ地域内ノ產出品又ハ製造品ナルコトヲ證明スヘシ但郵便物及課稅價格百圓ヲ超ヘサル貨
物ハ此限ニ在ラス

第二條 前條ノ證明ハ貨物ノ產出地、製造地若クハ積出地ノ帝國領事館若クハ貿易事務館、帝國
領事館及貿易事務館ナキトキハ其ノ地ノ稅關其他ノ官廳公署又ハ商業會議所ノ證明シタル製產
原地證明ヲ以テスルヲ要ス

前項ノ製產原地證明書ニハ貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量及產出又ハ製造ノ地域ヲ記載
スヘシ

第三條 關稅ヲ徵收セントスルトキハ納金額及納付金庫ヲ指定シタル文書ヲ以テ納稅人ニ告知ス
ヘシ但シ金庫ニ納付セシムル場合ノ外告知書ヲ要セス

第四條 納稅人前條ノ告知書ヲ受ケタルトキハ之ニ稅金ヲ添ヘ指定ノ金庫ニ納付スヘシ

第五條 旅客ノ携帶品關稅法第二十四條但書ニ掲ケタル貨物等ニ付貨物ヲ檢査シタル官吏直ニ
關稅ヲ徵收スルトキハ他ノ官吏若クハ公吏ノ立會アルヲ要ス

前項ニ依リ關稅ヲ徵收シタルトキハ立會官吏若クハ公吏ノ證明ヲ受ケ稅關ニ報告スヘシ

第六條 關稅法第四十二條ニ依リ郵便局ニ於テ稅金額ノ通知ヲ受ケタルトキハ郵便物交付前ニ之
ヲ各宛人ニ通知スヘシ

第七條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ稅金ニ相當スル收入印紙ヲ通知書ニ貼付シ郵便局ニ提出スヘ
シ

第八條 郵便局ニ於テ前條ノ書類ヲ受ケタルトキハ當該稅關ニ送付スヘシ

第九條 關稅法第二條ニ依リ減稅ヲ請ハントスル者ハ損傷貨物ノ記號、番號、品名、數量、原價、
諸費及請求ノ要領ヲ記載シタル文書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十條 關稅ノ擔保トシテ提供スヘキモノハ金錢及有價證券ニ限ル

第十一條 擔保ヲ提供スルトキハ之ヲ供託シ供託受領證ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十二條 稅關ハ提供シタル有價證券ノ價格減少シタルトキハ増擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第十三條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保物ヲ公賣ニ付スヘキトキハ之ヲ公告シ最初公告ノ日ヨリ
少クトモ三日ヲ經過シタル後之ヲ競賣スヘシ

第十四條 前條ノ公告ハ擔保提供者ノ住所又ハ居所、氏名、證券ノ種類、金額、競賣ノ場所及時
其他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第十五條 公賣決行前ニ關稅及費用ヲ完納シタルトキハ公賣ヲ中止スヘシ

第十六條 關稅法第六條但書ニ依リ擔保提供者ニ還付スヘキ殘金アルトキハ之ヲ供託スルコトヲ得

第二章 船舶ニ關スル手續

第十七條 船舶ノ入港届ハ船舶ノ名稱、國籍、登簿噸數、仕出港入港ノ時及乗組海員ノ數ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第十八條 積荷目錄ニハ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕出地、仕向地、記號、番號、品名、箇數、數量及荷受人ヲ記載スヘシ

關稅法第十五條ニ依リ提出スヘキ積荷目錄ニハ前項ニ掲ケタル事項ノ外貨物ノ船卸ヲ爲スヘキ地ヲ記載スヘシ

第十九條 艀口申告書ニハ艀口ノ所在、箇數、船用品目錄ニハ船用品ノ種類、數量及見積價格、旅客及氏名表ニハ旅客ノ國籍、氏名、乗込地及上陸地ヲ記載スヘシ

第二十條 外國貨物ヲ積載セル船舶積荷目錄提出前ニ於テ貨物積卸ノ認許ヲ得ントスルトキハ其ノ理由ヲ許記シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十一條 船舶ノ出港届ハ船舶ノ名稱、國籍、仕向港及出港ノ時ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

爲スヘシ

第二十二條 外國貿易船出港ノ免許ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ出港ヲ免許シタルトキハ曩ニ預リタル船舶國籍證書其他ノ書類ヲ還付スヘシ

第二十三條 外國貨物ヲ積載セル船舶日没ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ於テ貨物ノ積卸ヲ爲ス爲メ稅關長ノ特許ヲ受ケントスルトキハ其理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第二十四條 前條ノ特許ヲ受ケタルトキハ特許手數料ヲ納付スヘシ但シ外國貨物ヲ積載セル沿海通航船内國貨物ノ積卸ニ止マルトキハ此限ニ在ラス

第二十五條 警察官吏關稅法第十八條第二項ノ届出ヲ受ケタルトキハ所轄稅關又ハ稅關出張所ニ急報ス可シ

第二十六條 關稅法第十九條ニ掲ケタル外國貨物ヲ不開港ヨリ開港ニ回漕スルノ認許ヲ受ケントスルトキハ船長ヨリ船卸港、貨物ノ品名、箇數及數量ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

第二十七條 外國貨物ノ假陸揚ヲ爲サントスルトキハ其記號、番號、品名、箇數及數量ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關ニ稅關ノ設置ナキ地ニ在リテハ稅關官吏又ハ警察官吏ニ申告スヘシ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ豫メ申告スル能ハサルトキハ陸揚シタル後直チニ申告スヘシ

第二十八條 關稅法第二十一條ノ申告ハ物品ノ種類、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十九條 沿海通航船舶海難其他已ムル得サル事故ニ因リ外國ニ寄港シタルトキハ歸港後其ノ地ノ所轄稅關ニ申告スヘシ

前項ノ船舶外國ニ於テ船用品ヲ積入レタルトキハ其種類及原價ヲ記載シタル目錄ヲ歸港地所轄ノ稅關ニ提出スヘシ

第三章 貨物ニ關スル手續

第一節 總 則

第三十條 日没ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ於テ貨物ヲ稅關ニ送致シ又ハ貨物ノ引取若タハ發送ヲナス爲メ爲特許ヲ受ケントスルモノハ其ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

第三十一條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第三十二條 稅關ニ於テ定メタル場所以外ニ於テ貨物ノ陸揚、船積其ノ他船舶ト陸地トノ交通ヲナス爲メ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ場所、期間、貨物ノ種類等ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

特許ノ條件ニ違反シタルトキハ稅關ハ特許ヲ取消スヘシ

第三十三條 稅關又ハ稅關出張所ノ構外ニ於テ貨物ノ檢査ヲ受ケントスルモノアルトキハ稅關ハ之ヲ特許スルコトアルヘシ但シ關稅法第二十四條但書ノ場合ニ於テハ特許ヲ受クルヲ要セス

前項ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ場所、期間、貨物ノ種類ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ

本條ノ特許ヲ受ケタルモノハ特許手数料ヲ納付スヘシ

第二節 貨物ノ輸出及積戻手續

第三十四條 輸出申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量、價格及仕向港ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ旅客攜帶品ニ關スル申告ハ文書ヲ以テスルヲ要セス

輸出貨物外國產ナルトキハ仍ホ其產地ヲ記載スヘシ

修繕ノ爲メ輸出シ再ヒ輸入スヘキ貨物ノ輸出申告書ニ仍ホ輸出ノ目的再輸入場所及期限ヲ記載スヘシ

前項輸入ノ場所ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸出港稅關ニ申告スヘシ

第三十五條 關稅定率法第六條ニ依リ關稅ヲ免除セラレタル貨物ヲ輸入ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ輸出セントスルモノ又ハ通過ノ爲輸入シタル貨物ヲ輸出セントスル者ハ輸出申告ヲ爲スト同時ニ輸入免狀又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書ヲ稅關ニ提出スヘシ

前項ノ貨物ニ付輸出ノ免許ヲ爲シタルトキハ輸入免狀又ハ證明證ニ輸出濟ノ旨ヲ記入シ提出者ニ交付スヘシ

第三十六條 第三十四條第一項ノ規定ハ積戻申告ニ之ヲ準用ス

第三節 貨物輸入ノ手續

第三十七條 輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ積載船舶ノ名稱、國籍、貨物ノ仕入地、産出地又ハ製造地、記號、番號、品名、箇數、數量、原價及諸費ヲ記載スヘシ

第三十八條 旅客携帯品ニ關スル申告ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 關稅定率法第五條第十號及第十一號ニ該當スル貨物ヲ輸入セントスル者關稅ノ免除ヲ得ントスルトキハ輸入申告ヲナスト同時ニ輸出免狀又ハ之ニ代ルヘキ稅關ノ證明書ヲ提出スヘシ

第四十條 關稅定率法第六條ニ掲ケタル貨物ノ輸入ヲ爲サントスル者ハ輸入申告書ニ仍ホ輸入ノ目的及輸出港ヲ記載スヘシ

輸出港ヲ變更シタルトキハ文書ヲ以テ輸入港稅關ニ申告スヘシ

第四十一條 通過ノ爲メ輸入スル貨物ノ輸入申告書及通過貨物ノ目錄ニハ仍ホ輸入ノ目的及輸出地ヲ記載スヘシ

第四十二條 關稅法第三十四條但書ニ依リ輸入免許前ニ貨物ノ引取認許ヲ得ントスルモノハ其ノ

理由ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ輸入申告書ニ記載シタル貨物ヲ分割シテ引取ノ認許ヲ得ントスル者ハ仍ホ該貨物ノ記號、番號、品名、數量及輸入申告ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四十三條 貨物ノ仕入書ハ輸入免許ヲ爲スト同時ニ之ヲ提出者ニ還付スヘシ

第四十四條 郵便局ニ於テ輸入郵便物ヲ陸揚シタルトキハ當該稅關ニ通知スヘシ

郵便物ヲ検査スルトキハ郵便局員立會ノ上之ヲ行フヘシ

第四十五條 郵便物ヲ名宛人ニ交付スル能ハサルトキハ郵便局ハ稅關法第四十二條ニ依リ發シタル通知書ニ其理由ヲ記載シ稅關ニ還付スヘシ

第四節 貨物ノ回漕

第四十六條 貨物回漕ノ申告ハ積載スヘキ船舶ノ名稱、國籍、陸揚地、内外貨物ノ區別、貨物ノ記號、番號、品名、箇數、數量及價格ヲ記載シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十七條 回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ回漕免狀ヲ稅關ニ提出スヘシ

稅關ニ於テ前項ノ免狀ヲ受ケタルトキハ貨物ノ検査ヲ爲シ免狀ト符合スルトキハ該免狀ニ回漕濟ノ旨ヲ記入シテ提出者ニ還付スヘシ

第五節 貨物ノ收容ニ關スル手續

第四十八條 關稅法第四十七條ノ揭示及第四十八條ノ申告書ニハ貨物ノ記號、番號、品名及箇數ヲ記載スヘシ

第四十九條 關稅法第五十一條ノ公告ニハ前條ニ掲ケタル事項競賣ノ事由競賣ノ場所及時其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第五十條 收容貨物ノ敷料ハ府令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第四章 異議

第五十一條 關稅ノ賦課ニ關スル異議ノ申立ニ不服ノ要領、理由、要求及處分ヲ受ケタル年月日ヲ記載シ附屬書類又ハ物件アルトキハ之ニ表示スヘシ

第五十二條 異議判定書ニハ異議者ノ住所又ハ居所、氏名、異議申立ノ要領判定ノ理由及判定主文ヲ記載スヘシ

第五十三條 判定書ノ交付ハ使丁ノ送達ニ依リテ之ヲ爲ス但シ書留郵便ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 判定書ヲ送達シタルトキハ受領證ヲ徴スヘシ

第五十五條 異議者ノ住所、居所不明ナルカ又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ判定書ヲ交付スル能ハサルトキハ其要領ヲ揭示スヘシ

做ス

第五十六條 關稅法第六十三條ニ依リ貨物ヲ買上ケ又ハ評價人ヲシテ評價セシメントスルトキハ之ヲ異議者ニ通知スヘシ

第五十七條 異議者前條ニ依リ貨物評價ノ通知ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ評價人ヲ選定シ其ノ職業住所又ハ居所氏名ヲ申告シ稅關長ノ認可ヲ受クヘシ但本條ノ期間ハ異議者ノ申請ニ依リ稅關長ニ於テ必要ナリト認ムルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第五十八條 稅關長ハ異議者ノ選定シタル評價人ヲ不適當ト認ムルトキハ期間ヲ指定シテ其ノ改選ヲ命スヘシ

第五十九條 稅關長評價人ヲ認可シタルトキハ評價ノ特期及場所ヲ指定シテ之ヲ異議者ニ通知スヘシ

第六十條 評價人評價ヲ終リタルトキハ評價ノ理由ヲ詳記シタル評價書ヲ作り之ヲ稅關ニ提出スヘシ

第六十一條 評價ヲ終リタルトキハ稅關長ハ課稅價格ヲ異議者ニ通知スヘシ

第六十二條 差押物件ハ差押ヲ爲シタル官吏之ヲ封印スヘシ

第六十三條 差押目録ニハ物件ノ品名、數量、差押ノ場所及時、物件所持者ノ住所又ハ居所、氏名ヲ記載スヘシ

第六十四條 差押物件ノ所持者若クハ所在警察官署ニ保管セシメタルトキハ其旨差押當時ノ所持者ニ通知スヘシ

第六十五條 關稅法第九十條ニ依リ差押物件ヲ公賣スルトキハ之ヲ公告シテ競賣ニ付スヘシ

前項ノ公告ニハ物件ノ品名、數量、競賣ノ事由、競賣ノ場所及其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第六十六條 臨檢、搜索及訊問調書ニハ臨檢、搜索又ハ訊問ノ事實、場所及時並供述ノ要領ヲ記載スヘシ

第六十七條 稅關官吏犯則事件ノ調査ヲ終リタルトキハ稅關長ニ報告スヘシ

第六十八條 關稅法第九十四條ノ處分通告書ハ通告書ヲ送達シテ之ヲ爲スヘシ

處分通告書ニハ關稅法第九十四條ニ掲ケタル事項ノ外犯則ニ關スル詳細ノ事實、物品ノ數量、納付ノ場所及期間ヲ記載スヘシ

第六十九條 第五十三條及第五十四條ノ規定ハ處分通告書ノ送達ニ之ヲ准用ス

第七十條 沒收ニ該當スル物品ニシテ所在警察官署ノ保管ニ係ルモノハ保管ノ儘納付ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十一條 稅關長犯則事件ヲ告發シタル場合ニ於テ差押目録ト共ニ法院ニ引繼クヘシ
前項ノ差押物件所持者又ハ所在警察官署ノ保管ニ係ルトキハ差押物件引繼ノ旨ヲ保管者ニ通知スヘシ

第七十二條 犯則ノ調査及處分ニ關スル書類ニハ每葉契印スヘシ文字ノ挿入削除若クハ欄外ノ記入ヲ爲シタルトキハ之ニ認印スヘシ
文字ヲ削除スルトキハ其字體ヲ存シ置キ其ノ字數ヲ記載スヘシ

第六章 稅關ノ執務時間及臨時開廳
第七十三條 稅關ノ執務時間ハ休日ヲ除キ午前十時ヨリ午後四時迄トス

第七十四條 稅關ノ執務時間外ニ於テ臨時開廳ノ特許ヲ請ハントスル者ハ開廳ノ期間及其ノ期間中ニ爲ス可キ事項ヲ記載シタル申請書ヲ稅關ニ提出スヘシ

前項ノ特許ヲ受ケタル者ハ特許手數料ヲ納ムヘシ
第七章 則

第七十五條 關稅法第九十八條ノ特許ヲ得ントスルトキハ港名、船舶ノ名稱、國籍、碇泊期間及理由貨物ノ陸揚ニ係ルトキハ其ノ品名、數量ヲ記載シタル文書ヲ以テ船長ヨリ稅關長ニ申請スヘシ

前項ノ特許ヲ得タルトキハ船長ヨリ特許手数料ヲ税關ニ納付スヘシ

第七十六條 税關ノ證明又ハ船舶貨物ニ關スル計表ヲ請フ者ハ手数料ヲ納ムヘシ

第七十七條 棧橋起重機其他税關所屬土地建設物又ハ備品ヲ使用スル者ヲシテ使用料ヲ納付セシムルコトアルヘシ

第七十八條 手数料及使用料ノ額ハ府令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第七十九條 手数料及使用料ハ申請書又ハ納付書ニ收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ「納付スルコトヲ得」

第八十條 税關官吏及收税官吏ハ差押物件、沒收物件、收容貨物、關稅ノ擔保物等ニシテ當該官吏ノ賣却スルモノハ直接ト間接トヲ問ハス之ヲ買受クルコトヲ得

第八十一條 臺灣關稅規則若クハ此細則ニ依リ當該官吏ニ於テ作ルヘキ文書ニハ官廳名若クハ官氏名及年月日ヲ記載シ之ニ捺印スヘシ

第八十二條 申告書其ノ他ノ文書ニハ提出者ノ國籍住所又ハ居所及提出ノ年月日ヲ記載シ提出者之ニ署名スヘシ

第八十三條 臺灣關稅規則又ハ此ノ細則ニ依リ税關又ハ税關長ニ提出スヘキ文書ハ税關出張所ノ管轄内ニ在リテハ税關出張所ニ提出スヘシ
前項ノ外税關ニ關スル規定ハ税關出張所ニ之ヲ準用ス

第八十四條 此細則ハ臺灣關稅規則施行ノ日ヨリ施行ス但シ第一條及第二條ノ規定ハ臺灣關稅規則施行ノ日ヨリ六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

關稅法

(明治三十二年三月
法律第六一號)

同年八月四
日ヨリ施行

第一章

關稅ノ賦課及徵收

第一條 輸入貨物ニハ關稅定率法ニ依リ關稅ヲ課ス但シ條約ニ於テ特別ノ協定アル貨物ハ其協定ニ依ル通過ノ爲輸入スル貨物ニハ關稅ヲ課セス但シ輸入ノ際擔保トシテ税金ニ相當スル金錢其ノ他有價物ヲ提供スヘシ

第二條 輸入貨物損傷シタル爲減稅ヲ請フモノアルトキハ輸入免許前ニ限リ相當ノ減稅ヲ爲スコトヲ得

第三條 關稅ハ輸入申告ノ日ニ於テ行ハル、法規ニ從ヒ徵收ス但シ保税倉庫ニ庫入シタル貨物ノ關稅ハ庫入申告ノ日收容貨物ニシテ公賣ニ付スルモノノ關稅ハ公賣ノ日ニ於テ行ハルル法規ニ從ヒ徵收ス

第四條 關稅ハ輸入申告者ヨリ之ヲ徵收ス但シ遁脫シタル關稅ハ犯則者ヨリ之ヲ徵收ス

第五條 關稅未納ノ貨物ハ其關稅ノ擔保トス
關稅ノ徵收ハ總テ他ノ公課及債權ニ先ツモノトス

第六條 擔保ヲ提供シタル場合ニ於テ徵收スヘキ關稅ヲ納付セサルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充ツ但シ金錢以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付シ關稅及公賣ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ擔保提供者ニ還付ス

第七條 關稅ノ徵收權ハ貨物輸入ノ日ヨリ滿二箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因テ消滅ス但シ連脱ヲ圖リ又ハ連脱シタル關稅ノ徵收權ハ此限ニアラス

第八條 關稅ノ過誤納ニ因テ生スル請求權ハ關稅納付ノ日ヨリ滿二箇年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因テ消滅ス

第九條 前二條ノ期間内ニ爲シタル納稅告知若ハ仕拂請求ハ時効ヲ中斷ス

第二章 船 舶

第十條 外國貿易船開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ稅關ニ入港届ヲ爲シ積荷目録船口申告書、船用品目録及旅客氏名表ヲ提出スルト同時ニ船舶國籍證書及仕出港ノ出港免狀若ハ之ニ代ハルヘキ書類ヲ預クヘシ

第十一條 沿海通航船外國貨物船卸ノ爲開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ其貨物ノ積荷目録ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十二條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ稅關長ノ認許ヲ得タル場合ノ外積荷目録ヲ提出シタル後ニ

非サレハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此限ニ在ラス

第十三條 外國貿易船開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ稅關ニ出港届ヲ爲シ出港免許ヲ受クヘシ

第十四條 外國貿易船貨物ノ積卸ヲ爲サシテ入港ノ時ヨリ二十四時以内ニ出港スルトキハ第十條及第十三條ノ規定ヲ適用セス

第十五條 沿海通航船外國貨物ヲ積載シテ開港ヲ出港セントスルトキハ船長ハ其貨物ノ積荷目録ヲ稅關ニ提出スヘシ

第十六條 積荷目録ハ其提出ノ時ヨリ二十四時以内ニ限リ稅關ノ認許ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコトヲ得

第十七條 外國貨物ヲ積載セル船舶ハ日没ヨリ日出迄ノ間及稅關ノ休日ニハ稅關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ貨物ノ積卸ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品及郵便物ハ此限ニ在ラス

第十八條 外國貿易船ハ不開港ニ出入スルコトヲ得ス但シ海難其他已ムテ得サル事故アルトキハ此限ニアラス

外國貿易船前項但書ノ事故ニ因リ不開港ニ入港シタルトキハ船長ハ直ニ其事由ヲ稅關官吏、稅關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ届出ヘシ

第二十九條 左ニ掲クル外國貨物ヲ不開港ヨリ開港ニ回漕セントスル船舶ノ船長ハ税關官吏、税關

官吏在ラサルトキハ警察官吏ノ認許ヲ受クヘシ

一 假ニ陸揚シタル貨物

二 運航ノ自由ヲ得サル船舶ニ積載セル貨物

三 難波貨物

第三十條 前條ノ貨物ヲ積載シ來リタル船舶開港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四

時以內ニ認許證ヲ税關ニ提出スヘシ

第三十一條 外國貿易船舶用品ヲ積入レントスルトキハ船長ハ税關、税關ノ設置ナキ地ニ於テハ

税關官吏、税關官吏在ラサルトキハ警察官吏ニ申告スヘシ

第三十二條 税關官吏職務ノ爲メ船舶ニ乗込ムトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第三十三條 本法ニ於テ外國貿易船舶ト稱スルハ外國貿易ノ爲メ外國ニ往來スル船舶ヲ謂フ

第三章 貨物

第一節 總則

第三十四條 貨物ハ開港ニ由ルノ外輸出若ハ輸入ヲ爲スコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此限ニ在ラス

一 遭難船舶ノ修繕救援若ハ救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲貨物ヲ賣却スルトキ

二 遭難船舶ニ積載セル損傷貨物若ハ腐敗シ易キ貨物ヲ讓渡スルトキ

三 遭難船舶若ハ難破貨物ヲ輸入スルトキ

四 遭難船舶ヨリ上陸シタル旅客ノ携帶品ヲ輸入スルトキ

第二十五條 貨物ノ検査ヲ開始シタル後ハ貨物ニ關スル申告書ノ訂正補足ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 日没ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニハ税關長ノ特許ヲ受クルニ非サレハ貨物ヲ税關ニ送致シ又ハ貨物ノ引取り發送ヲ爲スコトヲ得ス但シ旅客ノ携帶品ハ此限ニ在ラス

第二十七條 税關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ノ取扱ハ總テ税關長ノ指揮ニ從フヘシ

第二十八條 貨物ノ陸揚、船積其他船舶ト陸地トノ交通ハ税關長ノ特許ヲ得タル場合ノ外税關ニ於テ定メタル場所ニ由ルヘシ

第二十九條 輸出シタル貨物ハ外國貨物トシ輸入シタル貨物ハ内國貨物トス

第三十條 貨物ニ關スル本法ノ規定ハ船用品ニ之ヲ適用セス

第二節 輸出、輸入及積戻

第三十一條 貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲サントスル者ハ税關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ其免許ヲ受

クヘシ但シ第二十四條但書ノ場合ニ於テハ税關官吏税關官吏現場ニ在ラサルトキハ收税官吏ニ
申告シ其検査及免許ヲ受クルコトヲ得

第三十二條 輸入申告書ニハ仕入書ヲ添付スヘシ

但當該官吏ニ於テ仕入書ヲ添付スルコト能ハサル理由アリト認ムルトキハ此ノ限リニアラス
前項但書ノ場合ノ外輸入申告書ニ仕入書ヲ添付セサルトキハ關稅ノ賦課ニ關シ異議ヲ申立テ若
ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得ス

第三十三條 通過ノ爲貨物ノ輸入ヲ爲サントスルトキハ之ヲ輸出スヘキ地ヲ異ニスル毎ニ其目錄
ヲ提出スヘシ

第三十四條 輸入貨物ハ輸入免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ引取り若ハ通過ノ爲發送スルコト
ヲ得ス但シ當該官吏ノ認許ヲ得税金ノ擔保トシテ金錢ヲ提供シタルトキハ輸入貨物ノ引取りヲ爲
スコトヲ得

第三十五條 通過ノ爲メ輸入シタル貨物ノ運送ハ關稅通路ニ由ルヘシ關稅通路ハ勅令ヲ以テ之ヲ
定ム

第三十六條 運送人ハ通過貨物ニ關シ職務ヲ執行スル官吏ニ對シ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第三十七條 輸出貨物ハ輸出免許ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス

第三十八條 外國貨物ノ積戻ニハ總テ輸出ニ關スル規定ヲ準用ス但シ假ニ陸揚シタル貨物ノ積戻
ハ此限ニ在ラス

第三節 回 漕

第三十九條 内外國貨物ヲ外國貿易船ニ又ハ外國貨物ヲ沿海通航船ニ積載シ開港間ニ回漕セント
スル者ハ税關ニ申告シ貨物ノ検査ヲ經テ回漕免許ヲ受クヘシ

第四十條 前條ノ回漕貨物ハ回漕免許ヲ受ケタル後ニ非ラサレハ之ヲ船積スルコトヲ得ス

第四十一條 第三十九條ノ回漕貨物船卸ヲ爲スヘキ地ニ到達シタルトキハ貨物ノ検査ヲ受クヘシ

第四節 郵便物

第四十二條 郵便物中關稅ヲ課スヘキ物品アルトキハ税關ハ其稅金額ヲ郵便局ヘ通知スヘシ

第四十三條 關稅ヲ課スヘキ郵便物ヲ受取ラントスル者ハ郵便局ニ申出テ其關稅ヲ納付スヘシ
前項ノ關稅ハ印紙ヲ以テ納付スヘシ

第四十四條 郵便物ノ關稅ハ郵便物ヲ名宛人ニ交付スル場合ノ外之ヲ課セス

第四十五條 第一條第二項但書第二十四條第二十六條第三十一條乃至第三十五條及第三十七條乃
至第四十一條ノ規定ハ郵便物ニ之ヲ適用セス

第五節 收 容

第四十六條 船積ノ爲税關ニ送致シ若ハ陸揚シタル貨物ハ其送致若ハ陸揚ノ時ヨリ七十二時以内ニ引取、船積、發送又ハ保税倉庫ニ庫入ヲナサ、ルトキハ税關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ヲ以テ之ヲ收容スルコトヲ得

第四十七條 貨物ヲ收容シタルトキハ三日以内ニ其旨ヲ揭示スヘシ

第四十八條 貨物收容ノ解除ヲ得ントスル者ハ税關ニ申告シ其貨物ニ關スル一切ノ費用及敷料ヲ納メ免許ヲ受クヘシ

第四十九條 前條ノ免許ヲ受ケタルトキヨリ四十八時以内ニ貨物ノ引取、船積、發送又ハ保税倉庫ニ庫入ヲ爲サ、ルトキハ前條ノ申告及免許ハ無効トス

第五十條 貨物收容ノ日ヨリ六箇月以内ニ第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ税關ハ其ノ記號番號、種類、箇數ヲ公告スヘシ

前項公告ノ日ヨリ一箇月以内ニ仍第四十八條ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ貨物ヲ競賣ニ付シ關稅敷料其他其貨物ニ關スル一切ノ費用ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ供託スヘシ

第五十一條 收容貨物腐敗ノ虞アルトキ又ハ倉庫若ハ他ノ貨物ヲ害スルノ虞アルトキハ前條ノ期限ニ拘ラス公告シテ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ得但シ公告スルノ暇ナキ時ハ競賣シタルノ後之ヲ公告スヘシ

第五十二條 收容貨物ヲ競賣ニ付スルモ買受人ナキトキハ適宜處分スルコトヲ得

第四章 税關官吏ノ職權

第五十三條 税關長ハ其ノ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ船車ノ出發ヲ差止メ又ハ進行ヲ停止スルコトヲ得

第五十四條 税關長ハ必要ト認ムルトキハ船舶若ハ貨物ニ關スル書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第五十五條 税關長ハ運送貨物ニ對シ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 税關長ハ必要ト認ムルトキハ輸出入貨物ノ見本ヲ納付セシムルコトヲ得

第五十七條 税關官吏ハ船車ニ乗込ミ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 税關官吏ハ必要ト認ムルトキハ貨物ヲ検査若ハ封鎖シ又ハ船車倉庫其他貨物ノ藏置場ヲ封鎖スルコトヲ得

第五十九條 税關長ハ職權ノ執行ニ必要ト認ムルトキハ海軍ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第六十條 前條ノ請求アリタルトキハ海軍艦船長ハ船舶ニ對シ進行停止ノ命令ヲ爲スコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル船舶進行ヲ停止セサル時ハ海軍艦船長ハ其船舶ニ對シ兵力ヲ用ウルコトヲ得

第五章 異議及訴願

第六十一條 關稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日

以內ニ文書ヲ以テ稅關長ニ異議ノ申立ヲ爲ス事ヲ得但シ貨物ヲ引取リタル後ハ此限リニ在ラス

第六十二條 前條ノ規定ニ依リ異議ノ申立アリタルトキハ稅關長ハ文書ヲ以テ之ヲ判定シ異議申

立人ニ之ヲ交付スヘシ但シ第六十三條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第六十三條 從價稅ヲ課スヘキ貨物ノ課稅價格ニ關スル異議ヲ不當ト認ムルトキハ稅關長ハ申告

價格ニ其ノ百分ノ五ヲ加ヘタル價格ヲ以テ其貨物ヲ買上ルカ若ハ評價人ヲシテ評價セシムヘシ

第六十四條 評價人ハ四人トシ二人ハ稅關長之ヲ命シ二人ハ異議者之ヲ選定ス但シ左ニ掲クル者

ハ評價人タルコトヲ得ス

一 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其確定シタ

ルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

二 第七十四條乃至第七十六條ノ處罰ヲ受ケ滿三年ヲ經過セサル者

三 剝奪公權者及停止公權者

四 當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者

異議者ニ於テ評價人ヲ選定シタルトキハ稅關長ノ認可ヲ受クヘシ

第六十五條 評價人ヲシテ評價セシメタルトキハ其評價價格ヲ以テ課稅價格トス但シ評價價格申

告價格ヨリ少ナキトキハ申告價格ヲ以テ課稅價格トス

第六十六條 異議者ノ選定シタル評價人ニ關スル費用ハ異議者ノ負擔トス

第六十七條 異議ノ申立ハ處分ノ執行ヲ停止セス但シ稅關長ハ必要ト認ムルトキハ其執行ヲ停止

スルコトヲ得

第六十八條 稅關長ノ處分ニ對シ不服アル者ハ大藏大臣ニ訴願スルコトヲ得

第六十九條 訴願ヲ審査セシムル爲委員會ヲ設ク

第七十條 委員會ハ委員過半數出席スルニ非サレハ決議ヲ爲スコトヲ得ス決議ハ出席委員ノ過半

數ニ依リ之ヲ爲ス可同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第七十一條 委員ハ自己ノ利害ニ關スル議事ニ參與スルコトヲ得

第七十二條 委員會ニ於テ審査ヲ了シタルトキハ其結果ヲ大藏大臣ニ具申スヘシ

第七十三條 委員會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 罰 則

第七十四條 輸入禁制品ノ輸入ヲ圖リ又ハ其輸入ヲ爲シタル者ハ犯罪ニ係ル貨物ノ原價ニ相當ス

ル罰金若ハ科料ニ處シ其貨物ヲ沒收ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此限ニ在ラ

第七十五條 關稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ通脫シタル者ハ其通稅ヲ圖リ又ハ通脫シタル稅金ノ三倍ニ相當スル罰金若ハ科料ニ處シ犯罪ニ係ル貨物ヲ沒收ス

第七十六條 免許ヲ受ケスシテ貨物ノ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ前二條ニ該當スル者ハ此限ニ在ラス

第七十七條 貨物ト符合セサル積荷目錄ヲ提出シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條 第十八條第一項ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ他ノ法律ニ於テ別ニ刑ヲ定メタルモノハ此限リニ在ラス

第七十九條 第十二條若ハ第十七條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條 第十條第十一條第十三條第十五條第十八條第二項第十九條第二十條若ハ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十一條 第二十六條乃至第二十八條第四十條若ハ第四十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十二條 第七十七條乃至第八十一條ノ規程ニ該當スル者ハ不注意ニ出テタルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ル、コトヲ得ス

第八十三條 本法ニ依リ沒收スヘキ貨物ハ犯罪當時ノ所有者ノ所有ニ屬スル間ハ之ヲ沒收シ既ニ

之ヲ讓渡若ハ消費シタルトキハ其價格ニ相當スル金額ヲ犯罪者ヨリ徵收ス

第七章 犯罪事件ノ調査及處分

第八十四條 稅關官吏ハ犯罪ノ事實發見ノ爲必要ト認ムルトキハ船車倉庫其他ノ場所ニ臨檢シ搜查ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 稅關官吏ハ犯罪ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ物件ヲ身邊ニ藏匿スル者アリト思料シタルトキハ其開示ヲ求メ若シ之ニ從ハサルトキハ身邊ノ搜查ヲ爲スコトヲ得

第八十六條 稅關官吏ハ犯罪事件ノ調査ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ犯罪者證人參考人ヲ訊問スルコトヲ得

第八十七條 稅關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲ストキハ制服ヲ着用シ又ハ其資格ヲ證明スル證票ヲ携帯スヘシ

第八十八條 稅關官吏ハ臨檢搜查ヲ爲スニ當リ必要ト認ムルトキハ警察官吏ノ援助ヲ求ムルコトヲ得

第八十九條 稅關官吏搜索ヲ爲ストキハ搜索スヘキ船車倉庫其他ノ場所ノ所持人又ハ其同居ノ親族傭人隣佑、其ノ在ラサルトキハ其地ノ警察官吏若ハ市町村吏員ヲシテ立會ハシムヘシ但シ船中ニ在テハ其役員ヲシテ立會ハシムルコトヲ得

前項ノ親族傭人若ハ隣佑ハ成年者ナルヲ要ス

第九十條 税關官吏犯則事件ノ調査ニ依リ發見シタル物件犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘシト思
料シタルトキハ之ヲ差押ヘ差押目録ヲ作ルヘシ

差押物件ハ便宜ニ依リ所持者若ハ市町村役場ニ保管セシムルコトヲ得

差押物件腐敗其他損傷ノ虞アルトキハ税關長ハ之ヲ公賣ニ付シ其代金ヲ供託スルコトヲ得

第九十一條 臨檢搜索及物件差押ハ日没ヨリ日出迄ノ間之ヲ爲スコトヲ得ス但シ現行犯ノ場合ハ
此限ニ在ラス

第九十二條 税關官吏ハ前數條ニ記載シタル處分中何人ニ限ラス許可ヲ得スシテ其場所ニ出入ス
ルヲ禁スルコトヲ得

第九十三條 税關官吏臨檢、搜索、訊問ヲ爲シタルトキハ其調書ヲ作り立會人若ハ訊問ヲ受ケタ
ル者ニ示シ共ニ署名スヘシ

立會人若ハ訊問ヲ受ケタル者署名セス又ハ署名スルコト能ハサルトキハ其旨ヲ付記スヘシ

第九十四條 税關長ハ犯則事件ノ調査ニ依リ犯則ノ心證ヲ得タルトキハ其理由ヲ明示シ罰金若ハ
科料ニ相當スル金額沒收ニ相當スル物品若ハ徵收金ニ相當スル金額ヲ税關ニ納付スヘキ旨ヲ通
告スヘシ

第九十五條 犯則者前條ノ通告ヲ受ケタルトキハ其日ヨリ五日以内ニ之ヲ履行スヘシ此期間内ニ
履行セサルトキハ税關長ハ直ニ告發スヘシ

第九十六條 犯則者通告ノ旨ヲ履行シタルトキハ同一事件ニ付訴ヲ受クルコトナシ

第九十七條 税關長ハ通告ヲ爲シ難シト認ムルトキ若ハ通告ノ旨ヲ履行スル資力ナシト認ムルト
キハ直ニ告發スヘシ

第八章 補 則

第九十八條 船舶修繕ノ爲又ハ巨大重量ノ貨物ニシテ開港ニ於テ積卸シ難キ貨物ヲ陸揚スル爲必
要ト認ムルトキハ當分ノ内税關長ハ外國貿易船ノ不開港ニ出入スル特許ヲ與フルコトヲ得

第九十九條 從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所及其開港ニ於テ輸出若ハ輸入スヘキ貨物ノ種類
ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百條 本法ノ期間ヲ定ムルニ日時ヲ以テシタルモノハ其期間中ニ税關ノ休日ヲ算入セス日ト稱
スルハ二十四時ヲ謂ヒ月ト稱スルハ三十日ヲ謂ヒ年ト稱スルハ曆ニ從フ

第一百一條 本法ノ規定中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代リテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第一百二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百三條 明治十六年布告第四十號、特別輸出港規則、同二十三年勅令第五十四號税關法、税關

規則同二十六年法律第十三號、同二十七年法律第二號、同年法律第三號、同二十九年法律第十
八號其他本法ニ牴觸スル法令ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第二節 開 港

帝國領臺當時ノ本島ニ於ケル開港場ハ清國時代ノ舊ニ仍リ清國カ其締盟各國ニ向テ通商ノ爲メニ開
キタル四港則チ淡水、基隆、安平、打狗ナリシモ支那形船ハ清國時代ヨリ本島沿岸ト清國各港トノ
間ニ往來シテ沿岸貿易ニ從事シタルヲ以テ領臺後此等船舶カ右四港外ノ諸港ニ出入スルコトヲ全禁
スルハ當時ノ情勢ニ適スルノ措施ト謂フヘカラス依テ先ツ鹿港ヲ便宜上支那形船出入ノ港トシテ開
カレタリ然ルニ明治二十九年二月帝國カ締盟各國ニ對シ通商條約ヲ臺灣ニ適用スルコトヲ宣言スル
ニ當リテヤ通商開港ヲ淡水、基隆、安平、臺南、打狗ノ五港ト定メ凡ソ日本帝國ト通商及航海ノ條
約ヲ締有スル各國ノ臣民及人民ハ右五港ニ於テ居住シ且ツ商業ヲ營ムコトヲ得又締盟各國ノ船舶ハ
右五港ニ寄港シ且ツ積荷ヲ輸出スルコトヲ得ルモノト爲セリ唯臺南ハ事實上安平ト同一港ナルニヨ
リ外國人ノ居留地トシテハ意義アルモ開港トシテハ兩者ヲ區別スルノ必要ヲ見サルヲ以テ臺南稅關
ハ官制上其名稱アリシモ實際ニ於テハ之カ設置ヲ見ルニ至ラスシテ止ミタリ故ニ五港ト稱スト雖モ
其實四港ナルヲ知ルヘキナリ然ルニ明治二十九年一月ノ宣言ハ既ニ本島ノ開港ヲ上記四港ト定メタ
ルカ故ニ支那形船ト雖モ四港以外ニ出入スル能ハサルハ無論ナルヲ以テ總督府ニ於テハ更ニ適宜ノ

措施ヲ執リ左ノ如キ訓令ヲ下セリ

總督府訓令第十一號

清國地方ヨリ入出港スル支那形船舶ハ一旦開港ニ入港ノ上稅關一切ノ手續ヲ了シタルモノト看做
シ稅關各出張所ニ於テ該船舶ノ出入及貨物ノ積卸ヲ許シ同時ニ其輸出入稅及入出港手数料其他一
切ノ收入金ヲ徵收スルコトヲ得

明治二十九年二月二十三日

民政局長代理

內務部長

牧

朴

眞

此ノ如クシテ從前鹿港ノ外更ニ舊港ノ一港ヲ支那形船ノ爲メニ開キタリ

進ンテ明治二十九年八月ニ至リ同月發布官制第二條「稅關ノ外稅關事務ヲ行フヘキ場所ニ稅關出張
所ヲ配置ス」ノ明文ニ基キ稅關出張所ヲ指定セラレタルハ蘇澳、舊港、後壠、梧棲、鹿港、布袋嘴、
東港、媽宮ニシテ此內新設ニ係ルモノハ蘇澳、後壠、梧棲、布袋嘴、東港、媽宮ノ六箇所ナリトス
而シテ所謂稅關ノ事務ヲ行フヘキ場所トハ開港ニ外ナラサルヲ以テ新設ノ出張所所在地ハ即チ四箇
所ノ開港ヲ増加シタルモノト視做サ、ルヘカラス翌三十一年ニ至リ布袋嘴出張所ハ廢セラレ之ニ代
ルヘキ東石港出張所ヲ布袋嘴ヲ距ルコト二里余ナル東石港ニ設ケラレタルハ上陳ノ如シ(第二章第

一節第一款官制參照)是ノ如クニシテ税關出張所ノ移轉ト共ニ開港モ亦移轉セリ以上税關出張所所在地ハ同年同月十七日ニ至リ特別輸出港トシテ指定セラレ之ニ關スル法令左ノ如ク發布セラレタリ

律令第一號

(明治三十年一月十七日)

第一條 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲帝國臣民及臺灣住民所有船舶ノ出入及貨物ノ輸入ヲ爲スヘキ港ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 前條船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ニ關シテハ税關法及税關規則ヲ適用ス但日本形船舶及支那形船舶ノ納ムヘキ出入港手数料ハ別ニ府令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 臺灣總督ハ何時ニテモ其必要ヲ認ムル場合ニ於テ第一條ニ依リ定メタル特別輸出入港ヲ閉鎖スルコトヲ得

府令第四號

(明治三十年一月)

明治三十年律令第一號第一條ニ依リ特別輸出入港ノ内左ノ通指定ス

臺北縣管下蘇澳

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後龍

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖島廳管下媽宮

從前四港外ノ各港ニ出入スルヲ得タルモノハ船舶ノ國籍如何ニ拘ハラサリシカ此律令ノ發布ニ依リ帝國臣民及臺灣住民所有ノ船舶及貨物ノミ之ニ出入スルコトヲ得ルコトハナレリ

明治三十年一月沿岸ノ取締ト地方人民ノ利便トヲ圖リ下湖口ヲ以テ特別輸出港トセリ府令左ノ如シ(第一章第一節第一款官制參照)

府令第九號

明治三十年一月府令第四號特別輸出入港臺中縣管下鹿港ノ次ニ臺中管下下湖口ヲ加フ

本令ハ明治三十二年二月十五日ヨリ施行ス

明治三十一年三月特別輸出入港左ノ如ク改正セララル

府令第二十三號

(明治三十一年三月)

明治三十一年三月明治三十年律令第一號第一條ニ依リ特別輸出入港當分ノ内左ノ通指定ス本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

明治三十一年府令第四號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後龍

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺中縣管下下湖口

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖島廳管下媽宮

此府令ノ施行ニ依リテ廢止ニ歸シタルモノハ獨リ蘇澳ノミ蓋シ元來蘇澳ヲ特別輸出入港トシタル所
以テモソハ船舶貨物ノ輸出入港タルヨリモ寧ロ其密輸入ヲ取締ルノ必要ニ基ケリ而シテ今ヤ此必要
ハ殆ソト減減ニ歸シタルヲ以テ蘇澳特別輸入港ハ從ヒテ廢止ニ歸セリ(第二章第一節第一款官制參
照)明治三十一年八月施行ノ關稅法第九十九條「從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所及其ノ開港ニ於
テ輸出若ハ輸入スヘキ貨物ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」及同年同月施行ノ臺灣關稅規則第一條ノ
但書ニ於テ「第九十九條ニ依リ開港トナスヘキ場所及其開港ニ於テ輸出及輸入スヘキ貨物ノ種類ハ

府令ヲ以テ之ヲ定ム」ノ明文ニ基キ開港トナスヘキ場所ニ支那形船ヲ限リ(從來此ノ制限ナシ)出
入本埠コトヲ得ルモノトシテ左ノ通指定セラレタリ

府令第八十七號 (明治三十二年八月)

明治三十二年律令第二十號第一條ニ依リ從來ノ開港ノ外開港トナスヘキ場所左ノ通指定ス但當分ノ
內支那形船ニ限リ出入スルコトヲ得

臺北縣管下舊港

臺中縣管下後龍

臺中縣管下梧棲

臺中縣管下鹿港

臺中縣管下下湖口

臺南縣管下東石港

臺南縣管下東港

澎湖島廳管下媽宮

附則

本令ハ明治三十二年八月四日ヨリ施行ス

明治三十二年三月府令第二十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

以上明治三十二年府令第八十七號ニ於ケル從來開港外ノ開港指定ハ即チ現時施行ノ者ニシテ所謂從來ノ開港トハ明治二十九年一月締盟各國ニ對スル宣言書ニ掲ケタル淡水、基隆、安平、(臺南)、打狗ノ四港ヲ指スナリ是等四港ハ内地ニ於ケル横濱、神戸、長崎、函館等ト同一ノ開港ナルモ他ノ八港(即チ從前ノ特別輸出入港)ニ至リテハ支那形船ノ外出入スルコトヲ許サレズ是レ臺灣ノ特設ニ屬シ内地ニ其例ヲ見サル所トス而シテ支那形船ナルモノハ臺灣及清國ヲ除クノ外各國之ヲ使用セサルヲ以テ支那船ニ限り出入ヲ許スノ開港ハ即チ全然本島清國間ノ貿易ニ對シテノミ開港セラレタルモノト謂ハサルヲ得サルナリ

第三節 船 舶

第一款 外國貿易船

帝國領臺當初ハ清國時代ノ舊ニ仍リ外國貿易船ハ淡水、基隆、安平、打狗ノ四港ニノミ出入スルコトヲ許サレタリ是レ當時ニ在リテハ素ヨリ適當ノ措施ト謂ハサルヘカラス然レトモ支那形船舶ニ至リ

テハ清國時代ノ舊ノ如ク之ヲ全島總テノ場所ニ之カ出入ヲ許スノ不可ナルト同時ニ之ヲ全禁スルモ亦當時ノ情勢ニ適スルモノニアラス之カ爲メ明治二十八年十月特ニ鹿港ニ外國貿易船ノ出入ヲ許シ翌年二月又特ニ舊港ニ外國貿易船ノ出入ヲ許シタルモ其實ハ支那形船舶ヲ目的トシタルモノニアラサズハナシ然レトモ同年八月稅關法ノ實施アリタル爲メ翌九月始メテ支那形船舶取締規則ヲ發布セラルルニ至リ蓋シ此支那形船舶取締規則ナルモノハ船籍規則ト稅關沿岸線ニ對スル取締規則トヲ併合シタルカ如キモノニシテ其目的ハ支那形船舶ニ對スル國籍ヲ分明スルニ在リ何トナレハ上陳ノ鹿港、舊港ニ港ニ外國貿易船ノ出入ヲ許シタルモノハ汽船支那形船舶ノ區別ヲ設ケサリシト雖モ其目的ハ固ヨリ支那形船舶ニ存スレハナリ而シテ支那形船舶ハ又本島人民所有ノ船舶ヲ目的トシタルモ汽船支那形船舶ノ區別ヲ設ケテラレサルコト彼カ如シ況ンヤ支那形船舶ノ國籍ニ於テオヤ是ニ於テ稅關法ノ實施ト共ニ支那形船舶ノ國籍ヲ明カニスルノ必要ヲ生シ二十九年十二月總督府財務局長ハ左ノ令達ヲ以テ清國所屬ノ支那形船舶カ本島一切ノ不開港ニ出入スルコトヲ禁止スルコトヲ發布セリ

民財第二七七四號

清國所屬船舶ハ一切不開港ニ出入ヲ許サル義ト心得ヘシ

明治二十九年十二月七日

民政局長

水野

邊

船舶ノ噸税ニ關シテハ領臺當時亦同シク清國海關ノ舊慣ニ仍リ凡ソ船舶百五十噸ヲ超ヘタルモノニハ一噸ニ付四「メース」百五十噸以下ノモノニハ一噸付二「メース」ニ相當スルノ噸税ヲ徵收シ四箇月間有効ト定メラレシカ二十九一月ニ至リ安平ニ在ル「ベイン」商會ハ噸税證書有効期限四箇月間内僅ク一「二」回ノ入出港ニ對シ多數ノ噸税ヲ納付スルニ加フルニ清國ニ到レハ更ニ噸税ヲ徵セラレ又日本内地ニ到ルモ入出港手数料ヲ課セラル、ハ到底堪ヘ難キ所ナレハ本島ノ噸税ヲ日本内地ト同一ナル入出港手数料ニ改メ以テ外商ノ負擔ヲ輕減セラレンコトヲ請フトノ情願ヲ以テ安平稅關ニ提出セリ安平稅關ハ之ニ對シ刻下本島稅關便宜ヲ以テ諸般舊慣ニ因襲スルノ際獨リ噸税ノミ之ヲ内地ノ例ニ倣ヒテ出入港手数料ニ改ムルハ急卒ノ間ニ望ム可ラス徐ロニ以テ法令ノ規定ヲ待ツヘキノミトノ答辨ヲ爲セリ然ルニ翌月帝國現行條約ヲ本島ニ施行セラル、ヤ入出港船舶ノ噸税ヲ廢シ條約ノ規定ニ依リ西洋形船及日本形船ニ對シテハ入港手数料十五圓出港手数料七圓ヲ徵收スルコト、ナレリ然ラ而シテ「ベイン」商會情願事件ハ獨リ同商會一箇ノ情願タルニ止マス安平淡水在留外商モ亦同一ノ情願ヲ呈シ殊ニ「ベイン」商會ハ英國領事ヨリ安平稅關ニ數日往復ヲ重ヌルニ至リ是等ノ結果トシテ外國公使ヨリ外務省ニ交渉シ來リ拓殖務大臣ハ臺灣總督府民政局ヲシテ左ノ訓令ヲ發セシムルニ至

民訓第八號

獨逸國運送船ベルギヤ號英國ベイン商會ノ船舶ニ對シ現行條約適用ノ宣言ヲ爲シタル日迄賦課シタル噸税ハ特ニ酌量ヲ加フヘキ事情アルヲ以テ該船舶ニ賦課セシ噸税ノ内ヨリ帝國ト清國トノ間ニ臺灣ヲ受渡セシ以來現行條約ヲ適用スヘキ旨宣言セシトキニ至ル迄ノ間ニ於テ該船舶カ臺灣ノ各港ニ出入セシ度數ニ應シ日本本部ニ於テ現ニ外國船舶ニ課スル所ノ入港出港兩手数料ヲ差引キ其殘額ヲ還付スヘキ旨拓殖務大臣ヨリ訓令有之候條可然取計フヘシ

明治二十九年七月八日

民政局長 水野 遵

民財第五九四號

獨逸運送船ベルギヤ號及英國ベイン商會ノ船舶ニ對シ噸税還付方民訓第八號ヲ以テ訓令相成候處他ノ船舶ニ對シテハ其請求ヲ待テ同一ノ計算ニ依リ還付方可取計儀ニ有之候間命ニ依リ御心得迄此段及御通牒候也

明治二十九年七月八日

民政局財務部長 山口 宗 義

安平稅關長 渡邊 豊殿

(追書畧)

右ノ訓令ニ基キテ現行條約適用ノ宣言ヲ爲シタル日マテニ徵收シタル噸稅ト條約上ノ入港出港手
數料トノ差額ヲ計算シ拓殖務省ヨリ豫算ノ配付ヲ受ケテ之カ拂戻ヲ外商ニ爲シ三十年四月ニ至リ始
メテ其局ヲ結ヒタリ

明治二十九年八月稅關法本島ニ施行セラル、ニ及ンテ西洋形船及日本形船ハ同法ノ規定ニ依リ取扱
ハレシカ獨リ支那形船ニ至リテハ其規定ナキヲ以テ特ニ左ノ律令ヲ發セラル、ニ至レリ

律令第十一號 (明治二十九年十月)

第一條 外國貿易ノ爲開港ニ出入スル支那形船ニハ稅關法及稅關規則ヲ適用ス

第二條 前條船舶ノ納ムヘキ出入港手數料ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

稅關法ニハ西洋形船及日本形船ニ對シ入港手數料ヲ十五圓出港手數料ヲ七圓ト定メラレシカトモ清
國ト一葦帶水ヲ隔テ、往復頻繁ナル支那形船ニ對シ上者ト同一ノ手數料ヲ課スルハ少シク苛重ノ嫌
ヒアルヲ以テ支那形船ニ對シテ右ノ如キ特定アルヲ見ルニ至レリ

府令第三號 (明治三十年)

明治二十九年律令第十一號第二條ニ依リ外國貿易ノ爲メ開港ニ出入スル支那形船舶ノ納ムヘキ出
入港手數料左ノ通相定ム

- 一 入港手數料 金二圓

- 一 出港手數料 金一圓

明治三十年律令第一號第一條ニハ開港外ノ開港即チ別特輸出入港ニ於テ外國貿易ノ爲メ帝國臣民及
臺灣住民所有ノ船舶之ニ出入スルヲ得ルノ明文ヲ掲ケタルモ船舶ノ種類ニ至リテハ未タ規定アラズ
但シ其出入港ノ手數料ハ左ノ如ク定メラレタリ

府令第五號 (明治三十年)

明治三十年律令第一號第二條ニ依リ外國貿易ノ爲特別輸出入港ニ出入スル日本形船舶及支那形船
舶ノ納ムヘキ出入港手數料左ノ通相定ム

- 一 入港手數料 金二圓

- 一 出港手數料 金一圓

然ルニ明治三十二年八月關稅法ノ施行ト共ニ從來開港ノ外開港トナスヘキ場所ヲ指定セラレ(第三
章第一節開港參照)是等開港ニハ當分ノ内唯タ支那形船舶ニ限り之ニ出入スルコトヲ許サレタリ
明治三十二年七月八日條約ノ實施ト共ニ出入港手數料ハ復タ變シテ噸稅トナリ臺灣噸稅規則及同施
行細則左ノ如ク定メラレタリ

臺灣噸稅規則 (明治三十二年一月 律令第二十二號)

第一條 外國貿易ノ爲外國ニ往來スル西洋形船舶開港ニ入港シタルトキハ其入港毎ニ登簿噸數一

噸ニ付五錢ノ噸稅ヲ課ス

第二條 外國貿易ノ爲外國ニ往來スル日本形船舶及支那形船舶開港ニ入港シタルトキハ其入港シタル毎二千石以上ノモノニ在テハ五圓千石以下ノ者ニ在テハ三圓ノ噸稅ヲ課ス

第三條 此規則ニ規定セサル事項ハ明治三十二年法律第八十八號噸稅法ヲ適用ス

附 則

第四條 此規則施行ノ期日ハ府令ヲ以テ之ヲ定ム

噸稅法 (明治三十二年三月 法律第八十八號)

第一條 外國貿易ノ爲メ外國ニ往來スル船舶開港ニ入港シタルトキハ其入港毎ニ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付五錢ノ噸稅ヲ課ス但シ登簿噸數一噸又ハ積量十石ニ付十五錢ヲ一時ニ納付スルトキハ其港ニ於テハ滿一箇年間噸稅ヲ納ムルヲ要セス

帝國ト測度法ヲ異ニスル外國ノ船舶ノ登簿噸數ハ帝國ニ於テ定ムル測度法ニ依リ換算ス

第二條 噸稅ハ船舶入港シタルトキ船長ヨリ稅關ニ納付スヘシ

第三條 海難其他已ムヲ得サル事故ニ由リ入港シタル船舶ニハ噸稅ヲ課セス但シ本條ノ事故ニ由リ入港シタル船舶ノ積卸チナストキハ此限りニアラス

第四條 稅關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船舶ノ測度ヲ爲スコトヲ得

第五條 噸稅ノ通脫ヲ圖リ又ハ噸稅ヲ納付セスシテ出港シタルトキハ船長ヲ其通脫ヲ圖リ若ハ納付セザリシ稅金ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處ス

第六條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス但シ通告履行ノ期間ハ通告ヲ受ケタルトキヨリ四十八時以内トス

第七條 噸稅ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法ヲ適用セス

臺灣噸稅規則施行細則 (明治三十二年八月 府令第九十號)

第一條 稅關又ハ稅關出張所ニ於テ噸稅ヲ徵收セントスルトキハ其稅金額及納付金庫ヲ指定シテ納稅人ニ告知スヘシ

第二條 海難其他止ムヲ得サル事故ニ依リ開港ニ入港シタル外國貿易船ハ其事由ヲ稅關又ハ稅關出張所ニ證明スヘシ但噸稅ヲ納付スル場合ハ此限ニアラス

第三條 噸稅納付濟ノ證明又ハ噸稅法第四條ニ依リ測度ヲ受ケタル場合ニ於テ船舶測度證ヲ受ケントスル者ハ稅關又ハ稅關出張所ニ申請シ證書一通ニ付手数料金一圓五十錢ヲ納付スヘシ
前項手数料ハ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

第四條 犯則ノ調査及處分手續ニ關シテハ臺灣關稅規則施行細則ヲ準用ス

附 則

第五條 本令ハ臺灣噸稅規則施行ノ日ヨリ施行ス

明治三十三年五月府令第四十三號ヲ以テ本細則第三條第二項中「納付スヘシ」トアルヲ「納付スルコトヲ得」ニ改メラレタリ

明治二十九年七八月東京駐在英國公使ハ臺南英國領事ノ報告ニ接シ安平打狗ヲ一港ト視做シ船舶出入港手數料ヲ賦課セラレナハ右兩港ニ出入スル商船ニ對シ至大ナル恩惠ナルヘシトテ外務大臣ニ照會シ來リ拓殖務大臣ハ其覺書ヲ臺灣總督府ニ廻付セラレ總督府ハ更ニ其答辨ヲ稅關長ニ求メラレタルニ渡邊安平稅關長ハ答辨ヲ具申セリ即チ參考ノ爲メニ其答辨並ニ關係書類ヲ左ニ掲ク

安稅一八六號

安平打狗兩港ヲ一港ト見做シ船舶出入港手數料ヲ賦課セラレ度旨英國公使ノ要求ニ對シ意見申出ヘキ様御申越ノ趣了承抑々各開港ニ出入スル外國船舶及輸出入貨物ノ各稅關ニ對スル諸手數料ハ總テ各々之ヲ爲サシムルヲ要スルハ稅關法規及條約書貿易章程ノ規定スルトコロニシテ安平打狗兩稅關ノ如キモ各一様ノ機關ヲ備ヘ其事務ヲ處理致シ居リ候次第ニ有之候或ハ兩港間ノ距離遠カラサルノ故ヲ以テ一港ト見做スヘシト云ハンカ神戸大阪兩港ノ如キハ甚相接近スト雖現ニ各手數ヲ爲サシメ居リ候義ニ付二港ヲ合セテ一港ト見做スカ如キハ當ヲ得サル様被考候嚮ニ彼ヨリ稅關ノ引繼ヲ受ケン以來暫ク舊制ニ依リ出入外國諸船舶ニハ每四箇月間ニ噸稅ヲ賦課シ右四箇月間

ハ本島各港ハ別ニ手數料ヲ納ムルコトナク出入シ得タルノ慣習有之候ヨリ或ハ右様ノ義ヲ申出テタルモノニ候カ又兩港ヲ一港ト見做スコトハ船舶ヲシテ諸港ヘ寄港ノ度數ヲ増加セシムル獎勵ナル云々意見モ有之候得共抑々商船ノ運用ノ如キハ積荷若クハ卸荷ノ有無如何ニ依リテ寄港スルト否トヲ決スルモノニシテ些少ナル出入港手數料ノ如キニ左右セラルルモノニハ無之候手數料ノ負擔額ノ重キ舊制時期中即チ客年四月ヨリ同七月ニ至ル迄又該負擔額ノ輕キ現制時期中即チ本年四月ヨリ同七月ニ至ル迄各四箇月間ニ當港ヘ出入セシ外國船舶ノ度數ヲ比較スルニ客年ハ三十七艘本年ハ三十九艘ニ有之格別ノ差シ違モ無之左レハ右ノ意見モ未タ其當ヲ得タルモノトハ見認メ難ク候右ノ次第ニ付英國公使ノ要求ニハ應セサル方然ルヘクト存候此段御回答ニ及候也

明治二十九年八月十八日

安平稅關長

祝稅關課長宛

關第四〇號

別紙之通り照會有之貴見承知致度候條何分之儀至急電報ニテ大略御回答煩シ度此段得貴意候也

明治二十九年八月八日

祝稅關課長

渡邊税關長殿

貴下

外第六一三號

安平打狗ニ出入スル外國船舶ニ對スル出入港手数料ハ右兩所ヲ一港ト見做シ賦課セラレ度旨英國
十四日付覺書第二項ヲ以テ別紙譯文ノ通英國公使ヨリ申出タルニ付貴課ノ御意見承知致度至急何
分ノ御回答有之度此段及御照會候也

明治二十九年八月八日

外事課長 杉村 濬

關稅課長 祝 辰 己殿

追テ別紙一件書類御回付相成度候

訓第八八號

安平打狗ニ出入スル外國船舶ニ對スル出入港手数料ハ右兩所ヲ一港ト見做シ賦課セラレ度旨英國
公使ヨリ別紙譯文ノ通申出候趣ヲ以テ外務大臣ヨリ照會有之候條右ニ對シ何分ノ意見至急申出ラ
ルヘシ

明治二十九年七月二十七日

拓殖務大臣子爵 高島 鞆之助

臺灣總督子爵 桂 太 郎殿

譯 文

覺 書

英國公使ハ在臺南英國領事ヨリ左ノ報道ニ接セリ即チ臺南稅關官吏ハ安平及打狗兩港間ヲ往復ス
ル英國小蒸汽船「臺南號」ニ對シ右兩港ニ於テ入港及出港手数料ヲ賦課スルニ依リ臺灣總督府民政
局長水野遵氏ハ本件知照ノ上直ニ其賦課ヲ停止スヘキ旨訓令セラレタリト未タ同地方鐵道ノ敷設
ナキ間ハ實際右兩所ニ於ケル迅速ノ交通機關トシテハ只臺南號アルノミナルカ故ニ英國公使ハ日
本帝國政府ニ於テ水野氏ノ處置ヲ認許セラレンコトヲ希望ス英國公使ハ又日本帝國政府ニ於テ該
手数料賦課ニ關シテハ右兩所ヲ一港ノ如クニ看做サ、ルコトヲ得ハ大ナル恩惠トスヘシ蓋シ外國
船ノ甲所ニ於テ積荷ヲ始メ乙所ニ於テ其積載ヲ終リタル上再ヒ當初碇泊ノ港ニ立戻ルカ如キコト
ハ往々之アル所ナレハナリ

右ノ讓與ハ運漕營業上ノ恩典トナリ且ツ船舶ヲシテ諸港ヘ寄航ノ度數ヲ増加セシムルノ獎勵トナ
リ之カ爲メ臺灣稅關ノ收入ヲ著シク減少セシムルカ如キコトナカルヘキハ英國公使ノ深ク信スル
所ナリ

千八百九十六年七月十四日

東京英國公使館

抑々以上覺書ノ根據トスル所ハ安平及打狗兩港間ヲ往復スル在安平英國ベイン商會ノ所有ニ係ル小
蒸氣船安平號(十四噸四八)新臺灣號(四十八噸)後又新臺灣號ノ代用臺南號(七十噸)ニ對シテ入出港
手數料ヲ免除スルノ特許ニ在リ茲ニ其顛末ヲ記センニ明治二十九年四月在安平英國ベイン商會ハ左
ノ如キ願書ヲ安平稅關ニ提出シタリ

譯文

小蒸氣船新臺灣並ニ安平號ヲ以テ當港及打狗間ヲ航海仕度候間出入港手數料免除ノ特許ヲ與ヘラ
レ度此段奉願候尤モ貴關ノ御都合ヲ以テ此特權ノ御取消ニ相成候期ハ貴命ニ從ヒ可申候也
千八百九十六年四月十三日

ベイン商會

安平稅關長 貴下

安平稅關ハ左ノ願書ヲ財務部ニ申達セシニ民政局長ハ左ノ如キ指令ヲ爲セリ

財務部

甲民財第一一九號

安平打狗兩港間ヲ通航スル小蒸氣船安平號及新臺灣號ニ對シテハ當分ノ內現行條約ノ規定ヲ適用
スルノ限リニ在ラス

明治二十九年四月十日

民政局長代理

內務部長 牧 朴 眞

此後新臺灣號ノ代用タル臺南號カ同上ノ特許ヲ得タルコトハ左ノ書類ニ徴シテ之ヲ知ルヘシ

拜啓小蒸氣船新臺灣號ハ今般他ニ賣渡シ候ニ付最早當會社ノ支配ニ無之候間此段及御通知候就テ
ハ頃日到着シタル小蒸氣船臺南號ヲ以テ右新臺灣號ニ繼續シ該船ヲ使用仕度候間同様ノ特權即チ
入港手數料免除ノ儀特許被成下候得ハ難有奉存候

若シ此便宜ヲ以テ特許被成下候得ハ何時ニテモ御都合ニ依テ右ノ特權御取消シ相成候トモ貴命ニ
從ヒ可申候敬具

千八百九十六年五月二十六日

ベイン商會

安平稅關長 貴下

電報(二十九年六月九日水野民政局長發)

新臺灣號ノ代用臺南號ノ安平打狗兩港間ヲ通航スル事ヲ特許ス

明治三十一年十二月本島及清國福州間ヲ航行スル支那形船取締ニ關シ民政長官代理ヨリ左ノ如キ通達アリタリ

民外第二百五十三號ノ一

本島及清國福州間ヲ航行スル本島支那形船取締ノ儀ニ付本月五日及通達置候復又在福州領事館豊島書記生ヨリ申越候次第モ有之本月二十二日告示第九十九號ヲ以テ福州港口入港手續ニ付告示相成候間右ハ特ニ船主ニ御諭示相成行違無之様御取計相成度依命此段及通達候也

明治三十一年十二月二十二日

民政長官代理

參事官長 石塚英藏

税關長宛

民外第二百五十三號

本島及清國福州間ヲ航行スル臺灣支那形船弊害取締ノ儀ニ關シ在福州廈門領事館分館豊島書記生ヨリ通報有之タル趣ニテ内務次官ヨリ申越シノ次第モ有之候間帝國ノ船籍ヲ有スル臺灣支那形船ニシテ清國福州ニ航行スルモノニ對シテハ特ニ臺灣船籍規則ヲ説示シ福州港内ニ於テ清國々旗ヲ

掲揚スル如キ犯則者ヲ生セサル様且又舊清國船籍證書ハ當然納付セシムヘキ様御取締相成度依命此段及通達候也

明治三十一年十二月五日

民政長官代理

參事官長 石塚英藏

税關長宛

明治三十二年八月支那形船ニ關シ船籍規則ヲ勵行センカ爲メ民政長官ヨリ左ノ通達アリタリ
民通第二一七八號

對岸諸港ニ出入スル本島所屬支那形船ハ船舶證書ヲ完全ニ所持スルモノ少ク中ニハ船籍證書ヲ有セサルモノアリ外國通航免狀ヲ有セサルモノアリ出港免狀ヲ有セサルモノ或ハ又舊式ノ船鑑札ノミヲ有スルモノ等アリテ不都合不尠旨其筋ヨリ通達有之候條自今船籍規則及其附屬諸規則ニ違反セル外國通航船ニ對シテハ一切出港認可不相成様取計可相成依命此段通達候也

明治三十二年八月三十日

民政長官 後藤新平

税關長宛

明治三十七年一月十四日安平駐在英國領事エー、イー、ワイルマンヨリ安平税關ニ若シ日露兩國ノ刻下外交談判ニシテ一朝破裂スルアラハ御用船ノ雇上其他ノ事情ニヨリ本島内地間ノ砂糖輸送ニ從事スル日本船舶ニ缺乏ヲ告クルニ至ランコトハ言ヲ埃タス此場合ニ於テ當地在留ノ英國商人ハ便宜上英國又ハ他國船ヲ雇入レテ本島内地間ノ砂糖輸送ニ從事スルモ不都合ナキヤ否ヤヲ書面ヲ以テ質問セリ安平税關ハ之ニ對シ英國商人カ英國又ハ他國船ヲ以テ安平ニ於テ砂糖ヲ積込ミ純然タル沿海貿易ニ從事スルコトハ全然不可能ナルモ總督ノ特許ヲ得タル場合ニハ別箇ノ問題ニ屬スト回答セリ

同月二十一日英國領事ハ本件ニ關シ更ニ税關ニ來談セリ曰ク過日ノ書面ハ要領ヲ失セリ即チ質問ノ要點ハ香港ヨリ安平ヲ經テ神戸橫濱ニ航行スル英國船及他國船ハ安平ニ於テ臺灣砂糖ヲ積込ミ神戸橫濱へ着港ノ上陸揚ヲナシ得へキヤ否ヤヲ承知シ度ニ在リト言へリ安平税關ハ之ニ對シ最惠條款ヲ有スル國ノ船舶ナラハ差支ナカルヘシトノ意見ヲ以テ回答セリ

同年二月五日英國領事ハ又書面ヲ以テ日英條約第十一條但書ノ場合ハ純然タル沿海貿易ニアラサル旨ヲ辨明シテ曩ニ來談セシ旨趣ヲ確メ來レリ此ニ於テ安平税關ハ右回答方ニ關シ總督ニ伺出テタルニ民政長官ハ同月十八日ヲ以テ目下船舶缺乏ノ折柄ニ付當分ノ間ハ回漕方總督府ニ於ニ默許シ置ク可キ事ヲ英國領事ニ回答シ越テ六月十六日ニ至リ民政長官ヨリ左ノ通達アリ其後安平税關ヨリ又同様ノ旨ヲ英國領事ニ通告シテ以テ本件ノ局ヲ結了セリ

電達(明治三十七年六月十六日)

外國ノ船舶ハ臺灣ノ各開港場間并ニ大阪新潟廣港ヲ除ク外新條約締結當時ノ内地ノ各開港場ト臺灣ノ各開港場トノ間ニ於テ内地貨物ノ輸送ニ從事シ得ル旨内務次官ヨリ通牒アリタルニ付其旨心得ラルヘシ

明治三十七年帝國露國ト戰端ヲ開キタルヨリ戰時禁制品ヲ搭載シ若クハ搭載ノ疑アル中立國ノ船舶帝國港内ニ來ル時ハ直チニ臨檢搜索セサルヘカラサルノ必要アルヲ以テ本島ニ於テモ兒玉總督ハ同月ヲ以テ其取扱ノ方茲ニ調査ノ方法ヲ各税關長ニ内訓セラレタリ而シテ其取扱方ハ明治二十七年日清戰爭ノ際海軍省ヨリ大藏省ニ照會アリ大藏省ヨリ更ニ各税關ニ内訓アリタル規定ニ依レリ

帝國カ露國ニ對スル連戰連勝ノ結果トシテ大連灣我カ占領スル所トナリ船舶及商人ノ之ニ向ヒテ渡航スルモノ陸續トシテ多キニ因リ三十八年一月陸軍省告示第一號ヲ以テ大連灣出入船舶及渡航商人規則ヲ定メラレ同月民政長官ヨリ大連灣及本島間往復ノ船舶ニシテ本島開港ニ出入スル際ハ普通ノ外國貿易船トシテ取扱フヘキ旨ヲ左ノ如ク通達アリタリ

民財第二八五號

今般陸軍省告示第一號ヲ以テ大連灣出入船舶及渡航商人規則ヲ定メラレ候ニ付テハ同灣ニ出入スル船舶本島開港ニ出入ノ際ハ普通ノ外國貿易船トシテ之ヲ取扱ヒ尙該規則ノ趣旨ニ依リ取締上特

注意可相成依命此段及通達候也

明治三十八年一月二十六日

民政長官代理

警視總長 大島久滿次

税關長宛

然ルニ帝國軍ハ連勝ノ勢ニ乘シテ益々北進シ樺太全島ヲ占領シタルヨリ明治三十八年八月ニ至リ本島樺太間往復ノ日本船舶ニシテ本島各港ニ出入スルモノハ當分ノ内之ヲ沿海通航船ト視做シテ取扱フヘキ旨左ノ如ク通達アリタリ

民財第三五〇六號

今般陸軍省告示第十號ヲ以テ樺太島出入船舶及渡航者規則ヲ定メラレ候ニ付テハ同規則ニ依リ樺太島ニ出入スル日本船舶本島各港ニ出入ノ際ハ當分ノ内之ヲ沿海通航船ト看做シ該船舶ヲ以テ同島ニ輸送シ又ハ同島ヨリ輸送シ來ル貨物モ亦内國回漕貨物トシテ取扱ヒ又陸軍省告示第十五號樺太島漁業假規則ニ依リ樺太島ニ於テ漁獲シタル魚類及採取シタル昆布等モ内地沿海ニ於テ漁獲採取シタルモノト同様取扱可相成依命此段及通達候也

明治三十八年八月三十日

民政長官代理

警視總長 大島久滿次

税關長宛

第二款 沿海通航船

沿海通航船舶ハ臺灣税關開港以來便宜ニ從ヒ之カ取締ヲナセシカ取締規則ノ法文ニ見ハレタルハ左記支那形船舶取締規則ヲ以テ之カ嚆矢トセリ

支那形船舶取締規則

(府令第三一號) (明治二十九年九月)

第一條 支那形船舶ノ所有主ハ船籍港ヲ定メ所管地方廳ニ届出テ船鑑札ノ下付ヲ申請スヘシ

第二條 船鑑札(縦八寸横五寸厚八分ノ木札)ニハ左ノ事項ヲ記載ス

- 一 所有主ノ住所姓名
- 一 船籍港名
- 一 船名
- 一 船舶ノ種類但舊稱ニ依ル
- 一 船鑑番號
- 一 鑑札付與ノ年月日

船鑑札ニハ之ヲ付與スル地方廳ノ名ヲ記シ同廳ノ焼印ヲ押スヘシ

船鑑札ハ船内見易キ所ニ釘附スヘシ

第三條 船籍港外ニ於テ船舶ヲ製造シ若ハ取得シタルトキハ船籍港ヲ定メ本船所在地ノ地方廳ニ假船鑑札ノ下付ヲ申請シ之ヲ本船鑑札ニ代用スルコトヲ得

前項ノ船舶所有主ハ假船鑑札下附ノ日ヨリ半箇年以内ニ第一條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 船鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ之ヲ喪失シ毀損シ若ハ用フヘカラサルニ至リタルトキハ其書換若ハ再渡ヲ所管地方廳ニ申請スヘシ

第五條 船舶ノ所有權ヲ移轉シ又ハ船舶ノ破壊、沈没、喪失、失踪、解撤シタルトキハ所管地方廳ニ届出ツヘシ但船舶ノ所有權ヲ移轉シ又ハ船舶ヲ解撤シタルトキハ船鑑札ヲ返納スヘシ

第六條 船舶所有者船籍港ニ居住セザルトキハ本船ニ關スル事務ヲ代理セシムル爲其船籍港ニ代理人ヲ置キ之ヲ所管地方廳ニ届出ツヘシ

第七條 船鑑札ノ下付ヲ申請スルトキハ鑑札料トシテ金一圓ヲ納ムヘシ船鑑札ノ書換若シハ再渡又ハ假船鑑札ノ下付ヲ申請スルトキハ鑑札料トシテ金五十錢ヲ納ムヘシ

第八條 本島沿岸ヲ運航スル支那船舶ハ稅關又ハ稅關出張所其之ナキ所ニ於テハ警察署又ハ憲兵

屯所ニ出入港ノ届出ヲ爲スヘシ

第九條 前項ニ因リ出港届ヲ受ケタル官署ハ臨檢ノ上船客、船員ノ姓名積荷ノ種類、數量、發航地、寄航地、終航地名ヲ記載シタル認許證ヲ交付スヘシ

前項ノ認許證ヲ受ケタル船舶ハ寄航地、終航地ニ到達シタルトキハ直ニ認許證ヲ添へ入港届ヲ爲スヘシ

此ムヲ得サル事由ニ依リ寄航地、終航地以外ノ場所ニ入港シタルトキ亦同シ

第十條 船鑑札ヲ受有セスシテ船舶ヲ航運ノ用ニ供シ又ハ船鑑札ヲ賣買、貸借シ又ハ第三條第二項第四條第五條第六條第八條ノ規定ニ違背シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 此規則ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

明治三十一年七月ニ至リ右規則ハ左ノ如ク改正ヲ加ヘラル

臺灣沿海通航船取締規則

(府令第五〇號 明治三十一年七月)

第一條 本島沿岸ヲ往復スル沿海通航船ハ出入ノ都度稅關又ハ稅關出張所其之ナキ所ニ於テハ辨務署、辨務支署又ハ憲兵屯所ニ出入港ノ届出ヲ爲スヘシ

止ムヲ得サル事由ニ依リ寄航地、終航地以外ノ地ニ入港シタルトキ亦同シ

第二條 發航地ニ於テ出航届ヲ受ケタル官署ハ該船ニ臨檢ノ上船籍證書又ハ船鑑札、船客及搭載

貨物ヲ調査シ左ノ事項ヲ記載シタル出港認許證ヲ交付スヘシ

- 一 船名
 - 二 船量
 - 三 船長ノ住所、姓名
 - 四 船客、船員ノ姓名
 - 五 出港月日
 - 六 積荷ノ種類、數量
 - 七 發航地、寄航地、終航地
- 第三條 寄船地ニ於テ出港届ヲ受ケタル官署ハ前條出港認許證ノ記載事項ニ異動ノ有無ヲ調査シ異動アルトキハ其旨ヲ附記シ之ヲ交付スヘシ
- 第四條 入港届ニハ出港認許證ヲ添付スヘシ
- 第五條 入港届ヲ受ケタル官署ハ該船ニ臨檢ノ上出港認許證ニ照シテ船客及搭載貨物ヲ調査スヘシ
- 第六條 第一條ノ出入港届ヲ爲サルトキハ船長ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第七條 出港認許證ヲ受ケタル後尙ニ船客若ハ貨物ヲ乗載シタルトキ刑前條ニ同シ

抑々支那形船舶取締規則ナルモノハ船籍及沿海通航取締ノ二者ヨリ成立シタルモノナリト雖モ三十二年ニ至リ律令第四號ヲ以テ單獨ニ船籍規則ヲ定メ支那形船舶取締規則ハ之ヲ廢セラレタルヲ以テ上記ノ所謂沿海通航取締規則ハ單ニ沿海通航ノ取締ヲ規定スルニ止マレリ

明治三十四年十二月ニ至リ沿海通航取締規則左ノ如ク改正セラレタリ

臺灣沿海通航取締規則

(明治三十四年十二月
府令第一一二號)

- 第一條 沿海通航船臺灣沿岸ヲ往復スルトキハ出入港ノ都度税關、税關支署、税關監視署其之ナキ所ニ於テハ警察官署ニ出入港届ヲ爲シ積荷目録ヲ添付スヘシ
- 第二條 積荷目録ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 船名並船舶國籍證書又ハ船鑑札ノ番號
 - 二 船籍港
 - 三 船積量
 - 四 船長ノ住所氏名
 - 五 船員船客ノ氏名
 - 六 積荷ノ種類、數量、價格及其仕向地並ニ仕出地
 - 七 發港地、寄港地、終港地、

八 入港ノ年月日

第三條 沿海通航船ノ發港地ニ於テ出港届ヲ受ケル官署ハ出港認許證ヲ交付スヘシ出港認許證ニハ積荷目録ノ事項ヲ附記スヘシ

第四條 沿海通航船ノ寄港地ニ於ケル官署ハ出港認許證ノ記載事項ニ異動ノ有無ヲ調査シ異動アルトキハ其旨ヲ附記シ之ヲ交付スヘシ

第五條 沿海通航船ノ入港届ニハ出港認許證ヲ添付スヘシ

第六條 沿海通航船ノ終港地ニ於テ入港届ヲ受ケタル官署ハ出港認許證ニ照シテ船客及積載貨物ヲ調査スヘシ

第七條 出入港届ヲ爲サス又ハ出港認許證ヲ提出セサルトキハ船長ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 此規則中船長ニ適用スヘキ規定ハ船長ニ代テ其職務ヲ行フ者ニ對シ亦之ヲ適用ス

此新舊規則ノ異ナル點ハ舊規則ニ於テハ本島沿岸ヲ往復スル沿海通航船ハ出入港ノ届出ヲ爲スニ過キサリシカ改正規則ニ於テハ出入港届ト共ニ積荷目録ヲ提出セシムルコト、ナレリ是レ一ハ取締上ノ必要ニ出テ一ハ稅關統計ノ材料ニ供センカ爲メナリ而シテ稅關、稅關支署、稅關監視署ナキ所ニ於テハ警察官署代リテ之ヲ受理シ其受理シタルモノハ一箇月分宛之ヲ取纏メテ稅關ニ送付セシムルコトトナレリ訓令左ノ如シ

訓令第四五九號

(明治三十四年十月)

明治三十四年十二月府令第百一十一號臺灣沿海通航船取締規則第一條ノ積荷目録ヲ警察官署ニ於テ受理シタルトキハ一箇月分宛取纏メ翌月十日ニ其地方管轄ノ稅關又ハ稅關支署ヘ送付スヘシ

明治三十七年二月日露戰爭起リ本島内地間往復船若クハ本島沿海通航船御用船ニ雇上ラル、モノ多キヨリ此等運送ノ業ニ從事スルモノハ勢外國船ヲ借入サルヘカラサルニ至リシヲ以テ民政長官ハ左ノ如キ通達ヲ爲セリ

民財第六二二號

(明治三十七年二月十九日)

今般外國船舶ヲ借入ノ物品若ハ旅客運送ノ爲メ不開港ニ寄港セシメ又ハ各開港間ニ於テ物品若クハ旅客ノ運送ニ從事セントスルモノアルトキハ當分ノ内日本國民又ハ日本船舶ヲ所有スル資格ヲ有スル日本法人ノ計算ニ於テスルモノニ限り詮議ノ上特許相成候ニ付左ノ通取締可相成但シ借入外國船カ貴關管轄内ノ開港ニ於テ最初船内検査ヲ受クルモノナルトキ又ハ其航路中ニ貴關管轄内ノ港アルトキハ特許ノ都度財務局長ヨリ通知セシム依命此段及通達候也

追テ借入外國船舶内地各港ト臺灣各港トノ間ニ於テモ寄港又ハ物品旅客ノ運送ヲ特許可相成候ニ付該船舶本島各港ニ出入ノ節ハ本文同様取締可相成申添候也

一 借入外國船ヲ免狀ニ記載ノ目的ニ使用スルニ先チ船内検査ノ申請アリタルトキハ外國貨物ノ

積載ナキ等周密ニ船内ヲ検査シ検査済ノ上ハ其免狀ニ検査済ノ證明ヲ爲スヘシ

二 借入外國船カ免狀ニ記載ノ目的ニ使用中開港ニ入港シタルトキハ其碇泊中陸地又ハ他ノ船舶トノ交通ニ注意スヘシ

三 借入外國船ヲ以テ開港間ニ輸入手數未済ノ貨物ノ回漕ヲ爲ストキハ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

四 免狀ノ返納ニ先チ船内検査ノ申請アリタルトキハ内國貨物ノ積載ナキヤ否等周密ニ船内ヲ検査スヘシ

五 借入外國船カ免狀ニ記載ノ目的ニ使用中ハ該船ハ外國貿易ニ從事スルヲ得サルモノトス

民財第一一九二號

(三十七年三月二十八日)

借入外國船ヲ沿岸航海ニ使用ノ特許期限内ニ於テ一時貿易ニ使用セントスルモノアリタルトキハ左ノ手續ニ依リ取扱可相成尤モ借入外國船ヲ外國貿易ニ使用中普通ノ外國船同様取扱ハルヘキ義ニ有之候依命此段及通達候也

但本年二月十八日付民財第六二二號達中第一號ニ「但内地ニ於テ一度特許ヲ受ケタルノ事實アリト認メラル、モノハ其特許後外國貿易ニ使用セザルモノニ限リ本島ニ於テハ船内検査ヲ爲スヲ要セス」ヲ加ヘ同第五號ヲ「借入外國船カ免狀ニ記載ノ目的ニ使用中ハ税關又ハ税關支署ノ許可ヲ得タル場合ノ外國貿易ニ使用スルヲ得サルモノトス」ニ改メラル

一 沿岸航海ノ特許ヲ得タル借入外國船ヲ外國貿易ニ使用セントスルトキハ其搭載セル貨物ハ之ヲ陸揚シ開港ニ於テ税關又ハ税關支署ニ申請シ船内検査ヲ受ケ沿岸航海特許ノ免狀ニ外國貿易ニ使用ノ證明ヲ受ケシムルコト

二 前項ノ借入外國船開港ニ入港シ更ニ沿岸航海ニ使用セントスルキハ其搭載セル貨物ハ之ヲ陸揚シ税關又ハ税關支署ニ申請シ船内ノ検査ヲ受ケ沿岸航海ニ使用ノ證明ヲ受ケシムルコト

三 外國貿易ニ使用中ハ不開港ニ出入シ得サル勿論タルヘキコト
民政長官カ特ニ此通達ヲ爲シタル所以ハ亦理由アリテ存ス蓋シ明治三十一年律令第四號臺灣船籍規則第五條「船舶第一條ニ依リ日本船舶タルモノ及此規則ニ依リ船舶國籍證書若ハ船鑑札ヲ有スル船舶ニアラサレハ臺灣不開港場ニ寄港シ又ハ臺灣各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス但法令若ハ條約ニ別段ノ定メアルトキ海難若ハ補獲ヲ避ントスルトキ又ハ臺灣總督ノ特許ヲ得タルトキハ此限ニアラス」ノ明文ニ據ルトキハ外國船舶ハ固ヨリ不開港場ニ寄港シテ沿海貿易ニ從事スルコトヲ得ス然レトモ事情上述ノ如クナルヲ以テ總督ノ特許ニ基キテ斯ノ如ク臨時便宜ノ措施ニ出テタルモノナルヲ知ルヘシ

臺灣總督ノ特許ニ基キテ外國船舶カ不開港場ニ寄港スルコトヲ得タルハ上述ノ如シト雖モ外國船舶ニシテ帝國各開港間ヲ往復シテ沿海貿易ニ從事スルハ條約上當然可能ニ屬スルヤ否ヤハ當時殆ント

官民間ノ一問題ナリシニ民政長官ハ左ノ通達ヲ以テ此問題ヲ解決セリ此通達ハ前節既ニ之ヲ掲出スト雖モ本島沿海通航ト特殊ノ關係アルヲ以テ今復之ヲ左ニ掲録ス

外國船舶ハ臺灣ノ各開港場間並ニ大阪、新潟、夷港ヲ除ク外新條約締結當時ノ内地ノ各開港場ト臺灣ノ各開港場トノ間ニ於テ内地貨物ノ輸送ニ從事シ得ル旨内務次官ヨリ通牒アリタルニ付其旨心得ラルヘシ

(明治三十七年六月民政長官發稅關長宛電)

第三款 臺灣内地間往復船舶

臺灣内地間往復ノ船舶ハ本島沿海通航船ト同シク領臺以後久シク便宜ニ從ヒ之カ取締ヲ爲セリト雖モ其取締規則ハ明治三十三年十一月始メテ制定セラレタリ今其全文ヲ左ニ掲ク

臺灣内地間往復船舶取締規則

(明治三十二年八月 府令第九十七號)

第一條 臺灣内地間ヲ往復スル船舶臺灣各港ニ入港シタルトキハ船長ハ入港ノ時ヨリ二十四時内ニ稅關ニ入港届ヲナシ内地ヨリ其港ニ輸送シタル貨物ノ積荷目録ヲ提出スルト同時ニ船舶國籍證書ヲ預クヘシ

第二條 前條ノ船舶出港セントスルトキハ船長ハ出港ノ時ヨリ四時前ニ稅關ニ出港届ヲナシ其港ヨリ内地ヘ輸送スヘキ貨物ノ積荷目録ヲ提出シ船舶國籍證書ヲ受戻スヘシ

第三條 前條ノ船舶内地ヨリ臺灣各港ニ臺灣各港ヨリ内地ニ輸送スル貨物ノ積卸ヲナサハルトキハ第一條第二條ノ規定ヲ適用スルノ限ニアラス

第四條 積荷目録ハ其提出ノ日ヨリ七日内ハ稅關ニ認可ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコトヲ得

第五條 稅關監吏職務ノ爲船舶ニ乗込ムトキハ船長ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

第六條 第一條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 第二條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 出港ノ際貨物ト符合セサル積荷目録ヲ提出シタルトキハ船長ヲ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條 此規則中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代テ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第十條 此規則ニ於テ稅關ニ關スル規定ハ稅關、稅關出張所、稅關監視署其之ナキ地ニ在テハ警察官署ニ之ヲ準用ス

附 則

第十一條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

先是明治三十二年七月臺灣輸出稅及出港稅規則ノ發布アリテ本島ヨリ内地ヘ向ヒテ輸送スル本島物産ノ或種類ニハ出港稅ヲ課スルコトハナレリ從ヒテ之ヲ輸送スル本島内地間往復船舶ハ嚴重ナル取締ノ下ニ置カレサルヘカラス是ヲ本規則ノ發布セラレタル重モノナル理由トス

三十二年八月ニ至リ臺灣内地間往復船舶取締規則左ノ如ク改正セラレ

府令第百十號

(明治三十三年一月)

明治三十二年八月府令第九十七號臺灣内地間往復船舶取締規則中第百條ヲ左ノ通改ス

第四條 積荷目録ハ入港船舶ニ在テハ貨物ノ仕出港、品名、包裝數、數量及價額出港船舶ニ在テ

ハ貨物ノ仕向港、品名、包裝數、數量及價額ヲ記載スヘシ積荷目録ハ其提出ノ日ヨリ七日内ハ稅

關ノ認許ヲ得テ之ヲ訂正補足スルコトヲ得

此改正ノ要タル従前規則ニハ素ヨリ積荷目録ノ提出ヲ要スルノ規定アリシナレトモ其記載事項ニ至リテハ未タ之ヲ明示セザルヲ以テ茲ニ之ヲ明示シ以テ其不備ノ點ヲ補完スルニ在ルコト是ナリ本島内地間往復船舶ニ關シ斯ノ如ク記載事項ヲ規定スルハ取締ヲ嚴重ニスルノ意ニ出ツト雖モ更ニ其重要ナルモノハ母國領地間ノ貨物出入ニ關シ精確ナル統計ヲ得ルノ殖民政策上緊要ニ屬スルニ在リ明治三十三年十二月臺灣内地往復船舶取締規則左ノ如ク改正アリタリ

府令第百二十二號

(明治三十三年十二月)

明治三十二年八月府令第九十七號臺灣内地間往復船舶取締規則第八條中「出港ノ際」ノ四字ヲ削ル以上ノ改正ハ本規則制定ノ初ニ在リテハ專ラ重キヲ出港稅ノ取締ニ置キタルヲ以テ特ニ「出港ノ際」ノ四字ヲ置キタルモ實ハ貨物ト符合セザル積荷目録ヲ提出スルノ不都合ハ獨リ出港ノ際ノミナラス

入港ノ際モ主トシテ統計ノ必要上亦同様ナリトス乃チ以上四字ヲ削除シ本條項ヲシテ入出港共ニ適用セシムルヲ得ルニ至レリ

明治三十七年一月臺灣内地間往復船舶取締規則又左ノ改正アリ

府令第三號

(明治三十七年一月)

明治三十二年八月府令第九十七號臺灣内地間往復船舶取締規則左ノ通改正ス

本令ハ明治三十七年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

第一條中「積荷目録ヲ提出ス」ノ下「ルト同時ニ船舶國籍證書ヲ預ク」ヲ削ル

第二條中「積荷目録ヲ提出」ノ下「シ船舶國籍證書ノ受戻」ヲ削ル

第四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四條ノ二第一條ノ船舶臺灣各港間ニ於ケル貨物ノ回漕ニ關シテハ臺灣沿海通航船舶取締規則ヲ準用ス

本改正ハ船舶國籍證書ニ關スル條項ニ在リ蓋シ積荷目録ヲ提出スルト同時ニ船舶國籍證書ヲ稅關ニ預クヘシト云フカ如キハ元來外國貿易船ニ對スル規定ニシテ之ヲ臺灣内地間往復船舶ニ適用スルハ少シク嚴密ニ過クルノ嫌ヒナキニアラス是レ本改正ノ要アル所以ナリ若シ夫レ第四條ノ追加ニ至リテハ従前既ニ取扱ノ實行アリト雖モ今其追加アルモノハ特ニ之ヲ言明シタルニ過サルノミ

第四節 貨物

第一款 輸入

上來屢々陳述セルカ如ク帝國領臺當初ニ在リテハ輸入貨物ニ對スル我稅關稅率ハ便宜ニ從ヒ清國海關ノ稅率ヲ襲用セリ是ヲ以テ當時ノ我關稅率如何ヲ知ラント欲セハ清國海關ノ稅率ヲ知ラサルヘカラス而シテ清國海關稅率ハ千八百四十二年南京條約ニ依リ從價百分ノ五即チ五分稅ト定マリシ以來天津條約其他ニヨリ屢々變更アリシト雖モ我帝國カ領臺當時ノ襲用セシ海關率ハ所謂新定稅則ニシテ今其輸入貨物稅則ヲ左ニ掲ク

輸入貨物稅則 均係外國出產

油蠟礬礦類

蠟 每百斤(百六十八匁斤) 海關銀(壹兩八約我壹圓四拾七錢) 六錢五分

硝 只准按章程發賣 同 五錢

硫 黃 只准按章程發賣 同 貳錢

蘇合油 同 壹兩

黃 蠟 卽蜂蜜蠟 同 壹兩

香 椒 類

安息香 同 六錢

檀 香 同 四錢

黑胡椒 同 參錢六分

降 香 同 壹錢四分五厘

白胡椒 同 五錢

枕 香 同 貳兩

藥材類

鹿 角 海關銀 貳錢五分

阿 魏 同 六錢五分

上 冰 片 同 壹兩參錢

下 冰 片 同 七錢貳分

母丁香 同 壹錢八分

兒 茶 同 壹錢八分

檳 榔 同 壹錢五分

棟淨參 美國產 同 八兩

沒藥	肉果豆蔻	木香	水銀	檳榔衣	肉桂	大楓子	丁黃	牛黃	檳榔膏	乳香	荳蔻花	白荳蔻	洋藥	砂仁
每百斤	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
海關銀	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
四錢五分	貳兩五錢	六錢	貳兩	七分五厘	壹兩五錢	參分五厘	五錢	壹兩五錢	壹兩五分	四錢五分	壹兩	參拾兩	五錢	

二六八

虎骨	血竭	雜貨類	火石	銅鈕扣	細	香紫	火絨	雲母殼	漆器	傘及各樣	石炭	顏料膠漆紙割類	呀嘸米	蘇木
同	同	每百斤	每百斤	每百四十四粒扯	每百斤	同	同	同	同	每十二柄	每噸(十六擔)	每百斤	同	同
同	同	海關銀	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海關銀	同	同
壹兩五分五厘	四錢五分	參分	五分五厘	五錢五分	參錢五分	四錢五分	參錢五分	貳錢	壹兩	參錢五分	五分	五兩	壹錢	

二六九

珠邊時辰表

每對

海關銀

四兩五錢

八音琴

每值百兩二付抽稅

同

五兩

千里鏡
雙眼鏡掛鏡
穿衣鏡掛屏

每值百兩二付抽稅

同

五兩

竹木藤榔類

沙 籐

每百斤

海關銀

壹錢五分

梳重木

長不過四十幅地

每根

同

四兩

梳重木

長不過六十幅地

每根

同

四兩

梳重木

長不過六十幅地

同

同

拾兩

梁重木

長不過六幅地四方
不到十二因割

每百斤

同

壹錢五分

板重木

長不過十六幅地寬
十二因割厚三因割

每幅地

同

貳兩

板麻栗

樹長潤方圓

每百斤

同

參分五厘

毛 柿

每百斤

同

參分

烏 木

同

同

壹錢五分

梳輕木

長不過六十幅地

每根

同

四兩五錢

梳輕木

長不過四十幅地

同

同

貳兩

梳輕木

長過六十幅地

同

同

六兩五錢

板輕木

各樣

每四方長潤十幅地

同

七錢

紅 木

每百斤

同

壹錢壹分五厘

呀囉治木

長不過三十五幅地寬
一幅地八因割厚一幅地

每根

同

八錢

銅鐵鉛錫類

生 銅

如銅磚之類

每百斤

海關銀

壹兩

生 鐵

如鐵磚之類

同

同

七分五厘

熟 鐵

如鐵條鐵板鐵
錘之類

同

同

壹錢貳分五厘

熟 銅

如銅扁銅條之類

同

同

壹兩五錢

鉛 塊

同

同

貳錢五分

錫

同

同

壹兩貳錢五分

銅

同

同

貳錢五分

馬口鐵

同

同

四錢

日本銅

同

同

六錢

鉛 片

同

同

五錢五分

白、鉛	只准按章程發賣	同	同	貳錢五分
黃銅釘黃銅皮		同	同	九錢
商船壓載鐵		同	同	壹分
鐵絲		同	同	貳錢五分
珍珠寶石類				
瑪瑙	每百塊	海關銀	參錢	
瑪瑙珠	每百斤	同	七兩	
玳瑁	同	同	貳錢五分	
玳瑁	同	同	七分貳厘	
玻璃	每箱四方每一百幅地	同	壹錢五分	
珊瑚	每百斤	同	壹錢	
皮牙角羽毛類				
牛角	每百斤	海關銀	貳錢五分	
生牛皮	同	同	五錢	
熟牛皮	同	同	四錢貳分	

海龍皮	即海虎皮	每張	同	壹兩五錢
大狐狸皮		同	同	壹錢五分
小狐狸皮		同	同	七分五厘
虎皮豹皮		同	同	壹錢五分
貂皮		同	同	壹錢五分
獺皮		每百張	同	貳兩
貉獾皮		同	同	貳兩
海驢皮		同	同	五兩
灰鼠皮銀鼠皮		每百張	同	四兩
海馬牙		每百斤	同	貳兩
象牙	不碎的	同	同	四兩
象牙	碎的	同	同	參兩
兔皮鹿皮		每百張	同	五錢
犀皮		每百斤	同	四錢貳分
翠毛	孔雀毛類	每百張	同	四錢

綢緞絲絨類

手帕	四方長闊不過	一碼每十二枚	海關銀	貳分五厘
金線	真	每斤	同	壹兩六錢
金線	假	同	同	參分
銀錢	真	同	同	壹兩參錢
銀錢	假	同	同	參分
哆囉呢	寬五十一因制 至六十一因制	每丈四十一寸	同	壹錢貳分
嗶嘰	寬三十一因制	同	同	四分五厘
羽緞	荷蘭寬三十三因制	同	同	壹錢
羽紗	英國寬三十一因制	同	同	五分
羽綢		同	同	參分五厘
小呢番紀等類	佛蘭絨同	同	同	四分
絨線		每百斤	同	參兩
床氈		每對	同	貳錢
花剪絨	長不過三十四碼	每疋	同	壹錢五厘

布疋花幔類

羽綾	寬三十一因制	每丈	海關銀	五分
下等絨	即至粗絨	同	同	壹錢
剪絨	長不過三十四碼	每疋	同	壹錢八分
小羽綾	寬三十四因制	每丈	同	參錢五厘
麻棉帆布	長不過五十碼	每疋	海關銀	四錢
布	原布白色 無花斜紋 長不過三十四碼	同	同	八分
布	原布白色 無花斜紋 長不過三十四碼	同	同	壹錢
布	原布白色 無花斜紋 長不過三十四碼	同	同	八分
色布	有色 寬不過三十六因制 長不過四十四碼	同	同	壹錢五分
印花布	寬不過三十一因制 長不過三十四碼	同	同	七分
裝裝布	稀印 寬不過四十六因制 長不過十二碼	同	同	參分五厘
柳條布	寬不過四十因制 長不過十二碼	同	同	六分五厘
絨綿布各樣	長不過三十一碼	同	同	六分
棉紗		每百斤	同	七錢

麻布粗	長不過五十碼即 麻竹布棉絲布	每疋	同	貳錢
羽布	寬不過二十四因制 長四十碼	同	同	貳錢
棉花	每百斤	同	同	參錢五分
布原色白色	寬過三十四因制 長過四十碼	每疋	同	貳分
布美國	寬不過三十因制 長三十碼	同	同	七分五厘
布	寬不過二十四因制 長不過二十四碼	同	同	四分
袈裟布	寬不過四十六因制 長不過十二碼	同	同	參分五厘
袈裟布	寬不過四十六因制 長不過十二碼	同	同	參分五厘
花布白提布	寬不過三十六因制 長不過四十二碼	同	同	壹錢
袈裟布	寬不過三十六因制 長不過四十二碼	同	同	七分
袈裟布	寬不過三十六因制 長不過四十二碼	每疋	同	七分五厘
緞布	寬不過三十六因制 長不過四十二碼	每疋	同	貳錢
毛布各色	寬不過三十八因制 長不過三十碼	同	同	參分五厘
棉線	每百斤	同	同	七錢貳分
麻布細	長不過五十碼	每疋	同	五錢

同 絨 長不過三十五碼 每疋 海關銀 貳錢

然ルニ明治二十九年二月當時ノ條約ヲ臺灣ニ施行スルニ當リテハ稅率モ亦從ヒテ變更セサルヘカラ
 ス此ニ至リテ領臺以後便宜ニ因リ一時清國ノ舊慣ニ仍リタル臺灣帝國稅關ノ稅率ハ全然改廢ニ歸シ
 以後其實施セラレタル新定稅率ハ母國ト同一ナルニ至レリ今其稅率ヲ左ニ掲ク

運上目錄

輸入品 第一種

號	品名	每	分	分	分
一	明礬	百斤	〇	〇	二五
二	檳榔	同	〇	〇	六五
三	銅ボタン	百四十個即十 二フゼイン	〇	〇	三
四	蠟燭	百斤	二	〇	三
五	帆木綿類	十ヤノルド	〇	〇	三
六	卷烟草	一斤	〇	〇	三
七	丁子並母丁子	百斤	一	〇	七

八	コシニール(洋紅)	同	三	二八〇
九	繩(船用)	百斤	一	二五
一〇	線綿	同	一	二五
	木綿織物類			
二	生金巾、晒金巾、小巾金巾、白綾金巾、白紋金巾、染紋金巾、染無紋金巾、雲齋木綿、カムブリックス、寒冷紗、更紗形寒冷紗、糊條布、コイルチング、コトトナット、更紗類、右品々染色			
	右(甲)巾三十四インチマデ	十ヤールド	〇	〇七五
	(乙)巾四十インチマデ	同	〇	〇八五
	(丙)巾四十六インチマデ	同	〇	一
	(丁)巾四十六インチ以上	同	〇	一二五
				一
				一五
				一三二五
				一
				六八七五

三	唐棧類又布			
	右(巾)三十一インチマデ	十ヤールド	〇	一七五
	(巾)三十一インチヨリ四十二インチマデ	同	〇	二五
三	畝織天鵝絨			
	綿天鵝絨			
	紋綿天鵝絨			
	縹子			
	サチチツツ			
	綿純子			
	右(巾)四十インチマデ	十ヤールド	〇	二
四	縞布			
	赤巾(三十インチマデ)	十ヤールド	〇	〇六
	(巾)四十インチマデ	同	〇	〇九
五	手拭	同	〇	〇五
六	木綿織物同股引	同	〇	三
				四
				五
				七五
				三二五
				一九
				一
				二八

此廉並後ニ記シアル毛織ノ部
モ共ニメリヤス也

二七	飯臺掛	一枚	七〇
二六	木綿ヨリ絲同片ヨリ絲 (白並染色) 但卷眞ノ有無ニ拘ラス	百斤	五〇六
二五	木綿絲 (白並染色)	同	七
二四	阿仙藥	同	五九
二三	翡翠孔雀毛類	百枚	二二
二二	燧石	百斤	一七五
二一	檳榔膏	同	一八
二〇	雌黃	同	二六
一九	硝子板	四十 一 方 入 箱	二五
一八	膠	百斤	九五

二七	安息香並安息油	百斤	二
二六	麒麟血、沒藥、乳香、	同	一八
二五	石羔	同	〇
二四	生牛皮	同	一
二三	牛角、鹿角、	同	一
二二	犀角、	同	〇
二一	馬蹄鉄	同	三
二〇	水龍	同	三
一九	(藍ノ流動物)	同	三
一八	土龍	同	三
一七	(藍ノ乾キタル物)	同	三
一六	象牙各種	同	一五
一五	丹、唐ノ土、黃丹、同油	同	一
一四	革	同	二
一三	麻布類	十ヤ 一 ル ド	〇

五二	錫	同	百斤	〇	三	六	九
五三	鐵葉	重サ九十斤マ テノ箱 十ヤールド	同	〇	〇	七	一〇
五四	蠟引形付敷物(地ニ敷モノ)		同	〇	〇	三	四
五五	同似皮敷物(家具ニ用ユル物)		同	〇	一	二	二
五六	白胡椒、黒胡椒		百斤	一	二	五	二
五七	木香		同	二	二	三	三
五八	水銀		同	六	二	五	三
五九	幾那鹽		一斤	一	五	七	七
六〇	籐		百斤	一	四	七	六
六一	大黃		同	〇	一	六	六
六二	鹹魚		同	一	〇	二	二
六三	白檀		同	一	三	三	三
六四	蘇木		百斤	〇	三	六	六
六五	海馬牙		同	七	三	五	七

四〇	丹柄		百斤	〇	〇	一	三
四一	アンペラ敷物	四十ヤールド卷	同	〇	〇	七	二
四二	金類		同	〇	〇	二	二
四三	銅並青銅		百斤	三	五	五	七
四四	(板棹釘等ニ作レルモノ)		同	二	五	七	七
四五	黃銅並ミユンツメタル		同	二	五	七	五
四六	(板釘)		同	〇	三	四	五
四七	水熱鐵		同	〇	三	四	五
四八	鐵塊		同	〇	二	二	九
四九	船脚ニ用フル鐵		同	〇	六	二	九
五〇	鐵針金		百斤	〇	八	三	三
五一	鉛塊		同	〇	八	三	三
五二	鉛板		同	一	〇	三	三
五三	亞鉛		同	〇	一	九	三

五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
大羅紗	毛織物類	朱	煙草類	水砂糖棒砂糖	白砂糖	赤黑砂糖	(染具ノ一類)	紫梗	石鹼	嗅煙草	鮫皮	一角牙	小巾羅紗	大羅紗	毛織物類
同	同	同	同	同	同	同	同	同	百斤	一斤	百枚	一斤	同	同	同
九	一	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	〇	九	一	一
三	八	七	四	五	五	三	五	五	五	三	五	七	三	八	七
三	三	二	六	二	二	二	二	二	七	四	七	七	三	八	七
五		五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五

中等羅紗

右(巾)三十四インチマデ	(巾)五十五インチマデ	(巾)五十五インチ以上	西班牙製縞耳羅紗、	毛織子、フランネル、羅脊板、	セルジス、	右	右(甲)巾三十四インチマデ
十ヤード	同	同	同	同	同	同	同
〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇
六	二	二	七	七	一	四	三
九	三	三	二	二	二	六	四
九	七	七	二	二	二	六	四
五	五	五	二	二	二	六	四
五	五	五	二	二	二	六	四

毛木綿交織物

(乙)巾三十四インチ以上
 イミテトシヨン、カムレット、
 イミテーションラスチング、
 プレインオルレンス、ヒキユ
 ールドオルレンス、ブレイン
 ルストル、ヒギユールドル
 トル、アルバカ、バラチース、
 ダマスク、イタリヤンコロブ、
 タフアセラス、ロスセルコ
 ド、カツサンドラ、ウーレン
 フアンシー、カムレット、コ
 ルド、
 其外毛ト木綿ト交ヘタル織物
 右(甲)巾三十四インチマデ

同	〇	三	四	五
十ヤールド	〇	三	四	五

- (乙)巾三十四インチ以上
- 六四 プランケット並馬氈
 - 六五 モヘイル敷物、ブレイツ並シヨ
ウルス
 - 六六 形附毛織飯臺掛
 - 六七 毛織縞同股引
 - 六八 毛木綿交織縞同股引
 - 六九 毛織(白並染色)

第二種

無税品

食料又ハ荷物運送ニ用フル諸獸類

碇並鎖ノ碇綱

石炭

外國ノ衣裳

但此運上目錄中ニ載セサル品ニ限ルヘシ

同	〇	〇	〇	〇
十斤	〇	〇	五	五
一枚	〇	〇	五	五
一枚	〇	〇	七	七
一枚	〇	〇	七	五
一枚	〇	〇	七	五
百斤	〇	〇	九	二

金銀貨幣ニ作リタル者又ハ作ラサル者

穀類米、粳、小麥、大麥、燕麥、粟麥、豆類、粟、黍、稗、玉黍、

右粉類

油糟、豆ノ油ヲ取リシ糟

荷造ニ用フル筵

板木

鹽

鹽漬ノ食料、樽ニ入レタル者

硝石

ソルドル

タール並チヤン

茶ヲ製スル鍋並籠

茶鉛

旅中用荷物

第三種

禁制品

阿片

第四種

元代ニ從ヒ五分ノ稅ヲ收ムヘキ品

兵器並軍用諸品類

巴里斯品

長杓並杓

時計類並オルゴール

珊瑚

刀物類

藥種水藥類即人參等ノ如キ類

染具

西洋陶器、磁器

諸般家具、新舊ヲ論セス

繪子器

金銀ノ絲並紐

ゴム類並椒香類

硝子燈類

鏡類

珠玉類

器械類並鐵及銅器、絹絲或ハ絹木綿雜織物、絹毛雜織物類

即天鵝絨ダマスク、プロケードノ類

油畫並銅板木板畫類

香具石鹼

金銀キセ並鍍金器物類

獸皮類

遠目鏡並學藝ニ用フル器具

材木

酒類酒精類、食料諸類

其他右ニ掲サル諸物品

江戸約書第八條ニ隨ヒ外國船ヲ日本人へ賣渡ノ節ハ蒸氣船ハ壹トンニ付一分銀三箇ツ、帆前船ハ壹トンニ付一分銀一箇ツ、日本政府ニ相納ムヘキ事

明治二十九年三月ニ至リ棉花及羊毛ノ輸入品ハ同年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除セラレテ無稅品トナレリ法文左ノ如シ

法律第五十七號

(明治二十九年三月)

外國ヨリ輸入スル棉花ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス

法律第五十八號

(明治二十九年三月)

外國ヨリ輸入スル羊毛ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス

斯ノ如クニシテ輸入棉花輸入羊毛免除ハ明治二十年三月ノ發布ニ係リ而シテ現行條約ヲ本島ニ施行スルコトハ其前月即チ二月ニ於テ宣言セラレタリ固ヨリ是レ軍事命令ノ豫想セザリシ所ニシテ亦之ヲ本島ニ施行スルノ勅令ナカリシヲ以テ同年八月關稅法實施セラル、迄ハ之カ附屬法タル前掲兩法律ハ本島ニ施行セラレス從ヒテ此間本島ニ於テハ二品共ニ有稅品タルコトヲ免レサリシナリ明治三十年三月法律第四號ヲ以テ關稅定率法ヲ發布セラレ同三十一年九月勅令第二百十三號ヲ以テ同法ヲ臺灣ニ施行スルコトヲ公布セララル其施行期日ハ三十二年一月一日ト定メラレタリ抑々從前ノ關稅率ハ締盟各國トノ條約ニ基キテ帝國政府任意ニ之ヲ變更スル能ハスト雖モ此時ニ及

ンヲヤ條約改正愈々進行シ之ニヨリヲ定メラレタル協定稅率以外ノモノハ所謂國定稅率トシテ新ニ制定セラレタリ關稅定率法即チ是ナリ乃チ定率法及施行期日ノ勅令ヲ左ニ掲ク

關稅定率法

(三十年三月二十六日公
三月二十九日官報掲載)

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニシテ附屬稅表第一種ニ屬スルモノハ同表ノ稅率ニ依リ輸入稅ヲ課シ第二種ニ屬スルモノハ輸入稅ヲ免シ第三種ニ屬スルモノハ輸入ヲ禁ス

附屬稅表第一種第十五類ニ屬スル物品ニシテ攝氏驗溫器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量六十五ヲ超過スルモノハ第六十九號酒精ノ率ニ依リ課稅ス

第二條 物品ノ課稅價格ハ其仕入地產出地若ハ製造地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送賃、保險料其ノ他輸出港ニ到着スル迄ノ 費ヲ加ヘテ算定ス

第三條 附屬稅表ニ掲グル物品ニシテ從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テ便宜トスルモノハ勅令ヲ以テ其ノ物品及細別ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ從量稅ハ前條ノ算法ニ依リ六箇月以上ノ平均價格ヲ算出シ附屬稅表ノ稅率ニ基キ之ヲ定ムヘキモノトス

第四條 附屬稅表中二箇以上ノ稅率ヲ適用シ得ヘキ物品ニ對シテハ其ノ最高ノ率ニ從テ課稅ス

第五條 左ノ物品ハ輸入稅ヲ課セス

第一 御料品

第二 帝國陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器彈藥及爆發物

第三 海軍艦船

第四 帝國ニ派遣セラレタル各國公使ニ屬スル自由品

第五 勳章賞牌

第六 記錄文書其他ノ書類

第七 商品ノ見本但シ見本用ニノミ適スルモノニ限ル

第八 旅具(旅客ノ携帯スルモノ)

第九 官立公立ノ博物館及物品陳列所へ永久陳列ノ爲ニ輸入スル物品

第十 內國產ニシテ五箇年以内ニ外國ヨリ積戻リ輸出ノ時性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ煙草類酒類ヲ除ク

第十一 修繕ノ爲メ外國ニ輸出シ再ヒ輸入スルモノ

第十二 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品

第七號第八號第九號ハ物品ノ稅關ニ於テ相當ト認ムルモノニ限ル

第十一號ノ物品ハ輸出ノ際豫メ再輸入ノ期限ヲ定ムヘシ

甲 金製及白金製ノモノ	三〇	完生菓乾菓及別項ニ掲ケサル核子	一五
乙 銀製及其他各種	二五	四〇 ハム及ベーコン	一五
三 懷中時計機械及同部分品	一五	四一 鮮肉	一〇
第二類 飲食物		四二 乳膏及乳粉	一五
三 礦水、檸檬水、曹達水ノ如キ酒精ヲ	一〇	四三 胡椒	一五
合マサル諸飲料		四四 食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)	
三 乾麵包		甲 粗製ノモノ	一〇
甲 船用ノモノ	一〇	乙 精製ノモノ	一五
乙 菓子製ノモノ	一五	四五 鹹魚	一五
三 乳油	一五	四六 鹹肉	一〇
三 乾酪	一五	四七 石花菜	一〇
三 咖啡	二〇	四八 喫茶	二五
三 糖菓類	二五	四九 完生菜乾菜及鹹菜	一〇
三 生卵	一〇	五〇 其他各種ノ食物	一五
三 麥粉其他穀粉澱粉類	一〇	第三類 衣服及附屬品	

三 長靴及短靴(各種)	二〇	乙 其他各種	二〇
三 袴鈞		五六 肩衣	
甲 絹製絹入ノモノ	二五	甲 毛製刺繡、絹製及絹入ノモノ	二五
乙 其他各種	二〇	乙 其他各種	二〇
三 鈕釦、扣子、鈎子類(飾鈕釦ヲ除ク)	二〇	五九 襦袢	二〇
三 襟卷		六〇 足袋(長短ヲ別タスメリヤス製ノモノ)	
甲 絹製及絹入ノモノ	二五	ノ)	
乙 其他各種	二〇	甲 綿製、毛製及毛綿製ノモノ	二〇
三 手袋(各種)	二〇	乙 絹製及絹入ノモノ	二五
三 帽子		丙 其他各種	二〇
甲 金銀珠玉入ノモノ	三〇	六〇 飾鈕釦(襦袢ノ襟袖胸ニ用ケルモノ)	
乙 絹製及絹入ノモノ	二五	甲 金製及白金製ノモノ(珠玉ヲ附)	三〇
丙 其他各種	二〇	メタルト否トヲ別タス)	
三 襟飾		乙 其他各種	二五
甲 絹製絹入ノモノ	二五	六二 粧飾料品(平紐、組紐、レース、繻)	

第六條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ滿六箇月以内ニ再ヒ輸出スルモノハ輸入税ヲ課セス

但シ輸入ノ際其輸入税金ニ相當スル金額ヲ預入シ又ハ擔保ヲ差入レテ之ヲ保障スヘシ

第一 修繕ノ爲一時輸入スルモノ

第二 學術研究旅行者使用ノ爲一時輸入スルモノ

第三 試驗品トシテ一時輸入スルモノ

第四 商人、工業者及注文取集旅商ノ見本品トシテ一時輸入スルモノ

第五 演劇其他興行用ノ爲メ一時輸入スルモノ

第七條 附屬稅表中改正ヲ要スルトキハ施行期日ヨリ少ナクモ六箇月前ニ之ヲ公布ス

第八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

輸入稅表

第一種 有稅品

番號	品名	稅率價
第一類	兵器時計學術器具及機械類	二權衡及尺度
二	大砲、小銃、拳銃、刀劍、砲彈、裝	三晴雨計
三	藥其他諸兵器	四雙眼鏡
		甲 革ヲ以テ裝ヒ若シクハ塗漆シタ
		一五

モノ

乙 其他各種

五	置時計、掛時計、及同部分品	一六 鐵道機關車及同部分品	一〇
六	鐵盤、時計及同部分品(航海用ノモノ)	一七 諸器械及同部分品(別項ニ掲ケサルモノ)	一〇
七	掛鍋(各種)		
八	刃物(別項ニ掲ケサルモノ)	一八 顯微鏡及同部分品	一〇
九	潛水器及同部分品	一九 蓄音器及同部分品	二五
一〇	電燈器械及同部分品	二〇 喇叭器及同部分品	一〇
一一	消防器及同部分品	二一 縫衣機及同部分品	一〇
一二	農具、工匠具及同部分品	二二 眼鏡及同部分品	一〇
一三	樂器及同附屬品	二三 獵銃及同附屬品	二五
一四	理學器械、製圖測量器、外科器、	二四 汽鐘、汽機及同部分品	一〇
一五	其他諸學術器(別項ニ掲ケサルモノ)	二五 電話器及同部分品	一〇
		二六 望遠鏡	一〇
		二七 寒暖計	一〇
		二八 印字機	一〇
		二九 懷中時計懷中時計備及同附屬品	一〇

甲 金製及白金製ノモノ	三〇	三 衛生菓乾菓及別項ニ掲ケサル核子	一五
乙 銀製及其他各種	二五	四〇 ハム及ベーコン	一五
三 懷中時計機械及同部分品	一五	四一 鮮肉	一〇
第二類 飲食物		四二 乳膏及乳粉	一五
三 礦水、檸檬水、曹達水ノ如キ酒精ヲ	一〇	四三 胡椒	一五
合マサル諸飲料		四四 食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)	
三 乾麵包		甲 粗製ノモノ	一〇
甲 船用ノモノ	一〇	乙 精製ノモノ	一五
乙 菓子製ノモノ	一五	四五 鹹魚	一五
三 乳油	一五	四六 鹹肉	一〇
三 乾酪	一五	四七 石花菜	一〇
三 咖啡	二〇	四八 茶	一五
三 糖菓類	二五	四九 衛生菓乾菓及鹹菜	一〇
三 生卵	一〇	五〇 其他各種ノ食物	一〇
三 麥粉其他穀粉澱粉類	一〇	第三類 衣服及附屬品	

三 長靴及短靴(各種)	二〇	乙 其他各種	二〇
三 袴鈎		五 肩衣	
甲 絹製絹入ノモノ	二五	甲 毛製刺繡、絹製及絹入ノモノ	二五
乙 其他各種	二〇	乙 其他各種	二〇
三 鈕釦、扣子、鈎子類(飾鈕釦ヲ除ク)	二〇	五 襦袢	
三 襟卷		六〇 足袋(長短ヲ別タスメリヤス製ノモノ)	二〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二五	乙 其他各種	二〇
乙 其他各種	二〇	六 綿製、毛製及毛綿製ノモノ	二〇
三 手袋(各種)	二〇	乙 絹製及絹入ノモノ	二五
丙 其他各種	二〇	丙 其他各種	二〇
三 帽子		六 飾鈕釦(襦袢ノ襟袖胸ニ用キルモノ)	二〇
甲 金銀珠玉入ノモノ	三〇	甲 金製及白金製ノモノ(珠玉ヲ附)	三〇
乙 絹製及絹入ノモノ	二五	メタルト否トヲ別タス)	
丙 其他各種	二〇	乙 其他各種	二五
三 襟飾		六 粧飾料品(平紐、組紐、レース、總、	
甲 絹製絹入ノモノ	二五		

第四類 藥材、化學藥及製藥

ノツツ、スタールス、金屬絲及金屬紐、其他別項ニ掲ケサル各種	10
甲 金銀製及金銀入ノモノ	10
乙 絹製及絹入ノモノ	10
丙 其他各種	10
三 肌衣(上下ヲ別タスメリヤス製ノモノ)	10
甲 綿製、毛製及毛綿製ノモノ	10
乙 絹製及絹入ノモノ	10
丙 其他各種	10
四 雨衣	10
甲 絹製及絹入ノモノ	10
乙 其他各種	10
五 其他各種ノ衣服及附屬品	10
甲 絹製及絹入ノモノ	10
乙 其他各種	10

一〇 桂皮油	10	一〇 亞拉比亞護謨	10
一一 霍香	10	一一 安息香	10
一二 規那皮	10	一二 麒麟血	10
一三 聖古尼涅(鹽酸若クハ硫酸)	10	一三 沒藥	10
一四 辰砂(赤色硫化汞)	10	一四 乳香	10
一五 丁香	10	一五 苦草	10
一六 鹽酸古加乙涅	10	一六 沃度仿謨	10
一七 肝油	10	一七 吐根	10
一八 寫真用若魯胃謨及附屬ノ沃度意撒兒	10	一八 藥刺巴根	10
一九 古倫僕	10	一九 醋酸鉛(錫糖)	10
二〇 牛黃	10	二〇 甘草	10
二一 阿仙藥及檳榔膏	10	二一 麻黃	10
二二 健質亞那(龍膽)	10	二二 過酸化滿俺	10
二三 人參	10	二三 莫兒比涅(鹽酸若シクハ硫酸)	10
二四 佩里設林	10	二四 麝香	10

一〇 麝香(人造ノモノ)	一五 三三 攝綿支奈	一〇
一一 甘松	一六 三六 沙刺克	一〇
一二 赤磷	一七 三七 曹達灰	一〇
一三 鹽酸必魯加兒必涅	一八 三九 重炭酸曹達	一〇
一四 貌羅謨劍篤亞斯	一九 四〇 苛性曹達	一〇
一五 格魯兒酸劍篤亞斯	二〇 四一 結昌曹達(洗濯曹達)	一〇
一六 沃度劍篤亞斯	二一 四二 撒里失爾酸曹達	一〇
一七 木香	二二 四三 蒼朮	一〇
一八 規尼涅(鹽酸若シクハ硫酸)	二三 四四 紫梗	一〇
一九 松脂	二四 四五 ウアスリン	一〇
二〇 大黃(塊粉ヲ別タス)	二五 四六 黃芩	一〇
二一 泊芙蘭	二六 四七 其他諸藥材、化學藥及製藥	一〇
二二 硝石(硝酸劍篤亞斯)	二七 四八 第五類 染料、彩料及塗料	一〇
二三 珊瑚膏	二八 四九 アリザリン染料	一〇
二四 撒兒沙巴利刺	二九 五〇 アニン染料	一〇

一三 紺青(乾濕ヲ別タス 礦物ヨリ製シタル)	一〇 一五 栲皮	一〇
一四 洋紅	一一 一六 藍色油	一〇
一五 酸化古拔爾篤	一二 一七 紅花	一〇
一六 呀囉蟲	一三 一八 蘇木	一〇
一七 花綠青	一四 一九 花紺青	一〇
一八 沒食子及五倍子	一五 二〇 姜黃	一〇
一九 雌黃	一六 二一 郡青	一〇
二〇 金液、銀液及白金液	一七 二二 洋漆	一〇
二一 乾藍	一八 二三 支那漆	一〇
二二 水藍	一九 二四 綠青	一〇
二三 インデゴ、エキストラクト及イン	二〇 二五 朱	一〇
二四 ギャー、カルマイン	二一 二六 碗青	一〇
二五 鉛粉(各色)	二二 二七 白色亞鉛粉	一〇
二六 ログウッド	二三 二八 其他各種ノ染料、彩料及塗料	一〇
二七 ログウッド 越幾斯	二四 二九 第六類 玻璃及玻璃製品	一〇

二六 膠玻璃片(尋常モノ)	二七 胡麻子	二〇	五
甲 無色及無著色ノモノ	二六 小麥	二〇	五
乙 其他各種	二七 其他別項ニ掲ケサル各種ノ穀物及種子	二〇	五
二六 プレート玻璃片(水銀ヲ塗りタルト否トヲ別タス)	第八類 角牙皮毛介甲類	二〇	五
二六 玻璃珠(威尼斯珠ト稱スルモノ)	二〇 獸骨	二〇	五
二七 磨玻璃及粉玻璃	二一 羽毛(各種)	二五	二五
二七 玻璃鏡	二二 毛皮(治理シタルト否トヲ別タス)	二五	二五
二七 其他各種ノ玻璃製品(別項ニ掲ケサルモノ)	二三 獸毛(羊毛山羊毛及駱駝毛ヲ除ク)	二〇	五
二七 鬃毛	二四 髮毛	二〇	五
二七 第七類 穀物及種子	二五 牛皮及水牛皮(生、乾若シクハ鹽漬等ノ治理ヲ經サルモノ)	二五	五
二七 大麥	二六 鹿皮(生、乾若シクハ鹽漬等ノ治理ヲ經サルモノ)	二五	五
二七 豆類	二七 山馬皮(生、乾若クハ鹽漬等ノ治理ヲ經サルモノ)	二五	五
二七 玉蜀黍			
二七 燕麥			

第九類 金屬及金屬製品

一八 獸蹄	二〇 安知母尼(塊錠ヲ別タス)	五	五
一九 牛角及水牛角	真鍮	五	五
一九 鹿角	二〇 條、竿及板	一〇	一〇
一九 犀角	二〇 筒及管	一〇	一〇
一九 象牙	二〇 螺旋釘	一〇	一〇
一九 象牙	二〇 故真鍮(改造適用ノモノ)	五	五
一九 一角牙	銅	一〇	一〇
一九 海馬牙	二〇 塊及錠	五	五
一九 靴底皮	二〇 條、竿及板	一〇	一〇
一九 其他各種ノ熟皮	二〇 釘	一〇	一〇
一九 龜甲	二〇 筒及管	一〇	一〇
一九 鱉甲	二〇 線	一〇	一〇
二〇 其他各種ノ骨角生皮及介甲	二三 銅貨及白銅貨	五	五
二〇 其他各種ノ牙類	二三 故銅(改造適用ノモノ)	五	五

二五八別項ニ掲ケサル釘及螺旋釘	一〇	第十類 油蠟	
二五九鎊及鎊鍵(新故ヲ別タス)	一〇	二七二蠟燭	一五
二六〇提囊用金具	一五	二七三氣油	一〇
二六一キャブシユール(鑪ノ口ニ用ヒル金具)	一五	二七四豆油	一〇
二六二鐵鏈(別項ニ掲ケサルモノ)	一五	二七五蓖麻子油	一〇
二六三戶鎖、戶鈕、戶栓、蝶鉄類	一五	二七六椰子油	一〇
二六四金銀其他金屬箔及粉	一五	二七七落花生豆油	一〇
二六五金銀器(別項ニ掲ケサルモノ)	三五	二七八石油	一〇
二六六鍍金銀器(別項ニ掲ケサルモノ)	二五	二七九亞麻子油	一〇
亞鉛		二八〇阿列布油	一〇
二六七壁爐、置爐及附屬品	二〇	二八一櫻桐子油	一〇
二六八貨幣匣	二〇	二八二無味香油	一〇
二六九傘骨及附屬金具	一五	二八三松精油	一〇
二七〇其他別項ニ掲ケサル各種ノ金屬	五	二八四蟲白蠟(蜡)	一〇
二七一其他別項ニ掲ケサル各種ノ金屬製品	二〇	二八五無味香蠟	一〇

二六六其他各種ノ油蠟	一〇	乙 其他各種	一五
第十一類 紙及文具		二九六封蠟	一五
二六七集畫帖(寫真用及郵便切符貼用ノモノ)	二五	二九七藁紙	一五
二六八白紙帳簿及書式類	一五	二九八其他各種ノ文具	一五
二六九墨汁(印刷用寫字用筆記用及石版用ノモノ)	一五	第十二類 砂糖	一五
二九〇唐紙類(各種)	一五	二九九砂糖	五
二九一壁紙	一五	三〇〇精糖	一〇
二九二印刷料紙	一五	三〇一氷砂糖	一五
二九三其他各種ノ紙類	一五	三〇二糖蜜	一〇
二九四鉛筆	一五	三〇三糖水	一〇
甲 金製及白金製ノモノ	三〇	第十三類 布帛、絲綉及同材料	
乙 其他各種	一五	第一	
二九五筆嘴	一五	三〇四綿織絲	一五
甲 金製ノモノ	三〇	三〇五綿織絲	一五
		三〇六製本用棉布	一五

三〇三 綿純子	一五三 寒冷紗	一五
三〇六 雲齋布	三三 其他各種ノ綿布(純綿ト他物ヲ交ヘタルトヲ別タス但シ綿ノ重量超過スルモノ)	一五
三〇九 綿帆布		
三二〇 更紗類		
三二二 綿織子、綿プロケード綿イタリアン	第二	
ス及紋金巾	三三 毛絲及ウルステット絲(各種)	一〇
三二 綿天鵞絨	一五 三四 アルバカ	一五
三三 ギンハム	一五 三五 紹吳呂	一五
三四 生金巾	一五 三六 旗布	一五
三五 晒金巾	一五 三七 吳呂、綾吳呂及睥吳呂	一五
三六 綾金巾	一五 三八 カムレット、コールド	一五
三七 色金巾	一五 三九 紋吳呂	一五
三八 唐棧	一五 四〇 フランネル(毛製及毛綿製ノモノ)	一五
三九 天竺布(小幅金巾)	一五 四一 イタリアン、クローツ	一五
四〇 緋金巾	一五 四二 羅世伊多	一五

三三 縮緬吳呂(毛製及毛綿製ノモノ)	一五 四三 絹糸類(別項ニ掲ケサルモノ)	二〇
三四 フルリアンス及ラストルス	一五 四四 支那縮緬	二〇
三五 セルヂス	一五 四五 支那縮緬	二〇
三六 スパニシ、ストライプス	一五 四六 支那縮緬	二〇
三七 羅紗(各種)	一五 四七 支那縮緬織子	二〇
三八 毛純子	一五 四八 支那縮緬織子	二〇
三九 毛フェルト地	一五 四九 絹綿織子	二〇
四〇 其他各種ノ毛布(純毛ト他物ヲ交ヘタルトヲ別タス但毛ノ重量超過スルモノ)	一五 五〇 刺繡絹布及刺繡絹綿布	二〇
第三	一五 五一 其他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルトヲ別タス但シ絹ノ重量超過スルモノ)	二〇
四一 生糸、捻糸、玉糸、鬘斗糸、屑絲及野繭絲	第四	
四二 真綿	一五 五二 麻織絲	一〇
四三 絹織糸(紡績シタル)及絹交織糸	一五 五三 麻縫絲	一五
	一五 五四 麻帆布	一五
	一五 五五 麻布(生、晒、染色、若シクハ形付)	一五

ノモノ)			
三六麻純子	一五	乙 其他各種	二〇
三七其他各種ノ麻布(純麻ト他物ヲ交ヘタルトナ別タス但シ麻ノ重量超過スルモノ)	一五	甲 絹入ノモノ	二〇
		乙 其他各種	一五
		三六護謄紐類	一五
		三六手巾	一五
第五		甲 綿製麻製及麻綿製ノモノ(單製連製ヲ別タス)	一五
三六フランクット(單製連製ヲ別タス各種)	一五	乙 連製ヲ別タス)	二五
三九ブラツセル纒	二〇	乙 絹製及レース製ノモノ	二五
三〇フェルト纒	二〇		
三二麻氈	二〇	三九軟褥(各種)	二〇
三二バテント、タペストリー纒	二〇	三〇草布(家具等ニ用キルモノ)	一五
三三其他各種ノ地氈	二〇	三七油布及リノリウム(牀ニ用キルモノ)	一五
三四竹布	一五	三七襪衣	一五
三五氈帷		甲 絹製及絹入ノモノ	二五
甲 絹製及絹入ノモノ	二五	乙 其他各種	二〇

三七浴巾(單製連製ヲ別タス各種)	一五	三六葉煙草	三〇
三四旅纒(單製連製ヲ別タス)	二五	三四其他諸煙草	四〇
甲 絹入ノモノ	二五	第十五類 酒類	
乙 其他各種	一五	三五麥酒及黑麥酒	二五
三五綿線及苧麻線	一〇	三六ブランドー	四〇
三六蠶絲及縫絲(別項ニ掲ゲサル各種)	一五	三七シヤムパン	三五
三七其ノ他各種ノ布帛	一五	三六支那酒(各種)	四〇
三六其他各種ノ布帛製品	二五	三九杜松子酒	四〇
甲 絹製及絹入ノモノ	二五	三九〇リキユール(各種)	四〇
乙 其ノ他各種	二〇	三九一ポルト	三〇
第十四類 煙草		三九二ラム	三〇
三九卷煙草及小卷煙草	四〇	三九三清酒(内地釀造類似ノモノ)	四〇
三〇紙卷煙草	四〇	三九四シエリー	三〇
三一嗅煙草	四〇	三九五ウエルモット	三〇
三二刻煙草	四〇	三九六ウキスキー	四〇

三六	葡萄酒(赤白ヲ別タス)	三五	七衝球臺及附屬品	三〇
三六	其他各種ノ蒸溜酒	四〇	プラスチック、セラチン其ノ他類似ノ爆發藥、デトネートル及フェーズ	二五
三六	其他各種ノ醸造酒	三五	九磚瓦(建築用ノモノ)	一〇
	第十六類 雜品	一〇	二ブラシ及帶(各種)	一〇
四〇	沈香	四二	杖及鞭	二〇
四〇	琥珀	一〇	三護膜及掘答百兒沙	二〇
	甲 加工セサルモノ	二〇	甲 生	
	乙 加工シタルモノ	五	乙 板	
	動物	五	丙 工ヲ加ヘタルモノ(別項ニ掲ケサルモノ)	
四二	牛、馬、驢、騾、綿羊、山羊及鷄	一〇	三乘車、自轉車及同部分品	二五
四三	其他各種ノ動物	五	四鐵道客車及同部分品	一〇
四四	石絨(板)	一〇	五鐵道貨車及同部分品	一〇
四五	竹材(工ヲ加ヘサルモノ)	一〇	六鐵道馬車及同部分品	一〇
四六	革帶、護膜帶、帆布帶、護膜管及帆布管(機械ニ用キルモノ)			

四七	貨車	一〇	四〇	ダイヤモンド	一五
四八	セリユロイド		四二	金剛砂	五
	甲 板若クハ竿	一〇	四三	金剛砂布及砂紙	五
	乙 工ヲ加ヘタルモノ	二〇	四四	金剛砂砥其他各種ノ砥石	五
四九	ボルトナンド、セメント	五			
五〇	白堊及ホワイチング	五	四五	フェルト(船底用若クハ屋背用ノモノ)	一〇
五二	木炭及骨炭				
五三	粘土(各種)	五	四五	煙火(各種)	三〇
五三	石灰及磚炭	一五	四六	天鰲絲(漁用ノモノ)	五
五四	焦炭	一五	四七	燧石	五
五五	珊瑚(加工シタルト否トヲ別タス)	三〇	四八	造花	二五
五六	苧麻繩索(船用ト否トヲ別タス)	一〇	四九	額縁及天井縁	二〇
五七	塞子樹皮	五	五〇	海羅	五
五八	塞子	一〇	五一	家具(新故ヲ別タス別項ニ掲ケサルモノ)	二〇
五九	玻璃刀	一〇			

四三	テニス、クリケット、象棋	二五	麥芽	五
四三	阿膠、(普通)	五	マツチ(各種)	二〇
四四	綿火藥	一五	支那蓆(一卷四十碼)	二〇
四五	火藥(各種)	一五	椰子皮蓆	二〇
四六	石膏	五	其他各種ノ地蓆	二〇
四七	飼草	五	マイカ(板)	一〇
四八	象牙製品(別項ニ掲ケサルモノ)	二〇	ラクム(船茹)	五
四九	金銀細貨類(貴石眞珠等ヲ箵メタルト否トヲ別タス)	三五	バッキング(流械用ノモノ)	一〇
五〇	假製金銀細貨類(貴石眞珠等ヲ箵メタルト否トヲ別タス)	三〇	油畫、水畫、石版畫、著色石版畫、寫眞畫、法帖、其他別項ニ掲ケサル各種ノ書畫類	二五
五一	貼札(纏繼等ニ用キルモノ)	一五	瀝青、木炭兒及石炭炭兒	五
五二	ラムプ、提燈及同部分品	二〇	巴黎灰	五
五三	獸脂類	一〇	骨牌(各種)	三五
五四	皮革製品(別項ニ掲ケサルモノ)	二〇	石墨	五

四六	磁器及陶器(別項ニ掲ケサルモノ)	二〇	海綿	五
四九	寶石及眞珠	三五	石類(別項ニ掲ケサルモノ)	五
五〇	寶石及眞珠(假製ノモノ)	三〇	建築用其他工作ヲ經サルモノ	五
五二	ポルプ(製紙料ノモノ)	五	裝飾用若クハ家具用其他工作ヲ經タルモノ	二〇
五三	パツテキ	五	肖像其ノ他彫刻シタルモノ	二五
五三	藤(割キタルト否トヲ別タス)	五	海底電線及地下電線	一〇
四七	馬具	二五	紫檀	五
四五	白檀	一〇	チキ材	五
四六	靴墨(各種)	二〇	木材及板(別項ニ掲ケサル各種)	五
四七	吸煙器具(阿片吸煙具ヲ除ク)	三〇	化粧具匣	二五
四八	石鹼	二〇	香水、香油、洗齒藥其他各種ノ脂粉及薰香類	三〇
甲	化粧用ノモノ	一〇	及薰香類	二五
乙	其他各種	五	籠甲製品	二五
四九	滑石(塊粉ヲ別タス)	五	器具(各種)	二五
五〇	スバルテリ(製帽用ノモノ)	一〇		

四九 旗幟、提囊及佩袋	二〇 銀行券、利札、株券、其他各種ノ有價證券
四九 傘類	二五 書籍、習字本、習畫本、及新聞雜誌
甲 絹及絹入ノモノ	二〇 金銀(地金)
乙 其他各種	二〇 金銀(各種)
四九 傘柄及傘手(金銀製ヲ除ク)	五五 金銀貨幣
四九 漁船、帆船及舟艇	二五 五〇六故綿
四九 紫檀櫃器及黒檀器	一〇 五〇七線綿
四九 其他税目中ニ掲ケサル生粗若クハ未製品	五〇八生綿
四九 其他税目中ニ掲ケサル全製若クハ半製品	二〇 五〇九屑綿
第一種 免稅品	五〇 屑綿絲
四九 廣告ノ書畫及看板	五二 苧麻(梳理シタルト否トヲ別タス)
四九 骨灰	五三 烏糞
五〇 地圖、海圖及其ノ他學術圖	五三 ゴソニー糞(新故ヲ別タス)

五五 包蓆	純良ナラサル藥材、化學藥、製藥食物若クハ飲料
五六 雛形、及工事圖面	五七 阿片吸煙具
五七 油糟(塊粉ヲ別タス)	五八 法律命令ニ依リ公共ノ衛生又ハ動植物ニ危險ナリト認ムヘキ物品
五八 藥料阿片(政府ノ輸入スルモノ)	五九 特許意匠商標及版權ニ關スル帝國ノ法律ニ違反シタル物品
五九 草木及苗根	六〇 贗造貨幣、及贗造ト認ムヘキ模造貨幣
五〇 米、粳	六一 阿片(政府ノ輸入スル藥料阿片ヲ除ク)
五二 乾繭	六二 公安及風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻物其他ノ物品
五三 茶籃、茶篩及茶箕	
五三 茶鍋	
五四 茶鉛	
五五 羊毛、山羊毛及駱駝毛(新故ヲ別タス)	
第三種 禁制品	
五八 法律命令ニ依リ有害ナリト認ムヘキ	

勅令第二百十三號

明治三十年法律第十四號關稅定率法ヲ明治三十二年一月一日ヨリ臺灣ニ施行ス

但シ本法施行期日前ニ税關ニ於テ輸入申告書ヲ受理シタルモノニ限リテハ舊稅率ヲ適用セラレタリ
訓令左ノ如シ

訓令第二百七十四號

(明治三十一年十月)

明治二十年法律第十四號關稅定率法施行期日前ニ輸入港ニ到着シ期日後ニ輸入手數ヲ完了スル貨物ニ對シテハ其施行期日前ニ税關ニ於テ輸入申告書ヲ受理シタルモノニ限リ舊稅率ヲ適用スヘシ協定稅率モ亦國定稅率ト同シク明治三十二年一月一日ヨリ實施スヘキコトヲ左ノ通告示セラレタリ

告示第八十二號

明治三十年十二月五日帝國政府ト埃地利、洪牙利國政府トノ間ニ締結シタル通商航海條約ハ未タ批准交換ノ運ニ至ラサレトモ今般兩國政府間ニ於テ該條約ヲ明治三十二年七月十七日ヨリ又該條約ノ追加條約ヲ同年一月一日ヨリ實施スルコトニ協定セラレタリ
明治三十一年一月十二日

臺灣總督男爵 兒玉源太郎

告示第八十三號

明治二十八年七月十六日締結ノ日英追加條約附屬稅目同二十九年四月四日締結ノ日獨通商航海條約議定書附屬稅目及同年八月四日締結ノ日佛通商航海條約議定書附屬稅目ハ明治三十二年一月一日ヨリ實施セラレ

日ヨリ實施セラレ

明治三十一年十一月十二日

臺灣總督男爵 兒玉源太郎

右ノ告示ニ於ケル協定稅率ハ左ノ如シ

明治三十一年十一月十二日府報掲載

告示第八十三號參照

日英追加條約附屬稅目

(明治二十八年十一月三十日官報抄録)

號	品	目	稅
一	護膜製品	從	一割
二	「ポルトランド、セメント」	百斤	0.025
三	綿織絲類(無地若クハ染色ノ)綿布類	同	0.020
四	雲齋布	一方「ヤールド」	0.015
五	綿帆布	同	0.010
六	連續手布	同	0.011
七	更紗	同	0.011

六綿縹子(無地、有紋若ハ形附ノ)綿「ブロード」綿「イタリヤンス」及紋金巾	同	0.017
九色金巾	同	0.013
一〇生金布	同	0.006
一二綾金布	同	0.011
一三晒金布	同	0.010
一四天竺布	同	0.009
一四緋金布	同	0.011
一五綿天鷲絨類	同	0.004
一六寒冷紗	同	0.004
一七其他本税目ニ掲載セサル各種ノ純綿布及亞麻、大麻若ハ羊毛其他ノ纖維ヲ交ヘタル各種ノ綿布、但シ綿ノ重量超過スルモノ	同	一割
附記 既製ノ衣服及他ノ金製品ハ綿布類ノ目ニ屬セサルコト勿論ナリ		

一八窓玻璃(尋常ノ)

甲 無色及無著色ノ	百方「フット」	0.031
乙 有色著色及砂磨ノ	從	一割
一九帽子(「フェルト帽」トモ)	同	一割
二〇乾藍	百斤	二.95
鐵及軟鋼		
二一塊	同	0.023
二三條及竿(徑一インチノ四分ノ一ヲ超ヘタル)	同	0.021
二三釘(大釘、無頭釘平頭釘及曲頭釘トモ)		
甲 尋常ノ	同	0.057
乙 電鍍シタル	從	一割
二四筒及管	同	一割
二五板	百斤	0.35
二六軌條	同	0.32
二七螺旋釘及靴螺旋釘(電鍍シタルト否トノ別ナク)	從	一割

六電鍍板(波形ト否トノ別ナク)	百	斤	0.740
二元葉鐵及葉	同	價	0.691
甲 尋常ノ	同	價	1割
乙 晶鍍ノ	同	價	0.503
三線及徑二「イシチ」ノ四分ノ一ヲ超ヘサル細竿	同	斤	0.256
三電線(電鍍線)	同	斤	0.256
附記 本税目ノ軟鋼トハ「シトメンス」「ベセマー」「ページツク」若ハ之ニ類シタル方法ヲ以テ製シ其價格本税目中ノ同項目ニアル鐵ニ近キ軟鋼ヲ謂フナリ	同	斤	0.316
三鉛(塊錠ノ別ナク)	同	斤	0.316
三熟皮	同	斤	0.316
甲 靴底皮	同	斤	0.316
乙 其ノ他ノ	同	斤	0.316
三麻織絲類(無地若クハ染色ノ)	同	斤	0.316
三麻帆布	同	斤	0.316

三其他各種ノ麻布

附記 既製ノ衣服及他ノ全製品ハ麻布類ノ項目ニ屬セサルコト勿論ナリ	從	價	1割
三毛水銀	百	斤	5.06
三乳膏及乳粉	從	價	0.133
三無味香油	從	價	1割
三色油	百	斤	1.304
三印刷料紙	同	斤	1.233
三硝石(硝酸鉀篤亞斯)	同	斤	0.490
三絹綿繻子	從	價	1割五分
附記 其他各種ノ絹綿布及毛絹但シ毛若ハ綿ノ重量超過スルモノハ課税ノ上各其種類ニ從テ本税目ノ第一七號若クハ第六一號ニ屬スルコト勿論ナリ	同	價	1割五分
鋼(軟鋼ニ非サル)	同	價	5分

聖條、竿及板	從	價	七分五厘
罌線及徑一「イッチ」ノ四分ノ一ヲ超ヘサル細竿	百	斤	一八二九
罌精糖	同	同	〇七四八
甲 和蘭標本色相ノ第十五號ヨリ第二十號ニ至ル	同	同	〇六二七
乙 和蘭標本色相ノ第二十號ニ超ヘタル	同	同	〇六二七
錫	同	同	一九九二
罌塊及錠	同	價	一割
罌板	從	斤	〇五四四
罌無味香蠟	同	斤	九一六九
罌毛絲及「ウルステッド」絲(無地若ハ染色ノ)	同	斤	〇〇七五
毛布類(純毛ト他物ヲ交ヘタルトノ別ナク)	同	斤	七四六
罌「アルバカ」	一方「ヤールド」	斤	〇〇三三
罌「ブランケット」地及絲ニテ縁縫シタル「ブランケット」(平織ノ)	百	斤	〇〇三三
罌旗布	同	同	〇〇三三
罌羅紗	同	同	〇〇三三

甲「ブロード、クロス」ナルロー、クロス「アーミー、ク	同	價	一割
ロス」「カッシンミア」「トウキード」及「ウルステッド、コ	同	同	一割
ーチング」ノ如キ毛絲若ハ「ウルステッド」絲ヲ以テ或ハ	同	同	一割
毛絲ト「ウルステッド」絲トヲ以テ織リタル	同	同	一割
乙「パイロット、クロス」及「ユニオン、クロス」ノ如キ	同	同	一割
毛絲若ハ「ウルステッド」絲ト綿絲トヲ以テ織リタル	同	同	一割
罌「フランキル」	同	同	〇〇四四
罌「イタリアン、クロス」	同	同	〇〇四二
罌羅世伊多	同	同	〇〇三六
罌縮緬吳呂	同	同	〇〇三六
罌「セルヂ」	同	同	〇〇三三
甲 縦ニ「ウルステット」絲横ニ毛絲ヲ以テ織タル	同	同	〇〇三三
乙 其他各種ノ	同	同	〇〇三三
罌其他本税目ニ掲載セサル各種ノ毛布(純毛ト他物ヲ交ヘタルトノ別ナク但シ毛ノ重量超過スルモノ)	同	同	一割

附記 既製ノ衣服及他ノ全製品ハ毛布類ノ項目ニ屬セサル

コト勿論ナリ

三 織絲類(本税目ニ掲載セサル各種ノ)
亞鉛 從價一割

三 塊及錠
同 百斤 〇.壹一

三 板
同 〇.拾六

重量、尺度及貨幣

本税目ニ記載シタル斤ハ日本ノ秤量ニシテ「メートル」法秤量ノ六百「グラム」即英國ノ「アヴライル
デユボイス」秤量「「ポンド」ト三二七七ニ同シ

「ポンド」ハ英國ノ「アヴライルデユボイス」秤量トス

方「ヤード」及方「フィート」ハ英國ノ定法平面尺度トス圓ハ現今ノ日本銀圓ニシテ純銀千分ノ九百、
重量四百十六「グレイン」ノモノトス

從價税算定ノ規定

本税目ニ從ヒ輸入物品ニ課スヘキ從價税ハ其物品ノ仕入地、産出地、若クハ製造地ニ於ル原價ニ其
ノ仕入地、産出地若ハ製造地ヨリ仕向港ニ至ル迄ノ保険料及運送費ヲ加ヘ又手数料アルトキハ之ヲ

モ加ヘテ算定スヘキモノトス

布帛類尺度ノ規定

税關ニ於テ布帛類ニ對シ課税スヘキ幅ヲ檢定スルニハ半「インチ」以下ノ端數ハ總テ之ヲ切捨テ半
「インチ」ニ超ヘタル端數ハ總テ之ヲ「インチ」トシテ算入スヘキモノトス

附記 布帛類ノ織縁ハ其尺度ニ算入セサルモノトス

日獨通商航海條約議定書附屬税目

(明治二十九年十一月二十日官報抄録)

號	品	目	從價税率
一	綿布類		
	一 綿天鰲絨類	百ニ付	十
	二 本税目ニ掲載セサル各種ノ純綿布及亞麻、大麻若クハ羊毛 其他ノ紡績シ得ヘキ物料ヲ交ヘタル各種ノ綿布但シ綿ノ重 ナル	同	十
	三 鉛(塊、錠ノ別ナク) 化學製品及藥品	同	五
	四 赤磷	同	十

五	次硝酸蒼鉛	同	十
六	貌羅護化物	同	十
七	規厄涅	同	八
八	格魯兒酸剝篤亞斯	同	十
九	「ダイナマイト」	同	十
十	沃度剝篤亞斯	同	十
十一	硝酸剝篤亞斯	同	十
十二	撒里矢爾酸	同	十五
	金屬線	同	十五
十三	電線	同	十五
十四	鐵線、鋼線及徑英一「インチ」ノ四分ノ一ヲ超ヘサル細竿鐵、細竿鐵及鋼鐵	同	十五
	鐵及鋼鐵	同	十五
十五	塊	同	五
十六	軌條	同	五

三三〇

	條、竿、板	同	七
十七	鐵ノ	同	七
十八	鋼ノ	同	半
十九	電鍍板(波形ト否トノ別ナク)	同	十
二十	葉鐵及葉鋼	同	十
二十一	筒及管	同	十
二十二	鐵道客車及部分品	同	五
二十三	鐵釘	同	十
二十四	鐵螺旋釘、鐵牝牡螺旋釘(電渡シタルモノ共)	同	十
	窓玻璃(尋常ノ)	同	十
二十五	無色及無著色ノ	同	八
二十六	有色、著色及砂磨ノ	同	十
	染料及彩料類	同	十
二十七	「アニリン」	同	十
二十八	「アリザリン」	同	十

三三一

二十九「ワグド」越後新

三十色油

織絲類

三十一綿ノ

三十二織物用亞麻、大麻「ジユート」ノ羊毛、梳理シタル羊毛共

三十三織物用

三十四其他ノ

三十五此税目ニ掲ケサル各種ノ織絲

三十六絹綿繻子

三十七苦草

三十八帽子

三十九護膜製品

四十麻布類

四十一靴底皮

三三二

同 同

十 十

同

八

同

八

同

八

同

八

同

十

同

十

同

十

同

十

同

十

同

十

同

十五

四十二其ノ他ノ

四十三鐵道機關車及同部分品

牛乳

四十四「コンデンス」又ハ「エヴァポレーテッド」

四十五「ステリライズド」

四十六紙類

四十七無味香油

四十八無味香蠟

四十九「ポルトランドセメント」

五十時計（懐中時計ヲ除ク）及同部分品

各種ノ毛布類（ウルステッド」絲ノ織物トモ）純毛ト他物ヲ

交セタルト別ナク 但シ毛ノ重ナル

五十一「フランケット」

五十二「フランネル」

五十三箱桶吳呂

三三三

同 同

十 十

同

五

同

五

同

十

同

十

同

五

同

五

同

十

同

十

同

十

同

十

同

十

同

十

五十四 羅紗	同	十
五十五 「イタリヤン、クローズ」	同	十
五十六 其他ノ織物	同	十
亞鉛	同	五
五十七 塊、錠、板	同	五
五十八 薄板		
五十九 精糖		

從價稅算定ノ規程

本稅ニ從ヒ納ムヘキ從價稅ハ其物品ノ仕入地、產出地、若ハ製造地ニ於ケル原價ニ其ノ仕入地、產出地、若ハ製造地ヨリ陸揚港ニ至ル迄ノ保險料及運送費ヲ加ヘ又手數料アルトキハ之ヲモ加ヘテ算定スヘキモノトス

參考 右稅目ニ掲ケタル從價稅ハ議定書第三條ノ二項ニ依リ後日從量稅ニ代ルモノアルヘシ

日佛通商航海條約議定書

(明治三十一年三月三十一日官報抄録)

附屬稅目

品 目

「アニリン」染料	百	ニ	付	十
緋金巾及染金巾	同	七	分	ノ
鐵(條及竿)	同	七	分	ノ
「ログシード」越後新	同			
絹織子及絹綿布	同			
鋼(塊若ハ錠)	同			
縮緬吳呂(生地若ハ白色ノ)	同	八	分	ノ
同(染色若ハ形付ノ)	同			
他ノ毛布類(純毛ト他物ヲ交ヘタルトノ別ナク)	同			
羅紗(純毛ノ)	同			
毛織絲類	同			
石鹼(尋常ノ)	同			
蠟燭(獸脂製及蠟製ノ)	同			
葡萄酒類(「シャンパン」トモ)	同			
印刷機械	同			

製器	同	五
珠王金銀細貨類(假製ノ)	同	十
雙眼鏡	同	十
薰香類	同	十

參考 從價稅ハ諸費ヲ加ヘ算定スルコト英獨ト同様ナリ右從價稅ハ後日從量稅ニ代ルモノアルヘ

日澳通商航海條約追加條約稅目

(明治三十一年九月十日官報抄録)

品目	從價稅率
一、庖厨用具、皿鉢並ニ湯藥ヲ施シタル其他ノ鐵板及鋼板製ノ器具(彩色シ若ハ彩色セサル)	百ニ付十
一、ランプ各種並ニ金屬製若ハ玻璃製ノ部分品及附屬品	同
一、曲ケ木製家具類(各種ノ)	同
一、珠玉、金屬細貨類(假製ノ)	同
一、卸鈕類(各種ノ)	同
一、玻璃製品、クリスタル玻璃及玻璃類(窓玻璃ヲ除ク)	同

一、殺蟲粉

一、馬

同 無 稅 十五

參考 從價稅ハ諸費ヲ加ヘテ算定スルコト英獨佛ト同様ナリ日澳追加條約ハ前述ノ如ク明治三十二年一月一日ヨリ施行セラレタルガ同條約第四條第一項「本追加條約ハ日本ノ新關稅則實施ノ日ヨリ効力ヲ生シ千九百三十三年十二月三十一日迄存續スルモノトス」ノ明文ニ依リ千九百三十三年ハ明治三十六年ナルヲ以テ同條約ハ明治三十七年一月一日ヨリ消滅シタリ之カ爲メ協定稅率ヨリ國定稅率ニ移レリ後者ニ依リテ關稅ヲ課セラルヘキ重モナル輸入貨物左ノ如シ

品目	協定稅率	國定稅率
一、庖厨用具、皿鉢並ニ藥湯ヲ施シタル其他ノ鐵板及鋼板製器具(彩色シ若ハ彩色セサル)	從價一割	二價從割
一、ランプ各種並ニ金屬製若ハ玻璃製ノ部分品及附屬品	同	一割
一、曲ケ木製家具類(各種ノ)	同	一割
一、卸鈕(各種ノ)	同	一割
一、玻璃製品、クリスタル玻璃類(窓玻璃ヲ除ク)	同	五分
一、蟲殺粉	同	一割
一、馬	無	同五分

明治三十七年二月十日日露宣戰ノ詔勅煥發セラレタルヲ以テ露國產ノ輸入貨物ニ對シテハ協定章ニ依ルニ及ハサルニ至レリ總督ノ稅關長宛電達左ノ如シ

露國生産ノ物品ハ本月十一日以後輸入ノ申告ヲ爲シ又ハ保税倉庫庫入ノ申告ヲ爲スモノニ對シテハ總テ國定稅率ヲ適用スヘシ (明治三十七年二月十三日)

日伊兩國間相互最惠國條款ノ適用ハ明治三十七年十二月三十一日マテニテ終結スルモノナリシカ更ニ三十八年十二月三十一日マテ延期スルコト、ナレリ之ニ關スル民政長官ノ通牒左ニ掲ク

民財第四五一六號

(明治三十七年十一月一日)

日伊兩國間ニ締結スヘキ特別稅則ニ關スル商議未タ決定ニ至ラサルニ付伊國ニ輸入スル本邦ノ物品及本邦ニ輸入スル伊國ノ物品ニ對シ本年十二月三十一日マテ日伊兩國相互最惠國條款ノ適用ヲ繼續スヘキコトニ協約相成居候處今般現存ノ協定ヲ更ニ來三十八年十二月三十一日マテ延期シ度旨本邦伊國公使ヨリ外務省ニ提議有之同省ヨリ帝國政府ニ於テハ異議ヲ有セサル旨回答相成候越其筋ヨリ通知有之候條此段及通牒候也

明治三十二年二月關稅定率法改正セラレ同年八月十五日ヨリ臺灣ニ施行セラル法令左ノ如シ

法律第十八號

(明治三十二年二月十三日公布 同三十二年八月十五日ヨリ實施)

明治三十年法律第十四號關稅定率法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

附屬稅表第一種第十五類ニ屬スル物品ニシテ攝氏驗溫器十五度ノトキニ於テ原容量百分中酒精ノ容量六十五ヲ超過スルモノハ第六十九號酒精ノ率ニ依リ課稅ス

第五條中第十一號ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第十二政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品

輸入稅表中左ノ通改正ス

番號	品名	從價稅率
二五	麥酒精(アルコール)	二五〇
二三	削除	
二五	削除	
二五	六板(二號板ヲ除ク)	一〇
二五	削除	
三九	卷煙草及小卷煙草	一〇〇
三〇	紙卷煙草	一〇〇
三二	嗅煙草	一〇〇

三三 刻煙草	100
三四 其他諸製煙草	100
三五 支那酒	100
甲 蒸溜シタルモノ	100
乙 釀造シタルモノ	100
三六 清酒(内地釀造類似ノモノ)	100
三七 其他各種ノ蒸溜酒	100
三八 其他各種ノ酒類	100
三九 一磷礦石	100
四〇 二磷礦石	100
四一 三磷礦石	100
四二 格魯兒酸銅篤亞斯	100
四三 赤磷	100
四四 黃磷	100
四五 亞鉛板(二號板ニ限ル)	100

附 則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令第四十一號

(明治三十二年
月)

明治三十二年法律第十八號ヲ明治三十二年八月十五日ヨリ施行ス

明治三十二年三月關稅定率法中左ノ通改正アリタリ

法律第六十九號

明治三十年法律第十四號關稅定率中左ノ通改正ス

附屬輸入稅表第二種中五一四ノ次ニ「五一四ノ一人造肥料其他別項ニ掲ケサル各種ノ肥料」ニ加フ

附 則

此ノ法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令第一二四號

(明治三十二年
月)

明治三十二年法律第六十九號ヲ明治三十二年九月十八日ヨリ施行ス

以上ハ内地ノ施行期日ニ屬スト雖モ臺灣ノ施行期日モ亦左ノ律令ニ依リ同日ヨリ施行セラレタルモノト知ルヘシ今參考ノ爲メ本島ニ於ケル改正法律ノ施行期日ニ關スル律令ヲ左ニ掲ク

律令第二十一號

(明治三十二年
月)

律令ノ規定ニ依リ本島ニ適用セラル、法律ノ改正アリタルトキハ各其改正法律ニ依ル但別段ノ規

定アル場合ハ此限ニアラス
 本令ハ本令施行前ニ於ケル法律ノ改正ニモ亦之ヲ適用ス
 前二項ニ掲クル改正法律ノ本島ニ於ケル施行期日ハ各其改正法律施行期日ニ依ル但改正法律ノ施行期日本令施行前ニ係ルモノハ本令施行ノ日ヨリ施行ス
 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年三月關稅定率法ヲ改正セラレ同年十月一日ヨリ施行セララル
 法律第十四號
 (明治三十四年三月十日)

關稅定率中左ノ通改正ス

第一條第二項 削除

第五條第一項第十號但書中「煙草類酒類」ヲ「煙草類、酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料」ニ改ム

輸入稅表中左ノ通改正ス

第三欄中「從價稅率」ヲ「從價及從量稅率」ニ改ム

三糖菓類

- 甲 菓子 四〇
- 乙 砂糖糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ 二五

六九酒精(アルコール)

六九一チレーテット、アルコール

- 甲 攝氏驗温器十五度ノトキニ於テ原容量百分中メチールアルコールノ容量十五以下ノモノ 同 四拾三錢
- 乙 同十五以上ノモノ 同 一〇

六九二各種丁機(阿片丁機ヲ除ク)

- 同 四拾三錢

二六石油

- 甲 罐入ノモノ 每ガロン 三錢三厘
- 乙 罐入ニアラサルモノ 同 貳錢

三九卷煙草及小卷煙草

一五〇

三六〇紙卷煙草

一五〇

三二嗅煙草

一五〇

三二刻煙草

一五〇

三三其ノ他諸製煙草

一五〇

三五麥酒及黑麥酒

- 每リートル 十錢四厘

三六 削除
三六 支那酒(醸造シタルモノ)

三九 削除

三〇 削除

三三 削除

三三 清酒

三五 削除

三六 削除

三九 其ノ他各種ノ酒類

毎リートル 二十七錢

100

100

但シ攝氏驗温器十五度ノ時ニ於テ〇、七九四七ノ比重ヲ有スルモノヲ純酒精トシ原容量百分中純酒精ノ容量五十以上一ヲ増ス毎二十「リートル」ニ付四錢ヲ加フ

附 則

本法ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年四月關稅定率法附屬輸入稅表中改正セラル左ノ如シ

法律第三十二號 (明治三十四年四月十二日)

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

第二種五〇五ノ次ニ「五〇五ノ一」コブラ「ヲ加フ

第二種五二四ノ次ニ「五二四ノ一」鐵鑛「ヲ加フ

第二種五一四ノ一「ヲ「五一四ノ二」ニ改ム

附 則

此法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令第六十七號 (明治三十四年四月二十三日)

明治三十四年法律第三十二號ハ明治三十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年三月關稅定率法附屬輸入稅表中又左ノ改正アリタリ

法律第十七號 (明治三十五年三月)

關稅定率法輸入稅表中左ノ通改正ス

第一種第二類「三七生卵一、〇」ヲ「三七生卵二、五」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

勅令第五十四號 (明治三十五年三月)

明治三十五年法律第十七號ハ明治三十五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治三十七年三月關稅定率法附屬輸入稅表中改正セラルル法令左ノ如シ

法律第九號 (明治三十七年三月)

關稅定率法附屬輸入稅表中左ノ通改正ス

- 六ノ二各種變性アルコール
- 六ノ三各種酒精劑(阿片丁幾ヲ除ク)
- 二六石油

每リートル	〇四一〇
每リートル	〇四一〇
每リートル	二〇〇〇

附 則

本法ハ發布後六ヶ月ヲ經テ之ヲ施行ス

明治三十一年九月ニ至リ關稅定率法第三條「附屬稅表ニ掲クル物品ニシテ從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テスルヲ便宜トスルモノハ勅令ヲ以テ其物品及細別ヲ定ムルコトヲ得」ノ明文ニ基キテ左ノ輸入物品ヲ從量稅目ニ改メラル

明治三十九年九月二十四日公布

同年九月二十六日官報掲載

勅令第二百二十號

關稅定率法第三條ニ依リ輸入物品從量稅目左ノ通定ム
 本令ハ明治三十二年一月一日ヨリ施行ス

輸入物品從量稅目

輸入稅表番號	飲 食 物	稅	輸入稅表番號	物	稅
三	乳油	每斤 〇六六	四	鹹魚	每斤 〇七六
三	乾酪	同 〇五四	四	鹹肉(牛肉若クハ豚肉ノ樽ニ	每百斤 一二九三
三	咖啡	同 〇八四		ナシタルモノ)	
三	生卵	每千個 一二五	四	石花菜	同 五三
三	麥粉	每百斤 四六五	四	茶	每斤 〇六二
四	ハム及ベーコン	每斤 〇六五	六	肌衣(上下ヲ別タス、メリヤ	
四	鮮肉(羊肉)	每百斤 一八四九		ス製ノモノ)	
四	乳膏及乳粉	每百斤 三三		綿製ノモノ	每百個 一四二〇
四	食鹽(海鹽ト礦鹽トヲ別タス)	此例ニ依ル		毛製ノモノ	同 二四三
	甲 粗製ノモノ	每百斤 〇八三		毛綿製ノモノ	同 一八三
	乙 精製ノモノ	每斤 一三〇		藥材化學藥及製藥	

六石炭酸(結晶モノ)	每斤	〇三六	六辰砂(赤色硫化汞)	每斤	〇九六
六七撒里矢爾酸(結晶ト粉末トヲ別タス)	同	一五七	六五丁香	每百斤	一三六五
六酒石酸	同	〇七三	六六鹽酸古加乙涅	每斤	二九三
六亞爾爾保爾	同	〇三六	六九古倫僕	每百斤	五二七
七〇明礬	每百斤	一六九	七〇阿仙藥及檳榔膏	同	九二七
七〇白朮	同	八七七	七二健質亞那(龍膽)	同	一三六四
七一次硝酸蒼鉛	每斤	二〇六	七三佛里設林	每斤	〇三六
七二硼砂(硼酸曹達)	每百斤	一三六	七四亞拉比亞護謨	每百斤	一三〇七
六艾片	每斤	三七七	六六安息香	同	一三四
六桂皮	每百斤	七三三	六九乳香	同	五六〇
六桂皮油	每斤	二〇三	一〇〇苦草	每斤	〇五六
八霍香	每百斤	五九〇	一〇一沃度仿謨	同	五二一
八規那皮	同	一七三	一〇二吐根	每百斤	三六三〇
八聖古尼涅(鹽酸若ハ硫酸)	每斤	二〇〇	一〇三刺巴根	同	四五六
			一〇四醋酸鉛(鉛糖)	同	二二六

一〇五甘草	每百斤	九三三	二五攝綿支奈	每百斤	一五三
一〇六麻黃	同	三三三	二六沙刺克	每斤	〇五
一〇八莫兒比涅鹽酸若クハ硫酸	每斤	四〇四	二七曹達灰	每百斤	三五二
一一廿松	每百斤	一五〇	二八重碳酸曹達	同	四五七
一二赤燐	每斤	一六五	二九苛性曹達	同	四五四
一二三黃磷	每百斤	二二二	三〇結晶曹達(洗濯曹達)	同	三七
一二四貌羅護刺篤亞斯	每斤	〇九三	三一撒里矢爾酸曹達	每斤	一四三
一二五格魯兒酸刺篤亞斯	每百斤	二二二	三二蒼朮	每百斤	四六二
一二七木香	同	一四〇	三三紫梗	同	一八七〇
一二九松脂	同	二九六	三四ウアスリン	同	一六四二
一三〇大黃(塊粉ヲ別タス)	同	一三六七	三五黃芩	同	四九九
一三三泊美蘭	每斤	一七七	三六硼酸	同	二〇三六
一三三硝石(硝酸刺篤亞斯)	每百斤	六〇〇	三七硝酸曹達	同	四七一
一三三珊瑚寧	每斤	三六〇	染料、彩料及塗料		
一三四撒兒沙巴利刺	每百斤	一六二	三九紺青	同	六六九〇

一四酸化古拔爾篤	每百斤	三四六	一五白色亞鉛粉	每斤	一三〇
一四沒食子及五倍子	同	一七五	玻璃類	同	
一四雌黃	同	六八〇	一七臘玻璃片(無色及無着色ノモノ)	每百斤	四〇〇
一四乾藍	同	二九五	穀物及種子	同	
一五鉛粉(各色)	同	一〇七〇	一七三 大麥	每百斤	一〇一
一五 ログウッド越幾斯	同	二九七	一七四 大豆	同	二九
一五 栲皮	同	一一九	一七五 胡麻子	同	一九七
一五 藍色油(ベイントインオイル)	同	一三〇	一七六 小麥	同	一五三
一五 蘇木	同	二二五	一七九 綿種子	同	〇四四
一五 姜黃	同	三六四	角牙皮毛介甲類	同	
一五 那那青	同	一七九	一八四 髮毛	同	五六四
一六 支那漆	同	三三三	一八五 牛皮及水牛皮(生乾若ハ鹽漬)	同	九六二
一六 綠青	同	二九七	等治理ヲ經ザルモノ)	同	
一六 朱	每斤	一一〇	一八六 鹿皮(同上)	同	一五八
一六 碗青	每百斤	五四三	一八七 山馬皮(同上)	同	六一

一六 獸蹄	每百斤	四四二	二二線	每百斤	七四六
一六 牛角及水牛角	同	五〇四	二三 故銅(改造適用ノモノ)	同	七九
一六 鹿角	同	六五四	日耳曼銀	同	
一六 象牙	每斤	二九八	二四 板、竿	同	六〇三
一六 海馬牙	同	一〇二	二四線	同	六二五
一六 靴底皮	每百斤	七四一	鐵及軟鋼	同	
金屬及金屬製品			二五塊	同	〇八三
真鍮			二七 條、竿(徑一因ノ四分ノ一ヲ)	同	三三
二〇 條、竿	同	三〇七〇	超(タルモノ)	同	四三
二〇 板	同	三〇六	二七 繩及帶	同	四三
二〇 故真鍮(改造適用ノモノ)	同	九二五	二八 ナイ形、アングル形、其ノ他	同	三三
銅			類似ノ熟鐵及軟鋼	同	
二〇 條、竿	同	三四四	二九 軌條	同	二九七
二〇 板	同	三四六	三〇 板(波形ヲ除ク)	同	三九四
二〇 釘	同	三九五	三三 電鍍線(波形ト否トヲ別タス)	同	六五

三三有紋板	每百斤	三五	三三隱結爾	每百斤	三五元
三四釘(大釘無頭釘、平頭釘、及曲頭釘共電鍍セサルモノ)	同	五七五	鋼(軟鋼ニ非サルモノ)	同	一六九
三五葉鐵葉鋼(無地)	同	六九二	三四線及徑一因ノ四分ノ一ヲ超ヘタル細竿	同	一六九
三六線及徑一因ノ四分ノ一ヲ超ヘタル細竿(錫鍍セサルモノ)	同	六九五	三四線(傘骨用凹形ノモノ)	同	一六九
三六電線(電鍍線)	同	五九二	三四線索(電鍍シタルト否トヲ別タス)	同	一六九
三九線索(電鍍シタルモノ)	同	一三六七	三四六故線索(改造適用ノモノ)	同	一七
三〇故線索(電鍍シタルト否トヲ別タス)	同	一〇九	三四七塊及錠	同	一七三
三三故錠	同	一〇三	黃銅	同	一七三
三三塊及錠	同	三五	三四板	同	一七三
三三鉛	同	三五	三四一條及竿	同	一七三
三三水銀	同	七五	三四塊及錠	同	一七三
		五六九	三四板	同	一七三

三五二

三五故板	每百斤	二九七	三五無味香蠟	每百斤	一〇八
二六青銅粉	同	二二六九	紙類	同	一七五
油蠟	同	二九三	二九印刷料紙	同	一七五
二七蠟燭(各種)	同	三五三	砂糖	同	二〇四
二七四豆油	同	七七	二九砂糖(糖和蘭標本色相ノ第十同四號迄)	同	二〇四
二五寬麻子油(罐入、樽入、及壺入ノモノ)	同	一〇六〇	三〇精糖	同	一五三
二五椰子油	同	二八一	甲(和蘭標本色相ノ第十五同號ヨリ第二十號ニ至ル)	同	一五三
二五落花生豆油	同	一一三	乙(和蘭標本色相ノ第二十同號ヲ超ヘタルモノ)	同	一六六
二六石油	同	〇六	號ヲ超ヘタルモノ)	同	一六六
甲 罐入ノモノ	每百斤	〇〇	二〇水砂糖	同	二二三
乙 樽入ノモノ	同	〇〇	三〇三糖蜜	同	二二三
二五亞麻子油(罐入及樽入ノモノ)	每百斤	一七四	布帛、絲纒及同材料	同	二七
二六阿列布油(同上)	同	二九二	第一	同	二七
二六三松精油(同上)	每ガロン	〇七六			

三五三

三〇四 綿織絲(無地若クハ染色ノモノ) 每百斤	六〇六六	三三三 毛絲及「ウォルステット」絲 (各種無地若ハ染色ノモノ)	每百斤	三三〇六
三〇八 雲齋布(生地及晒ノ別ナク)	〇三九	三四四 アルバカ	毎 一 ル 方	一一三
三〇九 綿帆布	〇八〇	三三三 旗布	同	〇五六
三二〇 更紗	〇三〇	三三〇 フランネル	同	〇六六
三二一 綿織子、綿ブレード、綿イタ	〇二九	甲 毛製ノモノ	同	〇六六
リヤンス及紋金巾	〇二九	乙 毛綿製ノモノ	同	〇六六
三二三 綿天鵞絨	〇六三	三三二 イタリヤン、クローツ	同	三三一
三三四 生金巾	〇一〇	三三三 羅世伊多	同	〇六一
三三五 晒金巾	〇一五	三三三 縮緬吳呂(毛製ノモノ)	同	〇六一
三三六 綾金巾	〇一七	甲 生地白色ノモノ	同	〇三三
三七七 色金巾	〇三〇	乙 染色及形付ノモノ	同	〇三三
三九八 天竺布(小幅金巾)	〇二五	三三五 セルヂス(縦ニ「ウォルステット」絲 横ニ毛絲ヲ以テ織リタルモノ)	同	〇九七
三三〇 緋金巾	〇一八	三三七 羅紗	同	〇九七
三三二 寒冷紗	〇〇九			

甲 毛製ノモノ	毎 一 ル 方	一四二	三三六 バテント、タバエストリー 氈	毎 一 ル 方	二六五
乙 毛綿製ノモノ	同	〇七一	三四四 竹布	同	〇一七
第三 生絲	毎百斤	五二一〇	三三六 綿製ノ手巾(連製ノモノ)	同	〇一七
三四二 柞蠶絲	毎百斤	三三八四	三三〇 草布(家具ニ用ユルモノ)	同	〇三三
三四七 支那絹織子	毎 一 ル 方	二七〇	三三二 油布及リノリユム(牀ニ用ウ ルモノ)	同	〇七一
第四 麻織絲(無地及染色ノモノ)	毎百斤	八二五	煙草		
三四四 麻帆布	毎 一 ル 方	〇七二	三三九 巻煙草及小巻煙草	毎百斤	七三二
第五			三六〇 紙巻煙草	毎千個	一一三
三五六 「ブランケット」地及絲ニテ縁	毎百斤	一三六四	三六二 刻煙草	毎斤	四四
縫シタル「ブランケット」平織 ノモノ			酒類		
三五六 「ブランケット」地及絲ニテ縁	毎百斤	一三六四	三六五 麥酒及黒麥酒		
ノモノ			半リートルヲ超ヘサル樽入 毎三個		二六八
三五六 アラツセル織	毎 一 ル 方	二七	ノモノ		
三〇七 ヘルト織	同	〇六七	一リートルヲ超ヘサル樽入 同		五二五
三四三 麻織	同	〇七	ノモノ		

明治三十一年勅令第二百二十號輸入物品從量稅目中刻煙草ノ稅目ハ臺灣ニ施行セス
 右ノ如ク内地ニ於テハ從量稅ヲ課セラレタル刻煙草ニシテ臺灣ニ於テ從量稅ヲ課セラレサルハ其價
 格低廉ニシテ之ニ從量稅ヲ課スルハ少シク苛重ニ涉ルノ嫌ヒアルヲ以テ以前ノ如ク仍ホ從價稅ヲ課
 セラレタルナリ明治三十五年九月輸入物品從量稅目左ノ如ク改定セララル

勅令第二一九號

(明治三十五年九月二十九日公布
三十日官報掲載)

關稅定率法第三條ニ依リ輸入物品從量稅目左ノ通定ム

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年勅令第二百二十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

輸入物品從量稅目

輸入稅 表番號	兵器、時計、學術器 具及器械類	稅 甲	乙 菓子製ノモノ
三散彈		每百斤 二二七	三乳油
三乾麵包	飲食物	每斤 〇〇三	三乾酪
甲 船用ノモノ			三咖啡(種子ノ)
			三麥粉

四〇火腿及ベーコン	每斤 〇〇六五	毛綿製ノモノ	每十箇 二一六五
四一鮮肉(羊肉)	每百斤 二二六三	藥材、化學藥及製藥	
四二乳膏	一、 <small>一、 二、 三、 四、 五、 六、 七、 八、 九、 十、 十一、 十二、 十三、 十四、 十五、 十六、 十七、 十八、 十九、 二十、 二十一、 二十二、 二十三、 二十四、 二十五、 二十六、 二十七、 二十八、 二十九、 三十、 三十一、 三十二、 三十三、 三十四、 三十五、 三十六、 三十七、 三十八、 三十九、 四十、 四十一、 四十二、 四十三、 四十四、 四十五、 四十六、 四十七、 四十八、 四十九、 五十、 五十一、 五十二、 五十三、 五十四、 五十五、 五十六、 五十七、 五十八、 五十九、 六十、 六十一、 六十二、 六十三、 六十四、 六十五、 六十六、 六十七、 六十八、 六十九、 七十、 七十一、 七十二、 七十三、 七十四、 七十五、 七十六、 七十七、 七十八、 七十九、 八十、 八十一、 八十二、 八十三、 八十四、 八十五、 八十六、 八十七、 八十八、 八十九、 九十、 九十一、 九十二、 九十三、 九十四、 九十五、 九十六、 九十七、 九十八、 九十九、 一百</small> 個他ノ重 量ノ據ハ此 比例ニ依ル	空石炭酸	每斤 〇〇四九
四三食鹽(海鹽、鑛鹽ト別タス)		空撒里矢爾酸	同 〇〇七五
甲 粗製ノモノ	每百斤 〇〇八二	空酒石酸	同 〇〇六五
乙 精製ノモノ	同 一七六	七〇明礬	每百斤 〇三三七
四四鹹魚	同 〇七九	七二安知必林	每斤 〇〇五〇
四五鹹肉(牛肉若クハ豚肉ヲ 製入ニ爲シタルモノ)	同 二〇三〇	七三安知必林	同 〇三六一
四六石花菜	同 〇五九〇	七四白朮	每百斤 一〇三一
四七人造乳油	每斤 〇〇五七	七五次硝酸蒼鉛	每斤 〇三〇五
四八衣服及附屬品		七六硼砂(硼酸曹達)	每百斤 一一二六
四九肌衣(上下ヲ別タス、メリヤス 製ノモノ)		七七艾片	每斤 〇四六六
五〇綿製ノモノ	每十箇 一六四二	七八桂皮	每百斤 〇九〇一
五一毛製ノモノ	同 三三三三	七九桂皮油	每斤 〇二五八
		八〇薑香	每百斤 〇六六〇

三 瑪瑙皮	每百斤	三〇三	一三 蘇蘇巴根	每百斤	四三六
四 辰砂(赤色硫化汞)	每斤	〇〇九	一四 甘草	同	〇九三
五 丁香	每百斤	一八三	一五 麻黃	同	〇六三
六 鹽酸古加乙混	每斤	一八四	一六 莫兒比混(鹽酸若クハ)	每斤	四六五
七 古倫儀	每百斤	〇九七	一七 麝香	同	四一七
八 阿仙藥及檳榔膏	同	一三三	一八 麝香(人造ノモノ)	同	一〇九
九 建質亞那(龍膽)	同	一〇七	一九 甘松	每百斤	一六〇
一〇 人參	每斤	〇四七	二〇 羅羅謨刺篤亞斯	每斤	〇一〇
一一 佩里設林	同	〇三三	二一 沃度刺篤亞斯	同	〇三三
一二 亞拉比亞謨謨	每百斤	一四三	二二 木香	每百斤	一七〇
一三 安息香	同	一一〇	二三 規尼混(鹽酸若クハ硫酸)	每斤	一三三
一四 乳香	同	一四二	二四 松脂	每百斤	〇四六
一五 苦草	每斤	〇〇九	二五 大黃(塊粉ヲ別タス)	同	一三三
一六 沃度仿謨	同	〇四三	二六 泊美蘭	同	一七八
一七 吐根	每百斤	三〇三	二七 硝石(硝酸刺篤亞斯)	同	〇九七

三六〇

一三 珊簞草	每斤	〇九七	二六 單寧	每百斤	七四五
一四 撒兒沙巴利刺	每百斤	二七五	二七 炭酸安母紐謨	同	一一三
一五 攝綿支奈	同	一七六	二八 炭酸結麗阿曹篤	每斤	〇三三
一六 沙刺克	每斤	〇四三	二九 重格魯謨刺篤亞斯	每百斤	一三三
一七 曹達灰	每百斤	〇三九	染料彩料及塗料		
一八 重炭酸曹達	同	〇三七	三〇 紺青(乾濕ヲ別タス、續物)	同	六三三
一九 苛性曹達	同	〇六三	三一 酸化古拔爾篤	同	四三〇
二〇 結晶曹達(洗濯曹達)	同	〇四三	三二 花綠青	每斤	〇三三
二一 撒里知爾酸曹達	每斤	〇二五	三三 沒食子及五倍子	每百斤	二六二
二二 蒼朮	每百斤	〇三三	三四 雌黃	同	五九四
二三 紫梗	同	一一〇	三五 金液	每斤	六三三
二四 ウアスリン	每百斤	一六四	三六 乾藍	每百斤	三三三
二五 黃芩	同	〇六五	三七 水藍	每百斤	七二七
二六 硼酸	同	一六五	三八 鉛粉(各色)	同	一三三
二七 醋酸	每斤	〇〇四	三九 ヲグウード越幾斯	同	二六六

三六一

二七 繩及帶	每百斤	〇・五〇二	二三〇 故線索(電鍍シタルト否)	每百斤	〇・二七
二八 タイ形、アングル形其他 類似ノ熱鐵及軟鋼	同	〇・五三九	二三一 故繩	同	〇・四一
二九 軌條	同	〇・三六四	二三二 故鐵其他改造適用ノ 故鐵及故軟鋼	同	〇・四四
三〇 ドクスバイヤス(軌條附屬ノ)	同	〇・五六八	鉛	同	〇・一四
三一 フヒシプレート(軌條附屬ノ)	同	〇・四七一	二三三 塊及錠	同	〇・二一〇
三二 板(波形)	同	〇・八六七	二三三 板	同	〇・九二二
三三 板(波形ヲ除ク)	同	〇・四九九	二三四 筒及管	同	一・一四八
三四 電鍍板(波形ト否トヲ別タス)	同	〇・九三三	三五 水銀	同	七・六二七
三五 有紋板	同	〇・四六六	三六 暹羅結爾	同	八・八三
三六 釘及線釘(大釘、無頭釘、平頭釘、曲 頭釘トモ電鍍セサルモノ)	同	〇・五六三	鋼(軟鋼ニ非サルモノ)	同	一・六九
三七 葉鐵葉鋼(無地)	同	〇・九六一	二四 條及竿	同	一・六九
三八 線及徑一因ノ四分ノ一ヲ越ヘ サル細竿(錫鍍セサルモノ)	同	〇・六〇五	二四 板	同	〇・六八
三九 電線(電鍍線)	同	〇・六七六	二四 線及徑一因ノ四分ノ一ヲ 越ヘサル細竿	同	一・二六
四〇 電索(電鍍シタルモノ)	同	一・二六〇	二四 線(傘骨用凹形ノモノ)	同	二・三三
四一 線索(電鍍セサルモノ)	同	一・八七四	二四 線索(電鍍シタルト否)	同	二・六四

三六四

四二 故鐵其他改造適用ノ故鋼	每百斤	〇・二五六	二六 椰子油	每百斤	一・三六
四三 錫(塊及錠)	同	三・三七	二七 落花生豆油	同	二・二
四四 黃銅	同	四・〇二	二七 亞麻子油(罐入及樽入ノモノ)	同	二・〇一
四五 板	同	四・〇四	二八 阿列布油(罐入及樽入ノモノ)	同	三・〇四
四六 條及竿	同	四・四四	二九 松精油(罐入及樽入ノモノ)	每ガロ	〇・一〇六
四七 亞鉛	同	〇・五五九	紙及文具	同	〇・一〇六
四八 塊及錠	同	一・四〇七	二九 墨汁	每斤	〇・一六
四九 板(二號板ヲ除ク)	同	〇・三三三	石版用ノモノ	同	〇・一六
五〇 故板及其ノ他改造適用ノ 故亞鉛	同	三・二六	印刷用ノモノ	同	〇・一六
五一 青銅粉	同	三・三三	二九 印刷料紙	每百斤	一・五六
五二 錫箔	同	〇・九二四	二九 板紙	同	一・四九
五三 蠟燭	同	三・六五七	砂糖	同	〇・一七
五四 豆油	同	〇・九二四	二九 砂糖(和蘭標本色相ノ 第十五號未滿)	同	〇・一七
五五 亞麻子油(罐入樽入及燈 入ノモノ)	同	一・二九三	三〇 精糖	同	一・五四〇

三六五

乙 (和蘭標本色相ノ第二十號)	每百斤	一六〇二	三六綾金巾	每百斤	〇〇三三
三〇二水砂糖	同	二四九	三七色金巾	同	〇〇三六
三〇三糖蜜	同	〇一三	三九天竺布(小巾金巾)	同	〇〇一八
布帛糸纒及材料			三〇緋金巾	同	〇〇一一
第一			三二寒冷紗	同	〇〇一〇
三〇四綿織糸(無地若ハ染色ノモノ)	同	六二〇	三三綿紋褥地	同	〇〇三三
三〇六製本用綿布	毎百斤方	〇〇三六	三三ノ重畳超過スルモノ	同	〇一〇一
三〇七綿純子	同	〇〇三三	三三綿フランネル	同	〇〇三三
三〇八雲齊布	同	〇〇四	第二		
三〇九棉帆布	同	〇〇九七	三三毛糸及ウルステッド糸(各種無地若クハ染色ノモノ)	毎百斤	二二六〇
三二〇更紗	同	〇〇三三	三四アルバカ	毎百斤方	〇〇九五
三二一補襪子、綿アロケード綿イタリアンス及救金巾	同	〇〇三六	三六旗布	同	〇〇六
三三綿天鵞絨	同	〇〇八〇	三七吳呂、綾吳呂及畔吳呂	同	〇〇四九
三四生金巾	同	〇〇二	三〇フランネル	同	〇〇四九
三五晒金巾	同	〇〇一八	毛製ノモノ	同	〇〇五九

毛綿製ノモノ	毎百斤方	〇〇七二	三四二作蠶絲	毎百斤	三〇五三
三四イタリアン、クローズ	同	〇〇五六	三四五支那縮緬	毎百斤方	〇一七
三四羅世伊多	同	〇〇五六	三四六支那絹紬	同	〇〇六
三四縮緬吳呂(毛製ノモノ)	同		三七支那絹織子	同	〇〇三一
生地及白色ノモノ	同	〇〇四二	三八支那絹紋織子	同	〇二六
染色及形付ノモノ	同	〇〇六	三九絹縮織子	同	〇一六
三四セルチス(横ニウルステッド、絲横ニモ絲ヲ以テ織リタルモノ)	同	〇〇七	第四		
三四スパンニシ、ストライプス	同	〇〇七四	三二麻織糸(無地若ハ染色ノモノ)	毎百斤	一〇三六
三七羅紗	同		三三麻縫糸(無地若ハ染色ノモノ)	同	〇一〇二
毛製ノモノ	同	〇一六	三四麻帆布	毎百斤方	〇〇六
毛綿製ノモノ	同	〇〇八三	三五麻純子	同	〇〇二
三六毛純子	同	〇〇六	第五		
三九毛アムルト地	同	〇〇六二	三五六フランケット地及糸ニテ縁縫シタルアランケット(本織ノモノ)	毎百斤	二二六七
第三			三五六其他各種ノアランケット	同	二六五
三九生絲	毎百斤	七九七	三五九ブラツセルズ	毎百斤方	〇四三

三六〇 フェルト氈	毎 ヤ ー ド 方	〇・〇七三			
三六一 麻織	同	〇・〇九六	三六七	酒類	毎 箱
三六二 パラント、タペストリー織	同	〇・二二五		シヤパン及類似ノ沸騰酒箱入ノモノ (半リットル)ヲ超ヘリットルヲ 超ヘサル十二樽若クハ半リットル ヲ超ヘサル二十四樽入)	九・二三六
三六三 竹布		〇・〇四二	三九七	葡萄酒	毎 リ ー ト ル
三六四 靴護謄布				純酒精ノ容量十六度ヲ超ヘサル 樽入ノモノ	〇・〇五二
三六五 甲絹入ノモノ	同	〇・八五五		箱入ノモノ(半リットル)ヲ超ヘ 「リットル」ヲ超ヘサル十二樽若クハ 半リットルヲ超ヘサル二十四樽入 純酒精ノ容量十六度ヲ超ヘ二十四度 ヲ超ヘサル 樽入ノモノ	二・九七二
三六六 乙其他各種	同	〇・四七〇		箱入ノモノ(半リットル)ヲ超ヘ「リ ットル」ヲ超ヘサル十二樽若クハ半 「リットル」ヲ超ヘサル二十四樽入)	〇・一七七
三六八 手巾				雜品	毎 箱
綿製ノモノ(連續)	同	〇・〇三三			四・六九三
綿製ノモノ(單製)	毎 二 箇	〇・〇六八			
麻製ノモノ(單製)	同	〇・二二二	四〇〇	沈香	毎 百 斤
麻製ノモノ(單製)	同	〇・一八〇	四〇四	石絨(板)	同
三六九 革布(家具等ニ用キルモノ)	毎 ヤ ー ド 方	〇・〇五六	四二二	護謄及備答百兒沙	同
三七〇 油布及リノリウム(牀ニ用キ ルモノ)	同	〇・二一九		甲生	同
				乙板	同
					一七・九〇五

四一八 セリユロイド(板若クハ竿)	毎 斤	〇・一八九	四三三	牛脂	毎 百 斤	一・三三〇
四一九 ホルトラント、セメント	毎 百 斤	〇・一〇二	四三三	豚脂	同	一・八六八
四二〇 白堊及ホワイチング	同	〇・二四五	四三三	獸脂類(牛脂及豚脂ヲ除ク)	同	〇・九四九
四二一 石炭	毎 ト ン	一・二二九	四三三	麥芽	同	〇・五六一
四二二 焦炭	同	一・五七七	四三三	支那蓆(一卷四十碼)	毎 卷	一・〇〇四
四二三 苧麻繩索(船用ト否トナ 別タス)	毎 百 斤	二・八九七	四三三	椰皮蓆	毎 ヤ ー ド 方	〇・〇九三
四二四 塞子樹皮	同	〇・九九〇	四三三	ラクム(船蓆)	毎 百 斤	〇・七四九
四二五 塞子	同	六・五三〇	四三三	パッキンク(汽機用ノモノ)	同	〇・八三五
四二六 ダイナマイト	毎 斤	〇・〇六一	四三三	瀝青	同	〇・一四九
四二七 天蚕絲(漁用ノモノ)	毎 百 斤	三・二〇七	四三三	木蓆兒	同	〇・三二七
四二八 海羅	同	〇・二六六	四三三	巴黎灰	同	〇・一五五
四二九 阿膠(普通)	同	〇・八六六	四三三	石墨	同	〇・九九五
四三〇 火藥(無煙火藥ヲ除ク)	同	四・九四四	四三三	ホルプ(製紙料ノモノ)	同	〇・三三三
四三一 石膏	同	〇・〇六四	四三三	パツテキ	同	〇・二一九
四三二 飼草	同	〇・二二六	四三三	割キタルト否ト別タス)	同	〇・四六二

四七五白檀	每百斤	一〇八五	四四紫檀	每百斤	〇、二六
四七六石鹼(普通洗濯用ノモノ)	同	一三三六	四七五チーキ材	每百斤	〇、二六
四七九滑石(塊粉ヲ別タス)	同	〇、二七	方フー立	每百斤	一〇、〇三

三七〇

本税目ニ掲クル所ノ斤ハ帝國ノ度量衡法ニ依ル

「ヤールド」「フート」及「インチ」ハ英國ノ定法尺度ニ依ル

「ポンド」及「トン」ハ英國ノ「アヴライルヂュボイス」秤量ニ依ル

「ガルロン」ハ米國ノ「スタンダード、ガルロン」ニ依ル

「リートル」ハ佛國ノ「メートル」量法ニ依ル

明治三十七年三月輸入物品従量税目中左ノ如ク改正セラル

勅令第九十一號 (明治三十七年三月)

明治三十五年勅令第二百十九號中左ノ通改正ス

輸入物品従量税目中ニ左ノ如ク加フ

毛生卵	每百斤	三九三
二七六石油	每ガルロン	〇〇三六

附則

本令ハ發布後六箇月ヲ經テ之ヲ施行ス

明治三十七年三月日露兩國戰端ヲ開キタル結果トシテ帝國政府ハ經費ヲ支辨センカ爲メ非常特別稅法ヲ發布シ各種ノ輸入稅ヲ増徴セラル之ニ關スル法文ノ後章左ノ如シ

明治三十七年三月三十一日公布

同 年四月一日官報掲載

法律第三號

非常特別稅法

第一條 臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲本法ニ依リ地租營業稅、所得稅、酒稅、砂糖消費稅、醬油稅、登錄稅、取引所稅、狩獵免許稅、鐵區稅及各種ノ輸入稅ヲ増徴シ毛織物及石油ニ消費稅ヲ課シ民事訴訟用印紙ヲ増貼セシム

第二條 地租、營業稅、所得稅、酒稅、砂糖消費稅、醬油稅、登錄稅、取引所稅、狩獵免許稅、鐵區稅及飲食物、衣服及附屬品、石油、砂糖、糖蜜、糖水、絹布類、酒類、煙草類ノ輸入稅ハ關係法規ノ定メタル稅額ノ外左ノ割合ノ稅額ヲ増徴ス

十一 輸入稅

關稅定率法附屬輸入稅表第二類ニ掲クル物品

三七一

但シ糖菓類ヲ除ク	從價五分
糖菓類	
甲 菓子	同 一割
乙 砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ	同 五分
關稅定率法附屬輸入稅表第三類中ニ掲クル物品ニシテ絹製及絹入ノモノ	同 二割
酒精(アルコール)	每リートル 金三錢
各種變性アルコール	同 金三錢
各種酒精劑(阿片丁幾ヲ除ク)	同 金三錢
石油	從價 二割
砂糖(和蘭標本色相第十五號未滿)	同 二割五分
糖蜜	同 二割
糖水	同 二割
支那縮緬	同 一割
支那絹細	同 一割

支那絹織子	從價 一割
支那絹紋織子	同 一割
絹綿織子	同 一割
刺繡絹布及刺繡絹綿布	同 一割
其他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルトヲ別タス但シ絹ノ重量超過スルモノ)	同 一割
諸製造煙草	同 十割
支那酒(釀造シタルモノ)	同 二割
清酒	同 二割

各種ノ酒類ニシテ原容量百分中純酒精ノ容量五十以上ナルモノ純酒精ノ容量一箇ヲ増ス每
 二十「リートル」ニ付金五厘

第二十三條 本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ輸入稅ニ關シテハ本法發布後六箇月ヲ經テ之ヲ
 施行ス

第二十六條 本法施行後保稅倉庫ニ庫入シタル砂糖ニシテ和蘭標本色相第十五號未滿ノモノ及糖
 蜜ニ付テハ庫出ノ日ニ於テ行ハルル輸入稅率ヲ適用ス

明治三十七年十二月三十一日公布

明治三十八年一月一日官報掲載

法律第一號

非常特別稅法中左ノ通改正ス

第二條 左ニ掲クル租稅ニ付テハ關係法規ノ定メタル稅額ノ外左ノ割合ノ稅額ヲ增徴ス
十三輸入稅

大砲、小銃、拳銃、刀劍、砲彈、發藥、其他諸兵器	從價五分
權衡及尺度	同
晴雨計	同
柑塙(各種)	同
刃物(別項ニ掲ケサルモノ)	同
電燈機械及同部分品	同
消防器及同部分品	同
農具、工匠具及同部分品	同
樂器及同附屬品	同

理學器、化學器、測量器、外科器具ノ他諸學術器(別項ニ掲ケサルモノ)	從價五分
寫真器及同部分品	同
蓄音器及同部分品	同
眼鏡及同部分品	同
獵銃及同附屬品	同
電話機及同部分品	同
寒暖計	同
關稅定率法附屬輸入稅表第二類ニ掲クル物品但シ生卵ヲ除ク生卵	同
關稅定率法附屬輸入稅表第三類ニ掲クル物品	同
甲 絹製及絹入ノモノ、金銀珠玉入ノモノ、白金製、金製及銀製ノモノ	同
乙 其ノ他各種	同
關稅定率法附屬輸入稅表第四類ニ掲クル物品但シ酒精(アル)	同

銅貨及白銅貨	從價五分
目曼耳銀	同
板、竿及線	同
鐵及軟鋼	同
線索(電鍍シタルト否トナ別タス)	同
鉛	同
板	同
筒及管	同
鋼(軟鋼ニ非サルモノ)	同
線(傘骨用凹形ノモノ)	同
線索(電鍍シタルト否トナ別タス)	同
黃銅	同
板	同
條及竿	同
釘	同

筒及管

別項ニ掲ケサル釘及螺旋釘	從價五分
提囊用金具	同
キャブシユール(嚮ノ口ニ用キル金具)	同
戸鎖、戸鈕、戸栓、蝶鎖類	同
金銀其ノ他金屬箔及粉但シ青銅粉ヲ除ク	同
金銀器(別項ニ掲ケサルモノ)	同
鍍金銀器(別項ニ掲ケサルモノ)	同
壁爐、置爐及附屬品	同
貨幣匣	同
傘骨及附屬金具	同
其ノ他別項ニ掲ケサル各種ノ金屬製品但シ建築材、橋梁材、電線支柱其ノ他類似ノ材料ヲ除ク	同
關稅定率法附屬輸入稅表第十類ニ掲クル物品但シ椰子油、石油、亞麻子油、松精油及スチヤリンヲ除ク	同

石油	從價三割
集畫帖(寫真用及郵便切符貼用ノモノ)	同
白紙帳簿及書式類	同
墨汁(寫字用及筆記用ノモノ)	同
唐紙類(各種)	同
鉛筆	同
甲 金製及白金製ノモノ	同
乙 其ノ他各種	同
筆嘴	同
甲 金製ノモノ	同
乙 其ノ他各種	同
封蠟	同
菓紙	同
其ノ他各種ノ文具	同
砂糖(和蘭標本色相第十五號未滿)	同

糖密	從價二割
糖水	同
綿縫糸	同
製本用綿布	同
毛フェルト地	同
絹絲類(別項ニ掲ケサルモノ)	同
支那緬縮	同
支那絹紬	同
支那絹縐子	同
支那絹紋縐子	同
絹綿縐子	同
刺繡絹布及刺繡絹綿布	同
其ノ他各種ノ絹布(純絹ト他物ヲ交ヘタルトヲ別タス但シ絹ノ重量超過スルモノ)	同
麻縫糸	同

フェルト襪

臆帷

甲 絹製及絹入ノモノ

乙 其ノ他各種

靴護膜布

甲 絹入ノモノ

乙 其ノ他各種

護膜紐類

手巾

甲 綿製、麻製及麻綿製ノモノ(單製)

乙 製絹及レース製ノモノ

蚊帳(各種)

革布(家具等ニ用キルモノ)

油布及リノリユム(牀ニ用キルモノ)

襦袢

三八二

從價一割五分

同 二割

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 二割五分

同 二割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

甲 絹製及絹入ノモノ

乙 其ノ他各種

浴巾(單製連製ヲ別タス各種)

綿線及苧麻線

縫糸(別項ニ掲ケサル各種)

其ノ他各種ノ布帛製品

甲 絹製及絹入ノモノ

乙 其ノ他各種

諸製造煙草

支那酒(醸造シタルモノ)

清酒

各種ノ酒類但シ麥酒、黒麥酒、シヤムバン及類似ノ沸騰酒、

支那酒(醸造シタルモノ)ホルト、清酒、シエリー、ウエルモ

ット及葡萄酒(赤白ヲ別タス)ヲ除ク

沈香

從價二割

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

同 一割五分

三八三

從價一割

琥珀	甲 加工セサルモノ	從價	一割
	乙 加工シタルモノ	同	同
	動物但シ牛、馬、驢騾、綿羊、山羊及鶏ヲ除ク	同	同
	石絨(板)	同	同
	竹材(工ヲ加ヘサルモノ)	同	同
	革帶、帆布帶及帆布管(機械ニ用キルモノ)	同	同
	衝球臺及附屬品	同	同
	プラスチック、ゼラチン其ノ他類似ノ爆發藥デトチートル及	同	同
	フューズ	同	同
	磚瓦(建築用ノモノ)	同	同
	ブラシ及箒(各種)	同	同
	杖及鞭	同	同
	乗車、自轉車及同部分品	同	同
	貨車	同	同

セリユロイド

乙 工ヲ加ヘタルノ	從價	一割
白堊及ホワイチシダ	同	同
木炭及骨炭	同	同
粘土(各種)	同	同
焦炭	同	同
珊瑚(加工シタルト否トナ別タス)	同	同
苧麻繩索(船用ト否トヲ別タス)	同	同
玻璃刀	同	同
金剛砂	同	同
金剛砂布及砂紙	同	同
金剛砂紙其ノ他各種ノ砥石	同	同
煙火(各種)	同	同
造花	同	同
額縁及天井縁	同	同

海羅	家具(新故ヲ別タス別項ニ掲ケサルモノ)	同	同	從價五分
	テニス、クリケット、象棋其ノ他ノ遊戯具(別項ニ掲ケサルモノ)	同	同	同
	阿膠(普通)	同	同	同
	綿火藥	同	同	同
	火藥(各種)	同	同	同
	石膏	同	同	同
	象牙製品(別項ニ掲ケサルモノ)	同	同	同
	金銀細貨類(貴石、眞珠等ヲ箆メタルト否トヲ別タス)	同	同	同
	貼札(罌鐘等ニ用キルモノ)	同	同	同
	ラムプ、提燈及同部分品	同	同	同
	皮革製品(別項ニ掲ケサルモノ)	同	同	同
	麥芽	同	同	同
	マツチ(各種)	同	同	同

支那蓆(一卷四十碼)	從價五分
椰皮蓆	同
其ノ他各種ノ地蓆	同
油畫、水畫、石版畫、著色石版畫、寫眞畫、法帖其他別項ニ掲ケサル各種ノ書畫類	同
瀝青、木爹兒及石炭爹兒	同
巴黎灰	同
骨牌(各種)	同
石墨	同
磁器及陶器(別項ニ掲ケサルモノ)	同
貴石及眞珠	同
貴石及眞珠(假製ノモノ)	同
パツテキ	同
籐(割キタルト否トヲ別タス)	同
馬具	同